夕刊 滿洲日報
一月廿六日
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

青年監視隊を組織 政友の陰謀を防止

きのふ選擧委員會で決定した 民政黨スローガン

【東京二十六日發電】民政黨の選擧委員會は二十五日午後二時より開會先づ選擧對策につき協議の結果、左の如く青年監視隊を組織することに決定し、全國各支部に向け各々これが組織方を直ちに電報を以て通達した

一、買收防止の青年監視隊を組織すること

政友會は名を選擧干渉監視に藉り古手官吏をして遍知を辿り公正なる職務の執行を妨げ不純の陰謀をなさんとするの形勢が有る、故に我黨は斯くの如き監視者を監視すると同時に買收を防止するために地方に青年監視隊を組織して徹底的に買收を防止し以て選擧界の淨化を圖ること

なほ民政黨のスローガンとして新潟支部その他各方面の希望に基き

一、再興か破產か、濱口か犬養か
二、永遠の繁榮か、一時の空景氣か
三、公明の民政か、欺瞞の政友か

を追加決定し、續いて各支部より續々電請し來る公認要求につき愼重に銓衡の結果、第二回の發表をなすことゝし午後五時四十分散會した

嚴選主義の政友

あす第一回公認發表

【東京二十六日發電】政友會は嚴選主義を以て公認候補を銓衡してゐるが、地方支部に於ても續々候補者を決定して本部に公認を求めて來てゐるので、先づ第一回の公認候補を二十七日に發表し續いて隨時發表の豫定であるが、第一回に公認を發表せらるゝものは大體三重、鳥取、山形、佐賀、神奈川、東京、北海道、山梨、茨城、岐阜の各府縣である

◇―華々しき出陣の準備―◇

總選擧へ總選擧へ

（上）早くも出來上つた濱口總理の立看板等々…準備整へる民政黨本部
（中）內務省が苦心考案した總選擧ポスター原圖
（下）よい意氣軒昂を示す犬養政友總裁と三土前藏相の「ポスター」

政友立遲れか？ 幹部は樂觀

公認候補は必らず當選せしむる方針

【東京二十六日發電】政友會は民政黨が既に六十餘名の公認候補を發表せるに未だ一名の公認候補の發表無く、また立候補屆出も民政黨に比し極めて少數でやゝ立遲れの感があるが、幹部側ではこれに對し何等氣に病む必要はなく準備は着々進行し必勝の疑ひなしとし公認發表の遲延せる理由につき左の如く辯明してゐる、即ち

前回總選擧にて我黨は選擧費を濫用し且つ候補者の銓衡を粗略にしたゝめ却つて豫期の成績を擧げ得なかつたから今回は嚴選主義を取り公認した者は必ず當選せしむる方針を取れるため多少遲れるのはやむを得ない、而して公認候補は前代議士の現狀維持を根本方針としてゐるため選擧區の準備は大體整つてゐるから民政黨の新顏候補者の如くあはてゝ立候補を聲明したり公認を發表したりする必要はない

賀川豐彦氏の珍立看板

羅馬字や朝鮮語で 我國では嚆矢

【東京二十六日發電】御本尊が知らぬ間に擔ぎ上げられて東京第四區から立候補した賀川豐彦氏は、病氣とあつて運動一切は推薦者たる社會民衆黨員にまかせ切りであるが二十五日には早くも華々しく本所、深川に「賀川豐彦」のほか羅馬字や朝鮮語の立看板がずらりと並んだ、蓋し羅馬字と朝鮮語の立看板はこれが嚆矢である

日曜閑話

海軍會議の界隈 霧の底に倫敦は鈍重

多分のロンドンは霧のロンドンである。氣をつけぬと、街路樹に自動車を、いや人間の鼻先をさへ衝突さすほどの濃霧に襲はれる。メイフラワの五月になるまでは、まことに鬱陶しい霧のロンドンである。街路樹の目八分といふ邊にホワイトを五寸幅ぐらゐに引廻してあるのは、この衝突を豫防するためである。白は霧を透して相當遠くからでも浮いて見える。

×

この霧の擱をハイドパークからグリーンパークを通つてセントヂエームス公園に拔ける。右手にバツキンガム宮殿が霧の裡に浮いてゐる。宮殿前の廣場にはヴクトリア女皇の記念像があり、宮殿には左右二ツの門がある。鐵柵から拜すると宮殿內の廊下に赤い絨氈が奧まつて敷き詰められてゐる。大玄關の屋上には皇帝旗が濃霧の裡にでも立てられ、御在宮と拜されるのである。ウインゾル宮殿にでも行幸あそばされてゐる時は旗は降ろされてゐる。

×

それからセントヂエームスパークに入らんとする左側が、廿三日午前の十時から、今度の海軍會議を開きつゝあるセントヂエームス宮殿である。塔のやうな二ツの建物の間には大きな時計が掛つてゐる。その門を入り宮殿內アン女王の接見の間として用ゐられた御殿は一室が今度の會議場に當てられたのである。

×

この宮殿から右に折れ公園に添ふて左し、ホースガードの門をくぐるとホワイトホールの大通りである。ホースガードは今日も十六七世紀時代を偲ばすナイトの姿そのまゝで、しかも馬上に跨り用もないところに警護してゐる。これジヨンブルの最も守舊的なところを表現したもので、また大に誇つてゐるところである。

×

このホワイトホールは日本ならば日比谷の大通りといつたところ。ホースガードのところから右し、直ぐに右に曲るとダウニング街ナムバーテンといふ有名なる首相官邸がある。古ぼけた三階建の舊式な家だが、古きを尊ぶ英國人が誇り且つ無暗に有りがたがるところである。

×

ダウニング街を引返し、ホワイトホールを右に行くとウイストミンスターの大廣場に突き當る。左折するとウイスタミンスター橋、そのテームズ河に添ふてパーラメントがゴヂツクスタイルで立つてゐる。手前が下院で、向手が上院である。この二十一日にヂョルヂ五世陛下の臨幸を仰ぎ海軍會議の開會式を擧げたローヤルギヤラリーはその上院內なのである。

×

ウイストミンスターの大辻から右手に見ゆるのがウイストミンスター寺院、この廣場にはビーコンスフイルドその他の大政治家などの銅像が列んでゐる。

×

多分もまた一月の末、プリムローズを識る公の銅像に手向くる由もない。霧のロンドン兒は至つて鈍重か、ヤンキー共がいつた顰をしてゐる。そこがまた英國人の偉いところであるといへば偉いところである。がとにかく、このホワイトホール界隈が世界平和の建設、各國民の負擔輕減に五國全權達が全力を披瀝しつゝあるのである。

打つて出た立候補者の分野

無產派の同志打ち いまのところ免れぬ形勢

【東京廿五日發電】廿五日午後一時までに屆け出られた全國立候補者數は三百廿一名に達し、その內政府與黨たる民政黨は百五十四名の多きに上つた、公認候補三百名を擧げる豫定の民政黨が既にその半數の立候補を見たるは如何に同黨から非公認候補續出するかを示すもので、景氣のよい局面に民政黨としては今後如何に自派候補を整理するため苦むかを豫知せしめるものである、一方政友會側にあつては在野黨の立場にあるだけ政府の壓迫干渉等の聲におびへて各方面の物持野心家等もなほ形勢觀望し躊躇して居るらしく、未だ七十六名の立候補を見たに過ぎず立遲れの感があるが、既に立候補を宣した中立七名中には例によつて政黨色を異にする政友系が相當あるから必ずしも悲觀の要はあるまい、武藤山治氏の國民同志會が既に十一名の立候補を見たるは選擧費が逸早く分配された事を物語るものである、無產各派は既に社民十二名、大衆十二名、勞農八名前民四名その他九名と四十五名の立候補を見たが、地盤の圓滿協定が出來て居ないから最も激しく同志打を行ひ理想的進出は目下の處困難と觀られてゐる

慘めな無產黨候補

親類緣者や知己から掻き集め 公認料のヒド工面

【東京二十六日發電】政友、民政の既成政黨が公認料一萬圓、二萬圓を立候補者に運動費として提供するのに慘めなのは無產黨立候補者である、親類緣者や知己から掻き集めて漸く三千圓、五千圓の費用を集め黨本部では公認料として逆に立候補者から幾分をせしめる黨もある、立候補者は何とか工面するとしても黨本部自身は文字通り鐚一文無しに總選擧に臨むのだから應援辯士の派遣費その他選擧本部の活動費の遣り繰りは各無產黨とも最も苦心するところで、旅費が無ければあたら言論の雄も本部に腕を撫してゐる外はない、そこで案出したのが黨員からの寄附である、

日本大衆黨では

一、府縣支部聯合會は立候補者の有無にかゝはらず公認料とし金二十圓を本部に納入のこと
二、立候補者は一名二十圓以上を本部活動費として納入のこと

を各支部に指令し

社民黨は

一、選擧費用は原則とし選擧區支部の負擔とす
二、黨員より一名十錢以上を醵出のこと
三、立候補者は一名五十圓以上を本部活動費として醵出のこと

とし選擧に臨むはずである

艦種轉換案に

アメリカ側は同意か

【ロンドン二十五日發電】英、佛間に妥協案成らんとしてゐる各艦種間の轉換を許す案に對し各國はまだ積極的に贊否を發表してゐないが、マクドナルド氏やスチムソン氏が週末休養を終へロンドンに歸つたのち、更に商議されるはずで、日本側としては別に異議を唱へてをらず、アメリカも二十四日イギリス外務省筋より發表された如きものならばこれを討議の基礎としてもよいとの意見であるらしい、なほフランス顧問マッシグリ氏は二十五日午後ギブソン全權を訪ひ右につき懇談した、また我海軍委員佐藤大佐も午後三時フランス專門委員と會見、右案につき詳細聽取した

佛伊兩全權 初會見

【ロンドン二十五日發電】佛全權タルヂユ氏とイタリー全權グランヂ氏は廿五日午後六時から一時間半にわたり初會談をなした兩國は最初から對勢問題を中心に睨み合をしてゐる如くなのでこの會見は注目されたが、會見は大體論に止まり消極的意見交換のみであつた

議事項目中に

われ二項追加

【ロンドン二十五日發電】我全權は二十四日ハンキー事務總長より廻附された會議々事項目草案につき協議の結果、日本として

一、商船戰時武裝に關する問題
一、代換期間および艦齡超過後の老艦處分問題

等を追加挿入して二十五日ハンキー氏の下に提出した

補助艦先議

米國側主張

【ロンドン二十五日發電】最も信ずべき筋より聞知するところによればアメリカ全權スチムソン氏は軍縮會議に上議さるべき各種議の議事順序につき、既に議長マクドナルド氏その他に對しアメリカ代表の意見として補助艦先議を提議するところあり、巡洋艦、驅逐艦並に潛水艦の三艦種に關する制限を他のあらゆる問題に先んじて考究すべきを主張したと

各國全權に議目錄配布さる

【ロンドン二十四日發電】軍縮會議事務總長ハンキー氏の手許で草案中の議事目錄は二十四日午後各國全權に廻附された、右は各艦艇保有量・艦齡、艦齡その他一般問題を羅列したものであるが、戰鬪艦につき隻數制限の件を擧げたのは注目すべく、また日本の主張する代艦期間延長、商船の武裝制限は記載されてゐない、右草案につき二十七日午前一時から各國全權會議を開き決定するはずであるが、なほ幾多條項が各國より追加されるはず、なほ問題は審議の順序で相變らず懸案のまゝとなつてゐる併し英、佛間に妥協案が出來かけてゐる制限方式に關する討議を劈頭にするは適當なものと見られてゐる

遂に露支正式會議 無期延期となる

責めは全く支那側にあり……と 勞農側では唱ふ

【モスクワ二十五日發電】東支鐵道問題に端を發する露支紛爭問題を解決するためハバロフスク議定書に據り二十五日より當地に於て開催さるゝはずの露支正式會議は無期延期となつた、右に關しソウエート政府は能ふ限り速かに開會の運びに至らんことを切望しつゝあるものであると說明し、斯く遲延を見るに至つたのはその事情全く支那側の責めに歸すべきものであると唱へてゐる

直通電話 復舊す

【ハルビン特電二十六日發】浦鹽ハバロフスクその他沿海州とハルビン間の直通電話は復舊し、シマノフスキー氏はその皮切に哈府との通話をした、北滿にロシヤの勢力が回復したので沿海州との通信連絡は一層積極化し、赤化のスローガンは尖端を行くだらうと、支那側では取締に腐心してゐる、ソウエート政府は若し支那側がハバロフスク議定書を變へさうとする態度なれば、モスクワの正式會議を遲延するも原狀回復により積極的の對策を講ずる考へで、メリニコフ總領事は支那側の出方如何を注意し、モスクワ會議地を變更せぬことに決してゐると

人事

▲淺沼謙三氏（實業家）廿六日出帆榊丸にて上海へ
▲新庄清一氏（大阪商船專務）同上
▲里見弴氏（文士）廿六日入港天潮丸にて來連
▲志賀直哉氏（同）同上

天氣豫報

（二十七日）西の風曇一時晴

各地の溫度

地名	十一時	昨日最低
大連	零下二、二	零下五、三
旅順	同 二、〇	同 五、八
奉天	同 五、五	同 一六、〇
營口	同 六、七	同 一八、八
長春	同 四、八	同 一七、七

1930年のある一日(7) 午後八時

夜の家庭は平和

羞含みやスケーターの夜間活躍 青年學徒たちは螢雪の道を辿る

光の街は今盛り

チン〳〵……「さあ龍子ちやんも輝夫さんも、もうお寢み、八時が鳴りましたよ」「ハイツ」湯上り後の五勺の晩酌にすつかり御機嫌の御父さんは夕刊の讀物に一心である、夕飯の片附けをやつとすませた御母さんは其の傍で輝夫さんがスケートで作つた綻びに溢愛のこもつた針を運んでゐる、それは靜かな平和な郊外住宅の或夜である。

◆ ◆

鏡ケ池、二百五十ワツト七個の電球に明るく照された鏡の様な氷の上を澤山の若者がスーツ〳〵と滑つて行く、三々伍々活潑な女學生姿も交つて見える、晝の明るさを恥かしがつて初心者は夜が多いとは肯づかれる話だ「さあ毎夜二百人位は滑りませうか」と番人の小父さんの話である。

◆ ◆

大連圖書館、受驗期が近づいた、そして家で充分な溫かさと靜かさと適當な參考書の求められない人々が熱心に眩拂一つするにも氣を配りながらノートにいそしみ、讀書に耽んでゐる、母の作者鶴見祐輔氏に言はすれば明るい日本、明るい青年はかうした所から生れて來ると言ふ事だらう。

◆ ◆

商店街、出盛り時の浪速町、包物を小わきに抱えた奧さんが貴金屬屋の飾り窓にチラツと眼をくれて足早に過ぎる、桃割姿の娘さんが映畫館の前の寫眞に見入つてゐる、お坊つちやんを中に挾んだ夫婦連れ、會社歸りの會食に元氣のついた仲間連れが通つて行く、斷髮洋裝の令孃が喫茶店のドアーを開けたと思ふ間もなく活潑に人ごみの中に消えて行く、支那人の臭ひがプツと鼻をつぐ、舊正月の近づいたためか支那人の姿が多いが殊に奧町近くの賑やかなこと「ヂヤングイ乘るか」客待の馬車と人力車が血眼である「ブーツ」自動車のヘツドライトに車ニーヤが驚いてそれる、足袋、靴、草履、素足い蹴出し、肉色のストツキングが舖道の上での交響樂。

◆ ◆

凍てついた氷の坂道の彼方から南無妙法蓮華經、ドドスコドンドンと景氣の好い寒修行の太鼓の音が響いてくる、暗い煉瓦の横道を白い布を頭から被つた善男善女の行列がカン〳〵と御念佛を唱へながら通つて行く

「古里を遙々こゝに、紀三井寺花のみやこも、近くなるらん」と唱へられて行く御詠歌が淡い鄕愁の懷をもたらして來る、町の四ツ辻で救世軍の女士官が酒を飲むなと熱心にイエスキリストの道を說く。

◆ ◆

パチン！パチン！

遠くの方で支那の小孩が打揚る爆竹の音が夜の空から響いてくる星はキラ〳〵と輝いてゐる。

◆ ◆

放送局……「〇〇時の時間を御知らせします」——チーン！今晩の放送はこれで終りました皆様お寢みなさい（寫眞は(上)放送局、(下)救世軍の集會）

バード大佐 無事 捕鯨船救援に

【ワシントン二十五日發電】南氷洋のバード大佐は無事だとの報が達したが二十四日英國捕鯨船は南氷洋に急援に向ふ事を承諾したと

鸚鵡の輸入 米國が禁止 熱病傳染を怖れて

【ワシントン二十五日發電】南米から傳染して來た鸚鵡熱がアメリカに蔓延せんとして居るにつきフーヴアー大統領は二十四日鸚鵡の輸入及び各州間の輸送を禁止する命令に署名した、尚右熱病防疫の爲め防疫官一行飛行機二臺にて中米方面に向つた

空は快晴、銀盤上に 息づまる大接戰

五百米に木谷選手滿洲新記錄

全滿氷上競技選手權大會

滿洲體育協會主催第七回全滿洲氷上競技選手權大會は廿六日午前九時五十分奉天醫科大學リンク（一周四百米突）で擧行されたが此の日快晴、結氷のコンデイションも亦絶好、觀衆も多くして最初より息づまる接戰を見せたが安東の石原選手の不參加は殘念であつたレースは男子五百米突競技より開始されたが先づ安東の木谷選手は五百米突に滿洲記錄を破り、大連代表の池見選手は五千米突に、て二着五百米突に三着、大連彌生高女の元上孃は五百米突で二着となり奉天の河村は最後の四百米突で滑つて等外となつた

▲五百米（コース、ダブル、トラック、タイム、レース）一着木谷德雄（安東）四九秒四（滿洲新記錄）二着河村利夫（奉天）四十秒六、三着池見正信（大連）五〇秒二、四着大澤義一（奉天）五〇秒二、五着小池富二（奉天）五二秒

▲女子五百米（コース、ダブル、トラック、タイム、レース）一着井上浩子（奉天）一分二秒八、二着本山艶子（大連）一分四秒五、三着安永時子（遼陽）一分六秒四

▲五千米競爭 一着木谷德雄（安東）九分五五秒四、二着池見正信（大連）九分五六秒三、三着大澤義一（奉天）九分五六秒四

▲アイスホツケー

の部（醫大リンク）

奉天醫大留守隊と育成學校のアイスホツケー戰は午前十時三十分、飯澤氏の審判にて開始されたが四對一にて醫大先づ勝ち閉戰十一時五十分

醫大 4—1 育成

（大醫）		（育成）
間谷下		東
早増木	FW	部倉尾田松
堀田・久保	PB	阿内西花植
百	GK	金・岩

續いて奉天中學對安東チーム戰は午後零時三十分より齋藤氏の審判にて開始された、安東中學對工專のホツケー戰は午前十一時より滿鐵リンクに酒井氏審判にて開始されたが二對一の接戰にて安中の勝ちとなつた閉戰零時二十分經過及びメンバー左の如し

安中 二—一 工專
〇—〇
〇—〇

工專		安中
川川井利江	FW	塚毛田田坂
瀨草藤毛中	PB	吉鹿太山鹽
高野	GK	伊藤

續いて大連クラブ對撫順クラブのホツケー戰は午後一時より酒井氏審判にて開始されたが、第一ラウンドにて一對零第二ラウンドにて一對零と第二ランドまでは大連クラブが優勢を占めて居る（午後二時十五分）

東洋第一の 明大の體育館

朝野の名士六千を招待し 來月九日華々しく開館式

◇…【東京二十六日發電】スポーツ界の新進明治大學では昭和三年十月から大學敷地の西南隅に體育館を建築中であつたが、昨年十二月略竣工し、來る二月九日朝野の名士、運動關係者六千餘名を招き華々しく開館披露式を行ふことになつてゐる、同體育館は總工費四十萬圓鐵筋七階總延坪千五百六十餘坪、體育館として獨立したものは我國最初のもので東洋一の體育館と云つても恥かしくない設備を有してゐる

◇…一階から三階までを五百名を收容し得る大講堂二室及五十名乃至二百名を入るゝ中、小講堂六室に當て、四階には籠球コート及移動式拳鬪道場、五階には一周七十六米突のランニングトラツクを設け地下室には水泳部のために二十五メートルコースの室内プールを設け此のプールの用水は循環式裝置に依り完全に消毒殺菌され加熱機に依り常に一定の溫度を保つやう設計された最新式のもの、又地下室には柔劍道々場及相撲の土俵もある

◇…各運動室にはそれ〴〵浴室が附屬し地下室及中二階には扇形に各運動部のアパート式の選手室が設けられるなど煖房通風等至れり盡せりの體育館であり斯くの如き惠まれたる明大運動部の今後の飛躍が期待される

熱球飛び交ふ 女子卓球大會

けふ午前中の成績

滿洲卓球協會主催本社後援の大連女子卓球大會は廿六日午前九時より日本橋小學校講堂に於て擧行されたが同大會は女子卓球界の唯一の選手權大會のことなれば各女流選手は數十日間の猛練習の結果男子をも凌ぐすごさにて白熱化し黄い應援團の聲は堂に滿ちこの寒さも何のそのと云ふ有樣觀衆をうならせた、午前中の勝者左の如くである

△一勝者 宅和、大野、津田、佐賀、矢野、新帶、綾部

△二勝者 津田、佐賀、宅和、印牧、新帶、大野（喜）宮地

○敗者戰 日高、豐田、金子

不穩文書を配布し 鮮人學生の盟休を煽動

學生ヤチエーカの檢擧事件

廿五日豫審終決愈よ公判へ

【京城廿五日發電】昭和三年四月京城府堅志洞侍天敎黨內京城女子商業學校學生の同盟休校を皮切りに五月には開城の松都高等普通學校、六月には蓮池洞の儆新學校、鷺梁町の徽正高等普通學校學生が同盟休校し漸次各學校に波及せんとする形勢にあるので京城西大門署では裏面に存在する共產黨の搜索をなし九月三日に至つてこの盟休を煽動して居た學生ヤチエーカ會員を檢擧し九月二十二日治安維持法、治安法、出版法各違反で京城地方法院檢事局に送致した、更に之れに關聯した中等學生共產黨「黨の大檢擧をなし十二月五日治安維持法違反として同檢事局に送致されその後兩事件共五井豫審判事の手で審理をなし昭和五年一月廿五日豫審終結決定同法院の公判に附すことゝなつた

被告

本籍全羅北道錦山郡北面外釜里現住所京城府益善洞九 高麗共產青年會員、朝鮮學生科學研究會常務執行員、普成專門學校法科一年生 李鉉相（二四）

本籍慶尚南道晋州郡大谷面雪梅里現住所京城府三淸洞一番地の三五 朝鮮學生科學研究會員 姜炳度（二三）

本籍全羅北道南原郡雲峰面三山里現住所右同 高麗共產黨青年會員 崔星煥（一九）

本籍全羅南道㴍安郡三鄕面柳樹里現住所京城府淸進洞一二三朝鮮之光社內 鍾路青年學館學生 吳在賢（二四）

本籍慶尚南道全海郡下界面鶴出里現住所京城府崇二洞二八 朝鮮青年同盟會員、朝鮮學生科學研究會員、徽文高等普通學校生 安三濬（二一）

學生の共產化 分擔を定め運動

各學校に讀書會を組織し 主義の宣傳に努む

【京城二十五日發電】吳在賢以下五名は高麗共產青年會の趣旨に共鳴して昭和三年四月頃加盟し、朝共產黨の鮮指令にかゝる濟南日本出兵問題、京城府單一青年同盟の創立、學生の盟休などの討議を重ね各學校の學生會を自治會とすること五名以內の讀書會を組織すること、主義宣傳の優秀なる者をヤチエーカ會員とすることなどヤチエーカの責任者吳在賢が山上また は崔星煥方に一同を集めて黨の指令に基いて協議をなしその受持を姜炳度（中央高普校、槿花女學校女子高普校）李鉉相（普成專門學校、延禧專門學校、第一高普校）は崔星煥（徽新學校、貞信女學校京城女子商業學校）李哲夏（中東學校、培材高普校）吳在賢（中央基督青年學館、徽文高普校、苦學堂）と定め中央高普、培材高普、徽文高普、普成專門學校に讀書會を組織し更に全鮮的に組織の計畫を進め前記の如く同盟休校を煽動してゐたが六月十三日徽正高普校の盟休の際、彼等の存在を當局に探知されたので運動を中止したもので一方在東京朝鮮青年總同盟、在東京朝鮮留學生學友會の手で八種類の不穩檄文を印刷密送せしめ各受持學校の學生に配布して主義宣傳に努めてゐたものである

焚火中に 突然爆發

學生十數名重輕傷

【靜岡廿五日發電】二十五日午前七時頃靜岡縣賀茂郡稻生澤村日本鑛業會社所有入木鑛山坑夫納屋より通學する生徒が一團となり附近の枯草を集めて焚火中突然一大音響と共に爆發し小川市助（一五）外十數名重輕傷を負ふたが原因は枯枝の中に小量のダイナマイトが這入つて居たものらしいと

値下げで大發展の 講談倶樂部

新年號から五十錢になつた講談倶樂部、面白い上に安いので賣れること〳〵、新年號二月號引續き重版大增刷の盛況とは驚くべし

ホテルのお客は 釣錢詐欺の犯人

市內各所を荒した二犯の曲者

寢込を襲はれ捕はる

數日前から市內信濃町遼東ホテルの一等室に納まり、大阪の大貿易商と稱してゐる不審の男があり大連署刑事が內偵すると最近縱々と市中を荒す釣錢詐欺犯人と判明二十五日寢込を襲ふて逮捕した、右は福岡縣生れ住所不定窃盜前科二犯青柳論（三〇）といひ、昨年十月旅順刑務所を出所して來連、市內信濃町八五番地堀川藤太郎方の店員に雇はれ中、昨年末集金百五十餘圓と商品千數百圓を橫領逃走し、情婦に入れ揚、巧に警察の目を晦ませて、市內越後町瀨名館に變名で投宿、去る十五日但馬町鈴木京染店へ御召羽織三十一圓を注文し百圓紙幣で支拂ふからと店員を同行瀨名館に到り羽織と釣錢六十九圓を甘々と騙取逃走し、數日前遼東ホテルに投宿したものであるが同人はホテルを信用させる手段に市內各局から自分宛に電報や手紙を出し、盛んに商取引を行つてゐるかの如く裝ふてゐた、なほトランクに猫入らず多量を所持してをり、警察に捕へられた時は自殺する覺悟であつたと云つてゐる、共犯關係もあるらしく餘罪を取調中

氣に入つた北平

立候補の犬養健君の爲め一肌

里見、志賀兩氏語る

滿鐵鐵道部の招聘で講演來滿した文壇の雄里見弴、志賀直哉の兩氏は豫て北平天津視察中であつたが二十六日入港の天潮丸で歸連、鄕を通じると兩氏は交々語る

すつかり北平が氣に入つてしまつて長逗留しましたよ、北平は好いところですね、十日間位扶桑館にとまつて色んな方面をグル〳〵見て來ました、知人はありませんが澤山紹介狀をもつて行つたのと案內して下さつた文化協會の林さんのお蔭で滿足しましたよ、何れ時事新報に發表するつもりですが議會解散で忙しい目を見なくてはなりますまい、この前には鶴見さんの立候補に引つぱられ、今度は文壇人犬養健氏の爲に一肌ぬがなくてはなるまいと思つてゐますよ、あちらでは支那側の人では宣統帝に會つて來ました

因みに廿七日出帆ばいかる丸で歸ると

艶色生膽秘譚（7）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

小佛峠（二）

電撃の一閃を眞向に浴びせかけられた右近、

「あッ」

二の腕に強いしびれを感じた。が、斜に崩れかゝつた構へを立直す暇もなく、燕返しの逆業、巧にきまれば、反つて左近の頬に血が筋をひく。

サッと身を退いて、再び背を立木にピタリとつけ呼吸を整へる左近、滴る血は首筋に、手首に、しつかと踏んだ大地のザラメ雪に……

…との頬はみる〳〵蒼ざめてゆく。

「血だッ！血だッ！」

總身に異様な戰慄がツツウと走る。と、それも瞬間、冷たくとぎすまされた妖氣が、左近の心魂を遮二無二とそのかすのだつた。

「通り魔だッ！」

烈々たる心力、脈々たる闘志、正眼に構へたまゝヂリ〳〵と進んで、ピタリと刄を合す。

「えいッ」

素捷く一歩踏込む。と、鍔ぜりあい——氣合討となつて、そのまゝグイ〳〵と右近を押してゆく。

邊りはトップリと暮れて、星鰡までも雜さず包んだ雨雲が低い。

ヒタ退りに後じさつてゆく右近の足が、

「あッ！」

ザラメ雪に滑つた。

「うぬッ！」

白刄一閃！

「あッ！」

返り血がサッと左近の顔にとんだ。と、右近は、體をドッと泳がせたまゝ、叢を越へて眞暗な谷底へと、轉落していつた。

「ふうッ！」

左近はふかく息を吐いて、おいつと暗い谷間を覗きこんだ。

風はない、が、淙々たる響きはその底を流れる瀬の音でもあらう。

ペツトリとした血の觸感に、左近は嘔氣を覺えて、ザラメ雪の上に腰を据た。

せわしい呼吸が、漸く收また時である。

峠路を下つてくるらしい足音をきいた。

が、左近は起上る氣力に缺けてゐた。

「俺たちは双生兒だつた。一つ胎内へ、同時に宿つた命なのだ、魂なのだ。それが爭ひあふ、その果は血を見た……右近は死んだかも知れぬ、いや確に落命したらう……

…右近！右近！許してくれ、俺は俺自身を殺したも同然な惡業を犯したのだ！」

左近はいざり乍ら、暗い谷間が覗きこめる叢の際へ寄つていつた

「左近！兄はな、この左近はな、明日から天日の光りを恐れなければならぬ身になつたのだ、が、これも自業自得だらうよ。血、血を見れば人間でなくなる俺が慘忍性は、お前も知つてゐた筈だ、その獸心がいまこそよびさまされたのだ」

左近は、クド〳〵と、物狂ほしげに呟きつゞける。

風は枯た小枝を鳴らし、ぶきみな夜の鳥が、何に驚いてか、羽ばたきをした。

この時峠路の並木越し、左近が一擧一動をば、見逃すまいと努めてゐる、異様の人影が二つあつた。

一人は怪しい僧形。

一人は身輕な旅鳥。

左近はついいましがた、次第に迫り來つた足音のことも忘れて、依然眞暗な谷間へと呟きつゞけてゐるのだつた。

夜の峠路に通り合さう旅人にあるまいと考へて……だが何ぞ知らん、二つの人影は、顔を見合せて低聲に囁き交し、またうなづきあひつゝ左近の様子をうかがつてゐるのである。

◇◇次男坊◇◇　（全十巻）帝キネ映畫ユーモア小説の大家佐々木邦原作、曾根純三帝キネ入社第一回監督作品、主演杉狂兒、助演小宮一晃とともに入社第一回の作品で、學生劇には獨特の腕を持つ二優が、全篇を通じて痛快極りない跳躍を演ずる（二十九日より演藝館に於て上映）

映畫と演藝　蝶々會好評

曾我廼家五蝶、津守房子を頭に、元帝キネ、スター津守玉枝の特別出演を加へて昨夜より開演したが何しろ大連には古い馴染を持つ蝶々會の事とて初日は滿員の盛況であつた

噂ばかりで淋しい　滿洲の演藝界　今年を賑はすものは何か

元帝キネのスターだつた津守玉枝が來連するといふので都さくらが藝者になつた時のやうに變態的な——キネマ女優出身といふだけで人氣を相當に煽つてゐるやうである。この座には姉の津守房子が古くから居て大連には隨分昔からのお馴染だそうである。

この蝶々會は全盛期頃は毎年來演したものだそうで當時この一座ほどよく入れた喜劇はなかつたと言はれてゐる。それで請元もなかなか手が出せなかつたものだそうで最後に來演したのは大正九年とか勿論私はその當時の事は知らない。

これが初春興行の喜樂會に次いで來演する芝居であるが、今年もどうやら去年同様に良い芝居は見られそうにない、まだ去年までは釜山と京城に劇場が再興すればといふ一縷の望みがあつたが、今年はそれも何の頼りにもならなくなつた、と言ふのは新春早々劇界を驚かした帝劇の松竹合併で東西を通じて松竹に縛られない役者が無くなつて終つたことである。

左團治が生れて始めて初日に疊の見える芝居をしたと大連の土産話を祇園のおさださんの家でしたのはもう一昔前の思出話になりかけてゐる。その後勘彌と宗十郎が來演したが共に帝劇の專屬俳優だつた。その帝劇がなくなつた今日、幸四郎招聘も何處かへケシ飛んだらうし、もう諦めるより仕方のない大連になつた。

それとも纏まつた何萬と言ふ金をかけて一ケ月なり松竹から買ひ切るだけの資力のある興行師も居ないし、滿鐵も社員の慰藉では手が出そうにない。

それだと言つて新劇運動が育つ滿洲でもなければそれだけの熱もなく又人もゐない。例へ議論をする人があつても實行力が乏しい。所詮滿洲は芝居に緣がないものと諦めるより仕方がなさそうである。

野村芳亭の通俗味でひた押しの涙線だけを刺激する映畫「母」に殺到する大連人であればいゝのかと思ふと淋し過ぎる。藤原義江だけが興行價値があつて例へばジンバリストを招聘すれば滿鐵音樂會が缺損を先に見越すのである。

話が横道に外れたが、芝居も駄目となつて今年の演藝界を賑はすものは何か？まだ判らないが、チラホラ噂に上るものは日本少女歌劇團かレヴュウ「東洋一周」を呼物に陽春の頃來滿するらしい。之は大連より沿線に人氣がある。それに羽田別莊の歌劇團が捲土重來の意氣込みでゐるらしいが、これは提灯を持つていゝレヴュウ團である。それに昨年から來たがつてゐるものに石井漠があるが、小浪と別れた今日、來滿實現は一層困難と見られてゐる。ドサ物はもう眞平御免蒙りたい。

女流浪界の人氣者　巴うの子近く來連

浪界に於て相當知られ又、ラヂオやレコードにてもなじみ深い巴うの子は數年來度々渡滿を傳へられて居たが、今日までその機を得なかつたが、目下滿洲巡演中の「酒井雲」や昨年來滿せし「天中軒雲月」等を派遣してゐる九州博多川丈浪曲官興部との間に種々折衝を重ねた結果、いよいよ來滿する事になり目下川丈の事務員來連して某劇場と日取り其他交渉中の由なれば一兩日中には發表されることであらう

第九回　滿日勝繼碁戰（勝二回目）（滋田氏二回）

先相先先番　高本吉郎氏　滋田俊介氏

●一二一ツ十四　●一二五ソ十六　●一二九レ九　●一三三ソ八　●一三七ソ六

○一二二ツ十四　○一二六ホ十九　○一三〇ソ十　○一三四ツ八　○一三八ヲ十一

●一二三ツ十五　●一二七ヘ十八　●一三一レ十　●一三五ツ七　●一三九ヨ七

○一二四ツ十三　○一二八ソ九　○一三二ソ十一　○一三六ツ九　○一四〇カ七

—【7】—

映畫界東西

米國にも中々頑固な親爺がゐる、ジョンキンシイマレイと云ふ老人は死去した時遺した遺言に二人の孫娘には紅をつけること寶石をつける事斷髪すること、短い着物を着ることを固く禁じたが特に映畫を見る時には遺産を分配せぬとあつたとは恐れ入つたものだ。

◇

嘗て連續映畫で鳴らしたベンウィルソンは今度は發聲の連續映畫「空の聲」を撮る事になつたが他に六本のトーキーをアールシーエイ裝置で撮ると。

囀話

滿洲映畫界の立花高四郎を以て自から任ずる今井さんが、俄然今井さんでなくて關東廳警部消防署長今井民造氏となつたので▲大連市内各映畫常設館の從業員が集まつて其の昇進祝のセイダイなる宴を張るとの事▲大日活に噂されて居た解説者白藤愛光は來月一日頃來連「赤穗浪士」の解説をやるはず▲演藝館の事務所にはりつけられた、高花良介の「普く天下に宣す」と名づける御筆先を同館主館員一同三拜九拜▲どう考へてもわけのわからぬのが「デパート娘大學」の入場料▲常盤座では時代劇をそへて金三十錢▲ヤマトホテルでは……勿論此處にはお金持がお出入なさるのでせうが……ダイマイ一圓五十錢

ラヂオ

大連（二十七日）自午前十一時相場（錢鈔、株式、各地相場）▲自午後零時三十分相場（錢鈔、各地相場）ニュース▲自午後三時三十分相場（株式、各地相場）ニュース▲自午後七時▲ニュース▲露語講座第二十七課大連語學校グロースマン▲映畫物語（母）解說松葉詩朗、伴奏帝國館管絃部▲尺八（本曲春風）本手道具點山、替手成田彰耀▲淸元（神田祭）淨瑠璃松本一造三味線淸元延園松▲支那唱（讚萃花）唱劉金闌、師付王振泉▲料理獻立▲天氣豫報

東京（二十七日）自午後六時二十五分▲講演（三番叟の起原と神樂催馬樂の研究）氏名電文不明▲常磐津（後の月酒宴の島臺）（角兵衛）淨瑠璃常磐津松柳、同文字理、同文字吉、三味線同文字理喜上調子同文字久▲ジャズ（世界觀光船）チヤルスフイッシヤースオーケストラ、指揮フリッツワルブロン▲四長唄（秀鄕）唄杵屋勝左、同勝一和、三味線同勝蔦、同勝衞

賢問愚答 愚問賢答 的漫談（三）

「永日漫錄」序編　井田潑三　筆記

「宿屋に草鞋を脫ぐか脫がぬに其處まで押しかけて來たヒーキ連が前景氣はダンゼン素晴らしいぞとか、連中も四五組は出來る筈になつて居ますよとか、旦那の藝風は土地へピッタリと來て居ます、看客を呼べなくてどうしますとかと口に稅がかゝらぬを幸ひに上顎と下顎のブッカリ放題の太平樂を並べたてると、人一倍カサツ氣と共に自惚氣の强い奴等のことぢや、大連中の見物を一人剩さずに呼び寄せて見せる位の氣持になつて脂下つて居るが、さていよ／＼フタを開けて見るとコリヤどうぢやウワーッとびつくりする程の入場者ぢや」

「大入滿員札止めの盛況なんですね」

「馬鹿いわつしやい、劇場の中はカンコ鳥が鳴き相だ、虫眼鏡で搜して廻らにや見付からない程にアッチの隅に一かたまり、コッチの隅に一かたまり、數にして二ツ〆か三ゾクが驪の山と來らあナ」

「どうしたつてんです」

「そこへお節介が飛び込んで來て初日の薄いのはこの土地のならわしですから二日目からは始末におえない程ツッカケて來ますよと氣やすめを云つて引下る」

「それぢや二日目は本統に滿員ですか」

「生憎とその日が晴天だつたので不相變入りが薄い」

「お天氣だから入りが薄いは理窟があはぬぢやありませんか」

「お天氣の日に屋内なんかにヂーッとして居らないのが大連人種の特徵ぢや、落付いて芝居なんか見に行くものか」

「ヤーレ／＼」

「三日目も不入りぢや」

「矢張りお天氣がよかつたんですかい」

「イーヤ雨降りぢや」

「ます／＼理窟が合はぬ」

「だつて考へて見ろ、大連に住むほどの人間で雨傘や雨下駄の準備のある家が幾軒あると思ふ、居はその性をうつすとか、だん／＼支那式になつて仕舞つて、雨が降つたが最後、蟄居と覺悟をきめて出て來ぬわい」

「オーヤ／＼」

「その上にヤレ狂言の列べ方が氣に入らぬとか、木戸錢が高すぎるとか、役者の顏づけに不足があるとかと興行師の苦勞は勘定外にして勝手な熱を吹きたてる」

「………」

「その上出來る筈だつた贔屓連中も煎じつめると懸け聲ばかりで實のないものに終つて仕舞つて、とゞのつまりが今日は晴天ぢや明日は雨降りぢやがケチの付き始めで千秋樂の日まで香しい話をきゝたくも聞かれない有樣ぢや」

「そうすると、要するにこの興行は大成功と云ふ譯には行かなかつたのですか」

「大成功どころか、中成功も覺束ないのぢや」

「然し、あれほどまでに所謂新聞社あたりへ運動をして宣傳も相當以上に行き亘つて居る筈だから晴天で來ない客があつても、雨降りに恐氣付いて來て吳れない客があつても相當の成績が擧がるべきであるのになア」

「そこがそれ問題ぢや」

「どうして！」

「そも／＼大連の人口はどれ位あると思ふ」

「まるで中學校の入學試驗つて態です……ザッと廿萬もありませうかなア」

「そんなに澤山の日本人が居つたのか、そりや知らなかつた……」

「皮肉を云つて居ますぜ、日支合算での話でさア。日人七萬に支人十三萬つて處が大體の見當でせうて、尤も詳細な點はツイこの先の交番でおたづねになつたら……」

「馬鹿ッ、その十三萬の支人の幾割が日本の芝居を見に來て吳れるかな」

「冗談でせう……一人だつて來るもんですか」

「すると頼りになるのは七萬の日人に限ることになるが……」

「ですけどこの七萬の中には昨日オギヤーと飛び出したベビーから今夜にも極樂行特急に座席を申込まうと云つた御隱居さまゝでをひつくるめての話ですア」

「まあそれもよしとして、その七萬の幾割が芝居見物に來て下さるのぢや」

「一寸確答は出來兼ねますがザッと二割もありませうか」

「よめたッ、そんな考へだからこそ「なぜよい役者よい芝居が來ないんですか」などと嘆つてかゝり度くなるんだ」

「チヤアどれ程に見當を立てればいゝんです」

「芝居とのみ限らず映畫の好きな人音曲の好きな人デロレン派等等等一切を綜合して、先づ／＼一割と見るべきぢやらうて。これとても餘程ヒーキ目に見積つての話ぢやが」

「するとその七千の中の幾分が芝居に來て吳れるんです」

「半分の三千と見てよからう」

「ホントですか」

「ホントとも！しかもこの三千の御見物がそれ／＼に御註文があらうと云つたものだ。歌舞伎をもつて來れば時代錯誤だ、そんな芝居が見られるかとモボ達にこき下される新劇を伴れて來れば、アラヤーダ舞臺で演說してるわよ、なぜ劍戲をもつて來ないんでせうと怨聲をきかされる、笑戲や喜戲では面子上觀に行かれぬとお叱りを受ける。かほどまで千萬の御註文に對してピツタリと來る芝居は絕無と云つても然るべきぢやらう。それを承知で開演ると觀に來て吳ないばかりぢやない、アンナ芝居を見に行く奴は馬鹿の骨頂ぢやと逆宣傳を始めるに至つては沙汰の限りぢや。大連ほど興行のやり惡い所は世界中の何處を搜しても外に類はあるまいと云つても過言ぢやない」

「ナール程」

「大連の人口廿萬全部が日本人であつて吳れて始めて呼吸がつけ相になると思はれるが、そうでない限りはどんな芝居をもつて來たつて儲かりつこなしぢや」

「………」

「どうせ儲からぬと相場が極つて仕舞つたら、仕込の金のウンと張る連中に手を出すほどの茶氣のある人間はセチ辛い當節に金の草鞋で搜したつてあるものか、從つて仕入れの安値の方へ走るは理の當然ぢや、しかも「安からう惡からう」は昔からの通り相場ぢやほどに、貴公のよい役者よい芝居が來やう筈がないぢやないか」

「ダツテ滿洲は大連に限つた譯でもありません、まだ奉天もあれば長春、撫順、安東と夫々に有力なる町が存して居るぢやありませんか、これ等の土地でも相當の成績は擧がる筈ですがなア」

「ヒヤツ驚いたツ」

「なぜです？」

「あんまり物を知らぬにもほどがあるぞ」

「お前さんこそなんにも御存しないのです、大連人種こそ分に過ぎた贅を並べて居ますけど、沿線の御連中は娛樂機關の不備のためにどれほど不自由をして居られるか判りません、從つてこんなチヤンスを見逃しつこはありませんや必ずや靈魔の如くに押しかけて行くに相違ありません……」

「マア／＼一寸待つて吳れ、貴公は一體在滿邦人の總數を御存じなのか」

「それ位のことは知つて居ますよ概略廿萬ぢやありませんか」

「そこぢや！その廿萬ほどの人間があのダヾツ廣い南滿一體に散らばつて居る有樣は大海へメダカを泳がせたにさも似たりぢや。一口に廿萬と云へば相當の數のやうに聞えるが東京市の一つの區の人口にも足らぬ程の人數が日本全土の幾層倍もある南滿一帶に散つて居るつてことは、大衆を相手にする仕事は企劃してはならないと云ふことを默示して居る次第ぢやと思ふがな」

「すると、これまで一回も成功したことがないんですか」

「特別の保護があれば要に角、それ以外には絕對に成功の前例がないのぢや。それ處ぢやない、折角大連あたりで鼻糞ほどに儲けたものまで悉く吐き出してスッカラカンになるのが落ちぢや。然しスッカラカンになつても鴨綠江を渡れる組はまだ上々の組ぢや、中には渡り度くも渡り得ないで補毅もどきにこの河一重が……など〻長恨これを久しうするものもあるのぢやこんな連中が生命から／＼に逃げ歸つて、滿洲つて處は實にひでい處ですよと尾に鰭をつけて金棒をひつぱり廻すからたまらぬ、その次に來やうと思つて居つた連中の出足を鈍らせて仕舞ふ、それを無理にも引張れば仕込みが益々高値になる……これを要するにぢや、從來のやうなやり方では百年千年待つたとてよい役者、よい芝居は來つこなしぢや。」

「ぢやアどうすればいゝんです」

「それは乃公の方寸に在る、なんなら序に申述べ……オイ／＼默つて歸つて行く奴があるか……何ツいづれ寧永にだと、勝手にさらせ」

新版『千夜一夜』

豪花半記

「怪童、舞踊場經營の事」

まづ、眼を驚かすのは壁の色です。私は今までこの壁の色の持つほどの深みを味はつた事はありません。譬へて言へば、幾千尺もの深い海の底に張られた水のとばりの樣な、どこ迄も果て知れぬ奧深さです。これは色々となづけるには餘りに吾々の常識のそとのものなのです。壁は何かほんのりとした明るさ、若しもこの世の中に、「明るさ」と言ふ色があれば、全くその「明るさ」色の壁の前に、水晶の卓子がありまして、不思議な怪童が、これは餘りに現實的なビールを干しております。一九三〇年型の美男子と言ふものは、多少アブノーマルなものなのです。

この美男の怪童と言ふのは、實は一九二八年に態々ヨーロッパで仕込んだテリアと、ブルドックとの雜種で、これを人間として見る爲には、多少の勇氣を要しますが、私は前回申しました樣に「千夜一夜」惡魔の爲に不思議な光景を見せられる事になつてゐますので、大して嫉には感じません。

が、この怪童に世にも稀れな一人の美女が生命を迄、捧げてゐるのだと言ふ事を聞きますと、私は實は多少怪奇な感を抱くのであります。

その美女とは誰でありませう。

この「明るさ」色の壁を持つ場所は何處で御座いませう。

………と、こゝ迄話しますとそれは宛かもほんとうの事の樣ですが、これは、その怪童が常に見てゐる夢だつたのです。

現實の世には、あまりにも盗だのめのみ多く、怪童が藝術家であればある程、次第に美女たちの意識のそこに押し出されて居ります若しも彼が自分の才をたのんで、僞實を先つてゐる事に氣がついてゐないとすれば、その才能も次第に失はれて參ります。

されば、この春こそは先づ、おそまきながら、何か素晴らしい仕事をして見ようと思ひ立ちました何か素晴らしい仕事はないかな、美しい女を集める事が出來るなら金の事はどうでも好いが。と思ひました。仲々持つて、そんなに、あつさりとしてる筈はありません出來れば金を儲ける事にしよう。

と言つて始めたのは、このダンス、ホールです。

一九三〇年型、テリアとブルドツクとの混血兒、アブノーマルな美男子と、ダンスホールは、何と素晴らしいコンビネーションではありませんか。

「もう、これから、活動や踊にと手をつけて損をしなくても濟む言ふものだ」

つく／＼とさう述懐します。

ワン、ステップに、フオツクストロットに、そしてワルツに、ジヤズを指揮した怪童のタクトは昔日の樣な華やかなりし日の如く、踊るが如く狂するが如く……

先づこの狀態は、私が想像する所では、ダンス、ホールの上りの金の多きさに基因するものゝ如くです。

願はくは、この怪童の上に永遠の幸福が齎します樣に。

あゝ、神は公平です。（この項終り）

ラヂオ露語講座

大連放送局一月二十七日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

ДВАДЦАТЬ СЕЛЬМОЙ УРОК.

НАЕМ КОМНАТЫ И КВАРИРЫ.

Об'явление.

Сдается комната.
Сдается квартира.
Сдается комната с полным пансионом.
сдается комната со всеми удобствами.

А.—Скажите пожалуйста, есть ли у Вас свободныя комнаты.
Б.—Да, имеются.
А.—Вы их сдаете.
Б.—Да, сдаем.
А.—Мне необходимо две больших светлых комнаты.
Б.—Пожалуйте сюда. Вот эти две комнаты я могу сдать.
А.—Вы сдаете с мебелью.
Б.—Если вам нужно, пожалуйста.
А.—Сколько будут стоить эти две меблированных комнаты.
Б.—Эти две комнаты будут стоить сто двадцать (120) иен в месяц.

Продолжение следует.

第二十七課

部屋及家屋賃貸
廣告

部屋ヲ賃貸シスル。
家ヲ賃貸シスル。
三食付部屋ヲ賃貸シスル。
スベテ＝便利ナ部屋ヲ賃貸シスル。

A.—何ウゾ言ツテ下サイ，貴方ノ處＝空イタ部屋ガ有リマスカ？
Б.—ハイ，御座イマス。
A.—貴方ハソレヲ賃貸シナサイマスカ？
Б.—ハイ，賃貸シ致シマス。
A.—私ハ大キイ明ルイ部屋ヲ二ツ（借ラ）ネバナリマセン。
Б.—何ウゾコチラヘ。ソレ此ノ二ツノ部屋ヲ私ハ貸スコトガ出來マス。
A.—貴方ハ家具ト共＝オ貸シニナリマスカ？
Б.—若シモ貴方ガ御入用デシタラ何ウゾ。
A.—コノ二間ノ家具付部屋ハイカ程デスカ？
Б.—此ノ二間ノ部屋ハ一箇月百二十圓デス。

（次＝續ク）

思ひ出る馬（三）

黑頭巾記

馬政局
キ馬寮
馬券
單騎
馬方
馬一匹、槍一筋
旗下八萬騎
推敲、賈島故事
馬上、枕上、廁上
後藤貞行　馬刻彫の名家
巖谷小波　午の年生、馬玩具の蒐集者
驪馬
石馬
　石馬嘶響杯上荒南朝天子御魂
香　晶巖
三里塚
小岩井牧場
牛馬王　廣淨安任
玉鬘御之進　大尉、私立乘馬學校　創始者
陸軍騎兵實施學校
人戸の馬　玩具
白駒過隙
ひま行く駒の足はやみ　太平記
馬は飛れるすて〻もおけず　軍歌
再劍旣折吾馬斃秋風埋骨故鄉山　劍舞詩
神馬
白馬　酒
軍馬
路草
河馬
海馬
馬珍　藥方
聖德太子の馬
鳥山東忠　馬を負ふて鵯越を下る
一筆啓上火の用心おさん泣かすな馬肥やせ　本多作左
米を以て馬を洗ふ　千早籠城
馬を屠て食ふ　蔚山籠城
これはしたり世はさかさまになりにけり乘つた人より馬がまる顏　成島柳北
馬の顏鼻はなけれど顏が鼻
乘馬似乘船　杜子美
伯樂
驥北の野を過ぎて馬群空し
博勞
駒引
馬子はのつて見よ人には添うて見よ
荒馬
悍馬
肥馬大刀尙未酬皇恩空浴幾春秋
巨勢金岡の畫ける馬
鹽原多助の馬
塊特山、熊谷直實馬の別
橘中佐の馬
繪馬堂
馬琴　曲亭
三馬　式亭
馬樂　話家
胡馬大宛名、鋒稜瘦骨成、竹批双耳峻、風入四蹄輕、所空無空闊、眞堪托死生、驍騰有如此、萬里可橫行　杜甫
母馬が番してのます淸水かな　一茶
雀の子そこのけ／＼お馬がとほる　一茶
一の谷　鹿も四足、馬も四足、　唱歌
明知左馬介　湖水渡り
早馬
人喰馬
馬角　蘇武
戻り馬
駒を留めて顧みる故鄕を雲や障つらん　太平記東下り
馬に鞍おけ、鞍馬山　謠曲
馬盛し　福井藩練馬法の一
馬市
うまんまら　鹿兒島の菓子
馬穴
芝居の馬
馬戲　馬芝居
木馬
水馬
人觸斬人、馬觸斬馬　兵兒謠
遺却珊瑚鞭、白馬驕不行、章臺折楊柳、春風路傍情　唐詩
路ばたの木槿は馬に喰はれけり
馬にねて殘夢月遠し茶の烟　同
鳥羽殿に五六騎いそぐ野分かな　蕪村
蔡村蜀の馬に歸心南す杜鵑　碧梧桐
鉢の木　佐野の馬
あらびあ馬
馬上得天下、安んぞ馬上に天下を治む可けんや
七騎落
落武者の一粒えりは七騎落　川柳
駒込
馬喰町
淺草の馬道
瀨瘡鐘をおろした戻り馬　川柳
から鐘をみんなおろすと馬になり　川柳
相馬燒
有馬湯
相馬大作
馬頭將、雲古
對馬
天馬
馬車
馬賊
馬具
馬盜人
調馬師
厩燒けたり孔子人を問うて馬に及ばず
雲橫秦嶺家安在雪擁藍關馬不前　韓退子
舞馬の災
瘦馬鞭々嘶不行、天龍江上立秋晴　柳北
自注曰、瘦馬則瘦軍夫也
吉原の馬
あと足で砂
馬盥
傳馬
傳馬町　傳馬衛
驛馬
北馬南船
落馬
下馬
下馬將軍　酒井忠淸
下馬殺急と仰せらる　戲曲妹脊山
鞍馬

映畫雜觀（上）

大内隆雄

暴露映畫

先日山村水太郎氏が次のやうな意味のことを話した。

「今年は映畫に於ける資本主義社會の暴露といふ事が中心的な問題になるでせう」

そしていま我々大連市民の前には「都會交響樂」（改版）が提供されてゐる。それは機關のために單に資本主義社會の暴露に止めさせられた映畫だと言はれてゐる。原版が現代社會の意識的な描寫に或る程度まで成功してゐたといふことは批評家がこれを言つてゐる原作の連作小說にくらべれば、ずつと進步したものであつた——とも。

だが、我々の前にある改版は、バクロに止まつてゐるといふ。そしてそのバクロが今年の中心問題になるだらうといふ。私はそのことについてうなづく。それは第一に今日の社會に於ける藝術の自由の限界を暗示してであり、第三には今日の社會が持つてゐる藝術の性格を考へてみてそう言ふのだ。

能樂、歌舞伎、新劇——高踏にそれだけの變遷を考へてみてもいゝ、活動（文字通りに動きさへすればよかつた）から、ニュース報道機關へ、または滑稽なるもの、悲しきものゝ種子として、そしていまバクロ映畫！ひとは、そこに瞬間の笑ひを求めて行くのではない。また悲しみの涙を求めて行くのでもない。——力を與へられに行く。——それが今日に於いて映畫のもち得る社會的役割ではないだらうか。

かゝる映畫に對するものは、現代讚美の映畫である。人々の意識を、信仰を現代につなぐための映畫である。あのアメリカ映畫が、何のために作られるか、そしてまた何をつくり出してゐるかを考へるがいゝ。日本の今までの多くのチヤンバラ物が、何を日本人に與へて來たかを考へるがいゝ。今日の社會を支へる支柱の大きなものは、新聞雜誌や、そしてまた映畫であるのだ。——バクロ映畫はまさにそれらと對立する。それは現代社會に於ける自己批判としての出發のひとつである。

シネ・ポエム

北川冬彥氏は詩人である。

彼はシネ・ポエムなるものを發明した。

そはシナリオと詩との結婚である。

北川冬彦氏のシネ・ポエム「秋」をよんだ。

鋭い人間は、これは妙にむづかしい言葉の並列だと思ふだらう。私はそこに、彼の「社會批判」をよんだのだ。そして、そこに彼の藝術の力强さを認めたのだ。

「秋」は、帝國主義の侵略がつくり出した滿洲の變化のシナリオ的描寫だ。

撫順炭礦と、鴨綠江との荒た自然が詩人に憤りを感じさせたらしい。ちつぽけな文化住宅の灯りが詩人の嘲笑を呼んだらしい。

前衛映畫

「前衛」——といふ言葉は、私達には特定の意味で響いて來る。だか「前衛映畫」の前衛は、單に尖端を行くといふ意味であるらしい。それは、傳へられるところに依れば（まだ見ないから）藝術的な、あまりに藝術的な映畫であるらしい。今日の、資本家的な企業組織の下につくり出される映畫に反抗して、そうした、藝術的な映畫がつくられやうとすることは私にもわかる。そして、私らもまたそうした映畫に大いに心惹かれるであらう。しかし、それは、思ふに、その藝術的な、雲のうへにたくみにつくり上げられた美しさの故にであらう。私らのなかにそうしたものを求める氣持がある以上、私らがそれに惹かれることは當然である。だが、私らは考ふべきであらう——美といふものも、時とゝもに、移り變り行くものであることを、長い歷史の流れの上に見るとき、私らは、永遠の正義とか、永遠の眞理とか考へられないやうに、永遠に變りなき美などといふものも考へられないのだ。——やがて日本にも、そうした前衛映畫らしいものがつくられるであらう。——それが、サロン藝術的なるものとして、小ブルジョアの、有閑階級の、玩弄物に終らないならば幸ひである。

昭和五年一月二十七日
THE MANSHU NIPPO
(月曜日)
第八千五百二十一號
滿洲日報
改造
2月号
50 sen
小説 砂糖の話 中野重治
小説 キャベツの倫理 十一谷義三郎
小説 鳥 横光利一
小説 慶子と祖父の死 網野菊
戯曲 ランプ 長谷川伸
文藝雜感 廣津和郎
赤い廣場を横ぎる 田口運藏
如何にガンヂーは印度の獨立を叫ぶか……ポース
現代日本文章論
カフェ・酒場・銀座
科學的犯罪の鑑定
ホテル ホテル
總選擧展望
總選擧は如何に戰ふか
銀價暴落崩壞の因果
總選擧を通じて大衆に訴ふ
モルガンとロックフェラー
法學者の書齋から
第二貧乏物語 河上肇
新川柳に現れた社會の顏 井上剣花坊
政界の分野
自動車の話 高橋正雄
無産選擧協定 山川均
倫敦海軍會議と我政府の難局 安富正造
音樂藝術の階級性 兼常清佐
大衆文學は何處へ行く 木村毅
ふらんすでざれごと 辻潤
没落資本主義の第三期 猪俣津南雄
無戀愛
無産婦人と
日本の共産黨 村落 小野武夫
無産黨出直しの説
改造社
大日本雄辯會講談社
大増刷出來!
キング二月號
見よ!左の評判小説
心の日月
宙に浮く首
燃ゆる花
血みどろ傳奇
春遠からず
怪盜夜叉王
面白いこと無類!
ガラマサどん
定價五十錢
キング二月號には
面白い子供の科學
爲になる
少年技師
ハンドブック
躍進又躍進の二月號!
三千圓大懸賞附新年號
お待兼の第一篇出來す
電氣機械の作り方
やさしいラヂオの作り方
電車と電氣機関車の作り方
器械と模型
電氣玩具の作り方
發電機
取扱法
ラヂオの製作と原理
半價目録進呈
最新刊
大阪屋號書店
滿洲書籍部
GREENE TWEED & CO.,
パルメットパツキン
For Rods & For Valves
鳥羽洋行
新入荷品
常に新柄と新型
ユカタ
ニシフクリトー
大連
丁子屋洋服店
電話 六二七六
大連三四三九
株式會社 大連商業銀行
印刷

社説 教育は常に目的なり 手段方便であつてはならぬ

[illegible]

……かくて人間創造といふ神聖なるべき教育の領域が、何となく冒漬せられざるやと怪ぶまれた。近時、やゝ覺醒するところあり、試驗地獄に發生した準備教授の不合理なるを發見するに至り、手段は手段、目的は目的なりとの觀念を强くするに至つたことは喜ぶべき現象である。教育は徹上徹下、それ自體の現在が、常に目的にして他の何物の方便とされてはならぬのである。不祥なる一例ではあるが、譬へば或る中學生が、上級學校の入學試驗の準備に勉强中、不幸にして死亡したとせんか、若しその中學生の教育が、たゞたゞ準備教育にのみ沒頭し、人格創造の貴重なる陶冶を粗略にして居つたとせんか、つひに立派な人間に教育されずして暗より暗へと辿ることになるのである。かくの如き不合理は、決して有り得べきことではない。實際問題と理論との調和は至難ならんも、とにかく人格創造、國民陶冶の國民教育なるものは、如何なる等級の學校なりといへども、それが常に最高の目的として人格の完成を期すべきものではあるまいか。

總選擧の豫想は民政黨に頗る有利
與黨幹部、公認發表を急ぐと共に候補者の整理に努力

【東京二十六日發電】與黨民政黨の候補者濫立に早くも選擧地盤紛糾に陷るのではないかとの說を生じ、折角民政黨に集まる投票も四散してしまふ結果を生じ安達内相の理想たる八十パーセント當選も怪しくなりはしないかと傳へられてゐる、この

心配は 安達内相を初め選擧委員の胸にも一ぱいとなつて居り、民政黨が公認候補を急ぎ發表したのも全く非公認候補者の群生を防止せんとするにある、しかして非公認候補の濫立により公認候補の當選に障害を與へんとする形勢あるは黨として最後の手段に出づるの外なしとし、これ等に對しては遠慮なく除名處分をなし公認候補の當選を確保すべしといつてゐる、黨選擧委員では斯くの如き非公認候補の群生濫立を心配してゐるが、併し一面これを總選擧界の人氣から見れば非公認候補者の群生濫立は即ち民政黨の

選擧界 に於ける好人氣を表徴するものであり、選擧界に民政黨の評判が良いため斯く多數の候補者が現はれるわけである、とにかく候補者の群生濫立は選擧委員を惱ますこと甚だしいが、これを大勢より見る時は總選擧にはキツとその黨の成績が良いことを示してゐる、選擧は多數人氣に支配されるものであるから候補者の出濫るやうな政黨の勝つた例はないといはれてゐる、これ等の經驗より見ても今度の總選擧に民政黨の候補者の群生濫立することは選擧地盤より見れば苦痛多いわけであるが、結局この民政黨候補者を群生濫立せしむる選擧界の

空氣は 今度の總選擧において民政黨に勝利を得せしめるものであらうと觀測されてゐる、從つて黨幹部にてはこの情勢に臨み先づ續いて公認發表を急ぐと共に候補者の整理に努め萬全の策を講ずることゝなつた

飽く迄三百名を限度として嚴選
非公認候補者には一切應援せぬ
昨日首相官邸の對選擧策密議

【東京二十六日發電】政府は地方長官會議を濟ませ二十七日の警察部長會議を以て總選擧對策は全く完了するので、今後は與黨立案のプログラムに從ひ各閣僚は地方遊説に進出しいよいよ白熱的選擧戰に入るが、二十六日午前十一時濱口首相は

官邸私室に 安達内相、江木鐵相、富田幹事長を招致し選擧對策につき約二時間に亘り密議を遂げた、即ち政府、與黨は議會解散と同時に選擧方針を決し、公認候補者は三百名以下に減少するを申合せ既に第一回發表をなすに至つたが、其後立候補公認を申合せ運動をなす者多數に上り銓衡の任に在る安達内相も手を燒いた始末で、殊に公認決定につき難中の難とされてゐるところは十二三箇所あり、之が銓衡についても協議を遂げたものであつて、此結果與黨の銓衡方針としては飽くまで三百名を限度として嚴選し、其具體的銓衡決定は

安達内相に 一任し、非公認候補者については黨としての應援助力は一切なさず、且つ來月二十日までには之等非公認者を整理し行く方針を取ることゝなつた

なほ本日は選擧費用問題についても重要協議が行はれた

選擧取締りの警察部長會議
きのふ内務省で開かる

【東京廿六日發電】選擧取締に關する道府縣警察部長會議は廿七日午前九時より内務省に開催された、安達内相、小山檢事總長以下各關係官並に道府縣警察部全部出席、安達内相及小山檢事總長の訓示あつてのち指示事項、協議事項の協議に入り、午後四時漸く散會

指示事項

一、選擧取締法規の周知徹底に關する件
二、選擧取締法規勵行に關する件
三、言論文章の取締りに關する件
四、選擧運動費制限規定勵行に關する件

朝から晩まで轉手古舞ひ
日曜もゆつくり休めない 此ごろの濱口首相

【東京特電二十六日發】解散以來の濱口首相は文字通りの轉手古舞である、先づ原田男を呼んで解散顛末に就いて園公に報告、閣議を開く、黨幹部を呼寄せては選擧對策に腐心する、軍縮對策に就いても話に興らねばならぬ、トーキーにも出演せねばならぬ、土佐の地盤へは義理にも電報の四、五本は打たねばならぬ

◇與黨代議士が引連れて來る官邸見物の地方選擧民にも映畫俳優の様に緊縮顏を一寸覗かせねばならぬ、彼や是やせねばならぬ事が多くて二十六日折角の日曜にも鎌倉別莊にも行きはぐれた、行きはぐれるところか女關子には絶對面會謝絶の切口上を命じおき十疊の私室で江木、安達の主役閣僚、富田幹事長を極内々で呼込み秘策を練つた、其秘密話の内容は軍資金と候補濫立の防止の二大問題で約二時間に亘つて打ち合せたが、夫が濟むとライオン首相突然

◇ドライブしたいと言ひ出した、英雄の閑日月か將又街頭に、田舍道に競ひ合ふ立候補立看板の視察か何れにしても我黨の形勢こそは腦裡から去るまい其處で秘書の鍵山君コースを澁谷道玄坂から双子、玉川、川崎に出で京濱街道を東京に歸ると定めていざ玄關を出でやうとする刹那、松田拓相が飛込む、首相餘儀なく懇談する事又も五十分、夕暮迫ると云ふので遂にライオン首相ドライブを斷念して四時から晝寢一時間

◇眼醒めると 共に東京驛理髮店に散髮に出かけ、斯くて日曜一日も靜養オヂヤン、選擧レビユウの一景である

普選純化同盟
きのふ第一回發起人會

【東京二十六日發電】來るべき總選擧の國民淨化運動の先端となるべく尾崎行雄、新渡戸稻造、永田秀次郎、有馬頼寧の諸氏發起人となり普選純化同盟を組織し、二十七日午前十一時から丸之内東京會館にて第一回發起人會を開き協議のうへ具體的運動に入ることゝなつた

協議事項

一、選擧運動者に對する準備、實力及報酬額協定の件
入、選擧取締り官憲の言動に關する件
五、選擧運動者にあらざるものゝ運動行爲取締に關する件
六、流言浮説の取締りに關する件
七、司法官憲との連絡協調に關する件

立候補の爲急遽東上
臺灣總督秘書 大谷忠四郎氏

【門司特電二十六日發】臺灣總督秘書官大谷忠四郎氏は臺灣から郵船大和丸で本日門司着東上したが

同氏は永く腸チブスで寢込んで漸く此程よくなつたが、まだ獨りでは階段を昇降することが出來ぬ有樣であるのに、上京中の石塚總督から急遽上京せよとの電命で急ぎ東上中であるとて語る

議會が解散になつたので私にも郷里福島縣から立候補せよとの總督の電命に接しましたから、まだ足がフラつく病後の身ですが出發しました、到底充分に演説などをやることは出來兼ねますが濱口總裁初め多數名士の應援演説會を開いてやるつもりです、民政黨の公認さへ得れば九分九厘まで當選の確信があります

同氏は富田民政黨幹事長宛に立候補するから公認の件是非頼むとの電報を門司から發してをつた

選擧の結果を見て議會に提出
現内閣の二大政策

【東京二十六日發電】民政黨内閣が其實現を公約せる重要政策中義務教育費國庫負擔金増額、地租法改正、關税政策を初め議會解散豫算不成立に依り解決を特別議會に殘された政策は頗る多く、前五十五特別議會に當り政友會内閣は御大禮費初め緊急なるもののみ計上し一切政策に關するものゝ

提出を避け たに對し、民政黨は野黨として重要政策を提出せざる點を猛烈に攻撃した行懸りがあるので、來るべき特別議會に處する現内閣の方針は非常に興味を以て見られてゐる、今日までの政府の言動に徴するに

一、金解禁對策としての産業合理化、國際貸借改善に關する施設
一、關税の改正、貿易局の新設、輸出補償制度、船舶金融其他の諸施設
一、社會政策的施設就中失業對策
一、財政緊縮及國債整理（明年度豫定額の切落し）
一、獨逸賠償金の減債基金繰入れ（各特別會計の減債基金自己負擔を含む）

等の諸政策については特別議會に

提出實現を 期してゐるが

一、義務教育費國庫負擔金増額
一、新地租法並に之に伴ふ諸法律の改正

の二大政策は共に年度半にては實行不可能で六年度よりとなり緊急止むを得ずと云ひ得るや疑問なりとして未決の狀態に在る、蓋し義務教育費國庫負擔金、之に伴ふ地方税輕減の如き總選擧のモットーとして最も有力なものであるが、之にしても地租法にしても特別議會にて通過を期するには與黨の絶對多數を前提とする故に政府、與黨は

總選擧には 金解禁斷行の功績及緊縮政策を高調するにとゞめ、此の二大政策を特別議會に提出するや否やは選擧の結果を見て決定する意向であると云ふ

中等學校の教職員にも身體檢査を施行す
愈よ關東廳が規程の草案に着手 新年度から開始豫定

關東廳には從來小學校乃至普通學堂、公學堂教職員の身體檢査規程はあるが、中學校、高等女學校等の教職員の保健衞生取締に關しては何等の規程がなく、しかも中等學校職員の疾病或は不健康がその生徒の健康は教授等に及ぼす

影響は 小學校職員に勝るとも劣らず、殊に呼吸器病の如きはその對象が發育盛りの青年處女なるだけに事實餘程の重大性があるが一面現在の中等學校職員の健康既に非常に宜しからぬ狀態にあるといふので、今般同廳學務課では右中等學校教職員の保健取締上身體檢査規程を設け小學校職員同樣毎年規程による檢査をなす由で目下規程草案中で

學務課 では新年度草々檢査開始の豫定であるといふ、尚これと同時に教職員の採用に關しても今後は健康に最も重きを置く筈であると

選擧ゴシツプ
東京特電二十六日發

◇正月の元旦が一月の卅日に當るので二十九日に供託三十日に立候補しやうと御幣擔ぎの候補者が多いさうだ、御幣で當選するなら神官連は全部當選しやう。

◇堺利彦老は左翼東京無産黨から出るが娘眞柄嬢は大衆黨の運動員となり父枯川老の地盤を荒し廻つてゐる枯川老歎じて曰く「娘でもおれの儘にはならぬ世の中だ、選擧民が意の儘に動かぬのは當然さ。

◇大衆黨の細野三千雄君、選擧區の新潟へ出發しやうとする間際にオギアオギアと夫人が坊ちやんの御芽出た應援の連中幸先よし、勝雄と名前を付ろで忽ち勝雄君と決定

◇大阪の無産黨候補の何とかいふ男の細君、運動費調達に着物を入質して五百圓を作つたといふ新聞記事を見て某前代議士憤慨して曰く「俺の女房なぞ簞笥の底を叩いても五百圓はおろか、五十圓の質草もありやしない、無産黨といつても今の無産黨は格式が丸で違つてゐやがる」。

◇埼玉縣の大衆黨候補大木君、トラツク一臺をどこからか調達しござの屋根を取付け寢具、炊事道具一切を收容して選擧中選擧區遊説の移動ホテル、日も夜も之が本部とある。

◇例の選擧監視とあつて前任地の德島に乘込んだ山下元知事に、郡部下の役人が敬意を表しに來る、山下元知事諭話して曰く「諸君役人は朝には民政の門を叩き夕には政友の玄關に立ち給へ、是が官海游泳の秘策だぜ」。

◇犬養健氏は學習院在學中一番で打つ通した秀才だが大學二年の時突然退學したので教授連が惜いものだと引留めると健氏曰く「先生等の講義が馬鹿らしくて聞いちやゐられないから」とさつさと大學を引拂つた。

現勢維持は難くないと
政友會幹部の强がり

【東京二十六日發電】政友會では飽くまで嚴選主義を以て優良なる公認候補を選定し、味方の戰線を統一して敵の濫立の虚を衝き一方戰費の濫用を防止し、實力有る候補者に集中する主義を取つて選擧費の

經濟化を圖 るの方針を樹て、且つ公認料を廢止して候補者本位の應援制を設くる等種々の戰法を講じてゐる、之がため候補者の立遲れ、公認發表の遲延、前代議士にしてまだ戰線に就く能はざる者あつて多少の異論は聞かれるも、幹部は之等の陽音に一切耳を傾けず、優勝劣敗は政界廓清上已むを得ずとなし、飽くまで言論戰を以て選擧に臨み犬養總裁を陣頭に押立て前閣僚、幹部及黨の中堅を浚つて六大都市を始め全國各地に大遊説隊を派遣し、黨の政策を徹底せしめる時は現内閣に依る不景氣、生活の脅威より逃れんとする

人心は我黨 に集まり現狀二百三十名を維持し第一黨たることは難くないとしてゐる

田中民政署長に白羽の矢を立つ
銓衡委員が昨夜氏と第一回の會見
大連市長の後任問題

大連市長後任銓衡委員會は二十六日午後市會議長室にて開かれ秘密協議を凝らすこと多時、先づ大連民政署長田中千吉氏を最適任者とし極力

同氏の出馬 を促すことに衆議一決した、そこで委員五氏は同夜打連れて田中氏を訪問し、縷々經緯を開陳して應諾を求めたところ同氏は委員會より推薦を受けたるに對し感謝の意を表したるも諾否意の肚を表さず、又熟慮する旨も答へず、第一回の會見は要領を得ずして終つた模樣である、右に就き田中氏は左の如く記者に語つた

銓衡委員の人達から正式に推擧を受けたのは事實である、然し自分としては調停の勞を執つた關係上甚だ心苦しく思つてゐる次第で、暫く熟考さして頂きたいといふやうなことを申述べた事はない、これ以上は何と聞かれても云ふ譯にゆかぬ

一方委員は **同夜深更ま** で協議を重ねたが、田中氏に對しては更に懇請を爲すか、それとも直に次の銓衡に移るか等に就き打合せた模樣である

東亞勸業補助金
廢止は當分實現すまい

【東京特電二十六日發】東亞勸業公司に對する關東廳の補助金十五萬圓を五年度限り廢し、もしくは輕減すべしとの說あるとは既報の通りであるが、元來右補助金は東拓を中心とする國策的見地から行はれる同公司の事業を保護する意味に於て朝鮮總督府より下附されて居たもので、同公司が東拓より

滿鐵の手 に移るや該補助金も亦關東廳より下附することに變更されたもので、相當の歷史もあり根據もあるものであるから假令滿鐵の手に移つた今日に於ても國策的方針が變改されぬ限り假に廢止すべきものでないと云ふので其廢止は當分實現しない模樣である、然し關東廳としては滿鐵中心の事業に對して東亞勸業のみ獨り特別の補助をなすは他との均衡上面白からず、殊に貧弱なる

關東廳の 財政上のことも考慮し相當の減額をなすことになつて居り五年度の勸業補助費豫算中、同補助費は三分の一の五萬圓程度に止め、五萬圓は緊縮、殘りの五萬圓は補助費に振り向けられることになるであらう

張學良氏
秦皇島に向ふ

【奉天特電二十六日發】張學良氏は秦皇島東北海軍學校卒業式列席のため東北海防艦隊副司令沈鴻烈氏と同道、二十五日午後十一時發同地に赴いた、なほ氏は葫蘆島築港の下檢分をも爲す筈であると

新庄大阪商船專務

大阪商船專務新庄清一氏は各地支店における營業狀態視察のためかねて來連、天津支店視察を終了廿六日出帆榊丸にて上海に赴いた、上海より香港、臺灣各地を廻る豫定であると

はるびん丸船客

【門司特電二十六日發】はるびん丸乘船客左の如し

大連汽船社長安田柾、東洋棉花會社員井上和吉、三越調査課長野間本芳太郎、貿易商王錫臣、滿洲報社長西片朝三、森勝太郎、村松鹿之助、林昇太郎、枝松胖、小野實雄、建築師荒木幸平、野村政一

對支交涉と仙石總裁の肚裡
一切、積極的な態度に出るは好まぬ模樣

【東京二十六日發電】仙石滿鐵總裁は來る二十九日濱口首相首め關係閣僚等と滿鐵改革に關する第二回協議會を開催し

一、昭和製鋼所問題
一、傍系會社整理問題
一、職制改正問題

等につき說明協議するはずであるが、對支交涉を要する事項については仙石總裁としては一切積極的態度に出づることを好まざる模樣で、久しき懸案たる

吉會鐵道 敷設問題の如きに對しても相手が嫌がるのを無理に押しつけがましくするは嫌であるといつてゐる位で、支那側が進んで敷設を要望して來ぬ限り滿鐵より促進の交涉をすることはないものゝ如く、また曩に奉天公所長古仁所豐氏を通じ張學良氏がその意を傳へて來た日滿經濟提携についても兩國實業家連が自然に歩み寄るのでなければ何も期待出來ないと說明してゐる

對英借款で葫蘆島を築港
諸說紛々として傳はる

【北平特電二十六日發】北平某機關への情報に據れば、南京政府は葫蘆島の築港を計畫しつゝ北寧鐵路收入を擔保として、英國に千六百萬元の借款を申込み、着々交涉進行中なりと云ふ、これに關して各方面に大體これに近似したる通信が入つてゐるが、中には北寧鐵路の英國借款は二百二十萬磅であつたものが、最近は十六萬二千五百磅に減少し、英國としても長く借款形式の存續を希望する爲め、葫蘆島の築港借款に應ずるであらうとも云はれ、又この問題は中央政治會議に附議せられ、決定次第準備に取りかゝり、民國二十三年には完成の豫定で計畫内容は築港堤防、造船所等々を完備したものでこれが完成の曉は從來の大連と浦鹽の兩海港に對して脅威的出現となるであらうと、これ等に關して、當の北寧鐵路局幹部は「未だ左樣なことは聞いてゐない」と云ひ又現在のやうな情勢の下に於て果して英國が借款に應ずるであらうかと云ふことは疑問視せられてゐる、尚日本の各機關にはこの問題に關して未だ確實なる情報無くいづれも否定的見解である

安興椅子

各派政黨の本部には五月蠅く印刷業者や封筒書の註文取りが來るが、その中に職業婦人が進出し妙な目つきで泳ぎ廻つてゐる▲これを候補者連が「秘書として働いて呉れ給へ」とドシドシ連れて歸る、不思議なことには御面相の良い奴ばかり賣れて不器量なのは字がうまくても一向に賣れぬ▲これもまた今度の總選擧に初めて現はれたモガ進出の一場面▲話は少し古いやうだが先般山本、松岡前正副總裁と別々に會つたときの話……仙石總裁に「一體どんな話がありました？」と訊くと▲總裁例の調子でニヤリと笑ひ「君がたが餘り新聞に書くものだから、若い者は兎角氣にしてね、いろいろなことを聞きに來たンだよ」▲松岡氏は兎に角として、山本氏まで若い者扱ひはいかにも仙石老らしい▲それもその筈、一國の大宰相たる濱口氏ですら仙石氏にあつては「小孩」にしか見えぬのだから堪らない【東京特電二十六日發】

目ざましかつた 木谷選手の活躍 本社の優勝杯を獲得

全滿氷上競技選手權大會の盛況

【奉天特電二十六日發】(夕刊續き) 全滿氷上選手權大會における五百米に滿洲記錄が生れた丈けで、あまり振はなかつたが、何といつても一萬米突は當日第一の呼物であつた、安東の木谷選手は依然たる强味をもつて五百、千五百、五千、一萬に優勝した、大會終つて、體育協會長小日山滿鐵理事閉會の辭をのべそれ〲入賞者に賞品を授與し、本社編輯局長より一萬米の入賞者木谷選手へ授けられ目出度く午後五時半閉會した、尚安東中學對安東俱樂部の優勝戰は當日擧行の筈であつたが日沒の爲め延期され此の決勝戰は何れ日を期して安東に於いて擧行される筈である

千五百米(コース、ダブル、トラック、タイムレース)
- 一着 木谷德雄(安東) タイム二分四十九秒九
- 二着 小池富二(奉天) タイム二分五十秒五
- 三着 河村利夫(奉天) タイム二分五十一秒四
- 四着 池見正信(大連) タイム二分五十一秒八
- 五着 大澤義一(安東) タイム二分五十四秒五

女子千五百米(コース、ダブル、トラック、タイム、レース)
- 一着 井上浩子(奉天) タイム三分三十九秒七
- 二着 本山艶子(大連) タイム三分五十九秒四

一萬米(タイムレース)
- 一着 木谷德雄(安東) タイム二十一分二十九秒
- 二着 池見正信(大連) タイム廿一分二十九秒四
- 三着 小池富二(奉天) タイム二十一分三十秒
- 四着 河村泰夫(奉天)
- 五着 大澤義一(安東)

一着から五着までは終始一團となつて滑走し、大いに接戰を演じたが、木谷遂に一着を占む

背進五百米
- 一着 相澤辰巳(撫順) タイム五十九秒六
- 二着 池見正信(大連)

千五百米リレー
- 一着 撫順(出原、水上、相澤、森高)タイム二分五十六秒一
- 二着 奉天(岩本、村瀨、小池、河村)タイム同上

女子千六百米リレー
- 一着 奉天高女(森田、大久保、佐々江、井上)三分五三秒八(獨走)

フイギュアー
- 一等 酒井幸雄(奉天)四點、二等 林六郎(旅順)六點、三等 顯原卓爾(旅順)一一點五

アイスホツケー(醫大リンク)

奉天中學對安東俱樂部のホツケー戰は午後零時三十分より開始されたが一對一の同點となり三十分の補回ゲームを續けたが尙勝敗決せず抽籤の結果安東俱樂部の勝となつた

安東		奉中
0	—	1
1	—	0
0	—	1

(奉中) 岡津藤浦島 松梅近松森中 (安東) 本井西內川村谷 山酒大山小下濱 (FW・PB・GK)

準優勝戰

醫大留守軍對安東俱樂部ホツケー戰は午後三時二十分齋藤氏のレフエリーにて開始されたが大接戰の後一對零にて安東の勝となつた、閉戰は四時五十分

安東		醫大
1	—	0
0	—	0
0	—	0

(醫大) 間谷下田東 早增木堀久保百 (安東) 本西內川村谷 山大山小下濱 (FW・PB・GK)

滿鐵リンクの部

大連俱樂部對撫順俱樂部のホツケー戰は午後一時より酒井氏審判にて開始されたが四對一にて大連俱樂部の勝となつた閉戰二時二十分

大連		撫順
1	—	0
2	—	0
1	—	1

(撫順) 西保田原藤野 寺久梅堀相內隅 (大連) 井寺岡野木間 櫻小花河黑福 (FW・PB・GK)

準優勝戰

安東中學對大連俱樂部の準優勝戰は午後三時より酒井氏の審判にて開始されたが六對二にて安中の大勝となつた、閉戰四時二十分

安中		大連
2	—	2
2	—	0
2	—	0

◇全滿氷上選手權大會畫報◇

(右上)大連の池見選手(上)奉天中學アイスホツケーチーム(左下)本山孃(右)井上孃(左)

好記錄が出せないで 面目もない次第

優勝せる木谷選手談

【奉天特電二十六日發】二十六日奉天で擧行された全滿スケート選手權大會に於いて絕對的强味を示し一萬メートルスピードレースに優勝し本社寄贈の優勝トロフイー及び金メダルを受けた安東の木谷選手は語る

全日本選手權大會でレコードの良かつたのは氷が非常に良かつたことで、一萬メートルのレコードの思はしくなかつたのはコースがセパレートであつた爲めでした、今月の大會には是非好記錄をと思ひましたが何分青森から滿洲迄殆ど汽車に乘り續けの樣な有樣で、而も安東には數日休んだゞけで直ぐ奉天に來たわけで非常に疲れてゐた爲め、立派なレコードも出せず面目無い次第でございます

得意の强球で 佐賀孃美事優勝

宅和孃は二位に落つ

大連女子卓球大會

旣報の如く滿洲卓球協會主催本社後援の大連女子卓球大會は廿六日午後も引續き擧行されたが男子の觀衆も多く男子何者ぞの意氣込みで洗練されたプレー振りにフアンも熱狂したが前年度選手權保持の宅和孃は優勝戰に於て後進の佐賀孃に慘敗した、佐賀孃のプレー振りは一際目立つたもので他の追從を許さず一人天下の槪があつた、午後の戰跡左の如くである

▲第三回戰 (1)宅和三—二津田(2)佐賀三—〇新(3)印牧三—二宮地 大野喜不戰勝者 〇敗退者戰勝者 矢野手島立花綾部二木三村

▲準決勝戰 宅和(神明俱)三—二印牧(神明俱) 宅和のサーヴスで開始易々一ゲームを得たが印牧奮戰して二ゲームをとりリードしその後接戰したが印牧失多くして止む 佐賀(神明俱)三—〇大野(神明俱)

▲第四回敗退戰 新帶三—〇三村、津田三—〇、立花、宮地三—一手島、三木三—二綾部、矢野不戰勝者

▲第五回敗退戰 新帶三—〇宮地、津田三—一矢野、大野三—〇三木、印牧不戰

▲第六回敗退戰 大野三—〇印牧、津田三—〇新帶

▲第七回敗退戰 津田澤子三—〇大野喜代子

▲優勝戰 佐賀そとの三—一宅和みつえ、佐賀一〇—三、一〇—四、六—一〇、一〇—五宅和前年度選手權保持者宅和のサーヴスで開始佐賀の强球にさしもの宅和も手出ず易々と二ゲームを取られ宅和奮起して一ゲームを挽回したがものにならずあつけなく終り遂に選手權を佐賀に讓る

右試合終了後役員協議の上左の如く順位決定し卓球協會、滿日、東及び山本運動具店寄贈の賞品は東瀨戶卓球幹事の手より拍手裡に勝者に授與され午後三時終了した

一位佐賀、二位宅和、三位津田、四位大野、印牧、五位新帶

大連女子卓球大會

范家屯に 三人組强盜

鐵工業襲はる

【長春特電二十六日發】二十六日朝三時半頃長春警察署管內范家屯北大通一四號鐵工業支那人舍仲閣方へ三名の馬賊押入り一名は拳銃にて二名は棍棒にて家人を脅迫し現金哈大洋五百元、邊業銀行券四百五十元、衣類三十點合計邦貨換算七百七十八圓を强奪し逃走した長春警察署にては折柄舊年末特別警戒中なので時を移さず田畑司法主任現地に急行、犯人嚴探中である

階上階下とも 觀衆で埋む

前日に勝る二日目の盛況

新曲演奏大會終る

新春の演藝界を飾る滿日愛讀者慰安新曲演奏大會の第二日目—二十六日は、日曜日でもあり、初日の人氣を受けて正午開館を待ち兼ねたフアンが場內にドッと流れ込む、一としきり芋を洗ふやうな混雜が續いた後、あとは

引きも切らぬ大入だ、定刻既に階上階下は熱心な觀衆で埋まりこの數實に千五百名を越えた、出演者も前日に勝る眼前の盛況に一層の緊張味を見せ開幕を待つ、開演に先だち太原本社營業局長の挨拶に次ぎ山崎販賣店代表の謝辭があり、破れるやうな拍手と共に大幕が揚る、春に相應はしい常盤座バンドの華やかなメロデイによつてプログラムのトツプを切る、花田大勾當の箏曲

操太夫連中の常磐津「勢獅子」に觀衆は全く夢の世界だ、次ぎが呼もの〻舞踊「對面化の春駒」が北村派連中によつて演ぜられたが其妙技と美麗はすつかり觀衆をアツピールし輕い汗ばみさへ覺えさせる、延岡松連中の淸元「四季三葉草」旭濤會の義太夫「壺坂」櫻會連中の長唄「高砂」は共に一段と冴え、魂を奪つて夢遊境に誘ふが如く陶然と醉はせ讚嘆の拍手がそのたび毎に

場內をゆるがすばかりであつた、最後に音樂院の童謠、可愛い孃ちゃん方が蝶のやうに舞ひ競ふて喝采を呼び大盛況裡に午後五時半閉會した

探偵小說『女妖』

いよ〱明朝刊より

第六面に連載致します

わが探偵小說界の覇王江戶川亂步氏並に横溝正史氏の合作になる探偵小說「女妖」は既に豫告致しました通り、いよ〱二十八日から朝刊第六面に連載することになりましたお承知の如く挿繪は斯界に名聲嘖々たる伊藤幾久造氏の手になつたもので、必ずや讀者諸彥の御期待に添ひ得るものと確く信じます、折角御愛讀を乞ふ。

馬賊に組付き格鬪中 山根巡査射殺さる

結局賊四名を逮捕し一名を射殺

きのふ郭家店で

【公主嶺特電二十六日發】昨年十二月十二日市內東本町三盛糧棧に闖入、店主及び店員二名を射殺した十三名の馬賊が郭家店南一條街の家に潛伏してゐるとの急報に接した公主嶺警察署は二十六日午前十一時廿分發二十二列車にて平林司法主任指揮のもとに山根巡査外五名は之が逮捕に向ひ該家を包圍して四名を逮捕取調中、一名の賊は支那婦人を同行、戾りたるを見た山根巡査は勇敢にも之に組付き格鬪中賊はピストルを發射して同巡査を射殺逃走したので、平林司法主任指揮のもとに之を追擊し射殺し一賊を逮捕したのであるが此の交戰にて蒸巡捕は右腕に貫通銃創を、宋巡捕は左腕に貫通銃創を受けた、山根巡査は午後一時絕命した

祕かに開かれた 中央執行委員會

細胞組織其他を協議

鮮人學生共產黨事件

(昨朝刊續き) 二月二十三日夕刻宋炳案方に崔星煥、李哲夏の三名會合し中央執行委員會の期日、協議事項につき豫備會議を開き期日は二月二十七日と決定した、二十七日午後八時京城府樓下洞二四六宋炳案の下宿金濟亭方に崔星煥、李哲夏、李皴湜、韓炳宣、第一高等普通學校生文殷鐘、第二高等普通學校生閔忠鉉それに中央高等普通學校の朴判同、柳栗根青年學館より南相璜、徽文高普校生金雲善安三遠の十二名集合し第一回中央執行委員會を開き

會費の件、細胞組織に關する件綱領作成の件、三一記念日運動に關する件、友誼團體に對し交涉委員派遣の件、暗號制定身分調査規約

等を議し會費は三十錢とし左の如く組織をなした

責任秘書	宋炳案
秘書	李哲夏
組織部責任者	崔星煥
部員	安三遠
部員	閔忠鉉
宣傳部責任者	金雲善
部員	朴判同
檢察部責任者	韓炳宣
部員	崔星煥
部員	文殷鐘

地方細胞組織は試驗休暇及び夏季休暇に歸省期間を利用し社會科學に興味を持ち戰鬪的分子として認識を得たる者に當該地校內に祕密に細胞を組織させ一學校單位に漸次一道に作り上げ優秀細胞を選定して正式黨員として入黨せしめる事とし綱領三項を制定、三一記念運動の他團體との連絡交涉員として崔星煥、李哲夏、宋炳案、安三遠、文殷鐘を指名した

ㄱ黨第二回中央執行委員會は三月十日京城樓下洞二四六宋炳案方に於て午後九時より開會、權五敬を中央幹部とする事を決議した後三一記念運動は他の團體との連絡交涉不成功なりし爲め何事も爲し得なかつたことを報告し

一、細胞組織に就て
一、黨の存在に對する論爭に就て
一、綱領の發表に就て

協議した後、朴判同は中央高普校內に學生細胞を組織すべく努力してゐる事を報告し十二時頃散會した、次で四月九日夜同じく宋炳案方に第三回中央執行委員會を開き全南光州、忠南公州の各高等普通學校內に細胞を組織する方針を決定した、韓炳宣は六月七日培材高普校の

培材高普校內に ㄱ黨の細胞組織

活躍中遂に逮捕さる

裏庭に三年生甲、乙組、二年生甲組、四年生中の同志の主なるものを集めてㄱ黨の結社に就いて說き校內に細胞を組織するは穩利であるとて贊同を得、次で六月九日京城茶屋町一六四、下宿屋に四年生朴勝濟、金炳祺、吳命中金福經、李虎植、孫粟基、姜錫東金正秀集合し朝鮮の活役者である學生もㄱ黨と提携し全校を統一して政治的鬪爭に進出すべきであるとの意見一致し培材高普校內に完全なるㄱ黨細胞を組織した朴判同は中央高普校五年生姜昌興を說き三月上旬入黨せしめた、斯く朝鮮最初の學生共產團體として生れたㄱ黨は細胞組織明休指導その他に活躍中檢擧されたものである

埠頭繫留中の 天潮丸火を噴く

アンペラだけで助る

當直も居ないノンキさ

廿六日午後八時頃、埠頭二十番バースに繫留中の大連汽船所屬天津通船天潮丸(二二七〇噸)船首船艙より煙の上るを同船舵夫宋文良(三)が發見ハッチを開けたところ船艙內のアンペラに火がつき燃え盛つて居るので大騷ぎとなり、直に斯くと水上署に告げたので消防隊驅付け防火に努めアンペラ一部を燒いたのみで同十時半鎭火した同船は當日銑鐵、アンペラ等六百噸を積んで入港するや正午より午後五時迄荷揚作業を爲したが、多分其節の煙草の吸殼が發火の原因らしく火元は一番船艙である、尙發火の節消防隊警察署員が驅付けた時は高級船員は全部上陸して當直の者も船內に居ず、其無責任なる事を非難されてゐる

能登呂飛機 爆發半燒

【札幌二十六日發電】厚岸灣に碇泊中の航空母艦能登呂搭載の第七號機は二十六日午前八時半飛行を開始し三千メートルの高度にて根室地方の試驗飛行を終り午前十時廿分厚岸に歸還し厚岸灣內辨天島附近にて氷の割れ目を目がけて着水の際保護島たる白鳥の群を發見之を避けんとした刹那顚覆しガソリンタンク爆發火を發し機體を半燒した、幸ひにして搭乘者山本二等兵曹が右耳に輕傷を負ひたるのみで肥後、井出兩二等兵曹は無事であつた

夕刊 滿洲日報 一月廿六日

青年監視隊を組織 政友の陰謀を防止

きのふ選擧委員會で決定した

【東京二十六日發電】民政黨の選擧委員會は二十五日午後二時より開會先づ選擧對策につき協議の結果、左の如く青年監視隊を組織することに決定し、全國各支部に向け各々これが組織方を直ちに電報を以て通達した

一、買收防止の青年監視隊を組織すること

政友會は名を選擧干渉監視に藉り古手官吏をして舊知を辿り公正なる職務の執行を妨げ不純の陰謀をなさんとするの形勢が有る、故に我黨は斯くの如き監視者を監視すると同時に買收を防止するために地方に青年監視隊を組織して徹底的に買收を防止

民政黨スローガン

し以て選擧界の淨化を圖ること なほ民政黨のスローガンとして新潟支部その他各方面の希望に基き

一、再興か破産か、濱口か犬養か

二、永遠の繁榮か、一時の空景氣か

三、公明の民政か、欺瞞の政友か

を追加決定し、續いて各支部より續々電請し來る公認要求につき愼重に銓衡の結果、第二回の發表をなすこととし午後五時四十分散會した

三重、鳥取、山形、佐賀、神奈川、東京、北海道、山梨、茨城、岐阜の各府縣である

嚴選主義の政友

あす第一回公認發表

【東京二十六日發電】政友會は嚴選主義を以て公認候補を銓衡してゐるが、地方支部に於ても續々候補者を決定して本部に公認を求めて來てゐるので、先づ第一回の公認候補を二十七日に發表し續いて隨時發表の豫定であるが、第一回に公認を發表せられるものは大體

政友立遲れか? 幹部は樂觀

公認候補は必らず當選せしむる方針

【東京二十六日發電】政友會は民政黨が既に六十餘名の公認候補を發表せるに未だ一名の公認候補の發表無く、また立候補屆出も民政黨に比し極めて少數でやゝ立遲れの感があるが、幹部側ではこれに對し何等氣に病む必要はなく準備は着々進行し必勝の疑ひなしとし公認發表の遲延せる理由につき左の如く辯明してゐる、即ち前回總選擧にて我黨は選擧費を濫用し且つ候補者の銓衡を粗略にしたゝめ却つて豫期の成績を擧げ得なかつたから今回は嚴選主義を取り公認した者は必ず當選せしむる方針を取れるため多少遲れるのはやむを得ない、而して公認候補は前代議士の現狀維持を根本方針としてゐるため選擧區の準備は大體整つてゐるから民政黨の新顏候補者の如くあはてゝ立候補を聲明したり公認を發表したりする必要はない

總選擧へ總選擧へ

華々しき出陣の準備

(上)早くも出來上つた濱口總理の立看板等々…準備整へる民政黨本部

(中)内務省が苦心考案した總選擧ポスター原圖

(下)いよいよ意氣昂を示す犬養政友總裁と三土前藏相の「ポスター」

賀川豐彦氏の 珍立看板

羅馬字や朝鮮語で 我國では嚆矢

【東京二十六日發電】御本尊が知らぬ間に擔ぎ上げられて東京第四區から立候補した賀川豐彦氏は、病氣とあつて運動一切は推薦者たる社會民衆黨員にまかせ切りであるが二十五日には早くも華々しく本所、深川に「賀川豐彦」のほか羅馬字や朝鮮語の立看板がずらりと並んだ、蓋し羅馬字と朝鮮語の立看板はこれが嚆矢である

日曜閑話

海軍會議の界隈 霧の底に倫敦は鈍重

冬のロンドンは霧のロンドンである。氣をつけぬと、街路樹に自動車を、いや人間の鼻先をさへ衝突さすほどの濃霧に覆はれる。メイフラワアの五月になるまでは、まことに鬱陶しい霧のロンドンである。街路樹の目八分といふ邊にホワイトを五寸幅ぐらゐに引廻してあるのは、この衝突を豫防するためである。白は霧を透して相當遠くからでも浮いて見える。

×

この霧の都をハイドパークからグリーンパークを通つてセントヂエームス公園に拔ける。右手にバツキンガム宮殿が霧の裡に浮いてゐる。宮殿前の廣場にはヴクトリア女皇の記念像があり、宮殿には左右二ツの門がある。鐵柵から拜すると宮殿内の廊下に赤い絨氈が奥まつて敷き詰められてゐる。大玄關の屋上には皇帝旗が濃霧の裡にでも立てられ、御在宮と拜されるのである。ウインゾル宮殿にでも行幸あそばされてゐる時は旗は降ろされてゐる。

×

それからセントヂエームスパークに入らんとする左側が、廿三日午前の十時から、今度の海軍會議を開きつゝあるセントヂエームス宮殿である。塔のやうな二ツの建物の間には大きな時計が掛つてゐる。その門を入り宮殿内アン女王の接見の間として用ゐられた莊麗な一室が今度の會議場に當てられたのである。

×

この宮殿から右に折れ公園に添ふて左し、ホースガードの門をくぐるとホワイトホールの大通りである。ホースガードは今日も十六七世紀時代を偲ばすナイトの姿そのままで、しかも馬上に跨り用もないところに警護してゐる。これジョンブルの最も守舊的なところを表現したもので、また大に誇つてゐるところである。

×

このホワイトホールは日本ならば日比谷の大通りといつたところ。ホースガードのところから右し、直ぐに右に曲るとダウニング街ナムバーテンといふ有名なる首相官邸がある。東京永田町といふところ。古ぼけた三階建の舊式な家だが、古きを尊ぶ英國人が誇り且つ無暗に有りがたがるところである。

×

ダウニング街を引返し、ホワイトホールを右に行くとウイストミンスターの大廣場に突き當る。左折するとウイスタミンスター橋、そのテームズ河に添ふてパーラメントかゴチツクスタイルで立つてゐる。手前が下院で、向手が上院。この二十一日にヂョルヂ五世陛下の臨幸を仰いで海軍會議の開會を擧げたローヤルギヤラリーはそこの上院内なのである。

×

ウイストミンスターの大辻から右手に見ゆるのがウイストミンスター寺院、この廣場にはヂーコンスフイルドその他の大政治家などの銅像が列んでゐる。

×

冬もまた一月の末、プリムローズを激公の銅像に手向くる由もない。霧のロンドン兒は至つて鈍重である。どこに海軍會議が開かれてゐるのか、ヤンキー共がいつた顔をしてゐる。そこがまた英國人の偉いといへば偉いところである。がとにかく、このホワイトホール界隈が世界平和の建設、各國民の自擔輕減に五國全權達が全力を披瀝しつゝあるのである。

打つて出た立候補者の分野

無産派の同志打ち いまのところ免れぬ形勢

【東京廿五日發電】廿五日午後一時までに屆け出られた全國立候補者數は三百廿一名に達し、そのうち政府與黨たる民政黨は百五十四名の多きに上つた、公認候補三百名を擧げる豫定の民政黨が既にその半數の立候補を見たるは如何に同黨から非公認候補續出するかを示すもので、景氣のよい反面に民政黨としては今後如何に**自派候補**を整理するため苦むかを豫知せしめるものである、一方政友會側にあつては在野黨の立場にあるだけ政府の壓迫干渉等の聲におびへて各方面の物持野心家等もなほ形勢觀望し躊躇して居るらしく、未だ七十六名の立候補を見たに過ぎず立遲れの感があるが、既に立候補を宣した中立七名中には例によつて政黨色を異にする政友系が相當あるから必ずしも悲觀の要はあるまい、武藤山治氏の國民同志會が既に十一名の立候補を見たるは**選擧費が**逸早く分配された事を物語るものである、無産各派は既に社民十二名、大衆十二名、勞農八名前民四名その他九名と四十五名の立候補を見たが、地盤の圓滿協定が出來て居ないから最も激しく同志打を行ひ理想的進出は目下の處困難と觀られてゐる

慘めな無産黨候補

親類縁者や知己から掻き集め 公認料のヒド工面

【東京二十六日發電】政友、民政の既成政黨が公認料一萬圓、二萬圓を立候補者に運動費として提供するのに慘めなのは無産黨立候補者である、親類縁者や知己から掻き集めて漸く三千圓、五千圓の費用を集め黨本部では公認料として逆に立候補者から幾分をせしめる黨もある、立候補者は何とか工面するとしても黨本部自身は文字通り一文無しに**總選擧戰**に臨むのだから應援辯士の派遣費その他選擧本部の活動費の遣り繰りは各無産黨とも最も苦心するところで、旅費が無ければあたら言論の雄も本部に腕を撫してゐる外はない、そこで案出したのが黨員からの寄附である、日本大衆黨では

一、府縣支部聯合會は立候補者の有無にかゝはらず公認料とし金二十圓を本部に納入のこと

二、立候補者は一名二十圓以上を本部活動費として納入のこと

を各支部に指令し**社民黨は**

一、選擧費用は原則とし選擧區支部の負擔とす

二、黨員より一名十錢以上を醵出のこと

三、立候補者は一名五十圓以上を本部活動費として醵出のこと

として選擧に臨むはずである

遂に露支正式會議 無期延期となる

責めは全く支那側にあり……と 勞農側では唱ふ

【モスクワ二十五日發電】東支鐵道問題に端を發する露支紛争問題を解決するためハバロフスク議定書に據り二十五日より當地に於て開催さるゝはずの露支正式會議は無期延期となつた、右に關しソウエート政府は能ふ限り速かに開會の運びに至らんことを切望しつゝあるものであると言明し、斯く遲延を見るに至つたのはその事情全く支那側の責めに歸すべきものであると唱へてゐる

直通電話 復舊す

【ハルビン特電二十六日發】浦鹽ハバロフスクその他沿海州とハルビン間の直通電話は復舊し、シマノフスキー氏はその皮切に哈府との通話をした、北滿にロシヤの勢力が回復したので沿海州との通信連絡は一層積極化し、赤化のスローガンは尖端を行くだらうと、支那側では取締に腐心してゐる、ソウエート政府は若し支那側がハバロフスタ議定書を變へさうとする態度なれば、モスクワの正式會議を遲延するも原狀回復により積極的の對策を講ずる考へで、メリニコフ總領事は支那側の出方如何を注意し、モスクワ會議地を變更せぬことに決してゐると

艦種轉換案に

アメリカ側は同意か

【ロンドン二十五日發電】英、佛間に妥協案成らんとしてゐる各艦種間の轉換を許す案に對し各國はまだ積極的に贊否を發表してゐないが、マクドナルド氏やスチムソン氏が週末休養を終へロンドンに歸つたのち、更に商議されるはずで、日本側としては別に異議を唱へてをらず、アメリカも二十四日イギリス外務省筋より發表された如きものならばこれを討議の基礎としてもよいとの意見であるらしい、なほフランス顧問マツシグリ氏は二十五日午後ギブソン全權を訪ひ右につき懇談した、また我海軍委員佐藤大佐も午後三時フランス專門委員と會見、右案につき詳細聽取した

佛伊兩全權 初會見

【ロンドン二十五日發電】佛全權タルヂユ氏とイタリー全權グランヂ氏は廿五日午後六時から一時間半にわたり初會議をなした兩國は最初から地勢問題を中心に睨み合をしてゐる如くなので、この會見は注目されたが、會見は大體論に止まり消極的意見交換のみであつた

議事項目中に

われ二項追加

【ロンドン二十五日發電】我全權は二十四日ハンキー事務總長より廻附された會議々題項目草案につき協議の結果、日本として

一、商船 時武裝に關する問題

一、代換期間および艦齡超過後の老艦處分問題

等を追加挿入して二十五日ハンキー氏の下に提出した

補助艦先議 米國側主張

【ロンドン二十五日發電】最も信ずべき筋より聞知するところによればアメリカ全權スチムソン氏は軍縮會議に上議さるべき各議題の討議順序につき、既に議長マクドナルド氏その他に對しアメリカ代表の意見として補助艦先議を提議するところあり、巡洋艦、驅逐艦並に潜水艦の三艦種に關する制限を他のあらゆる問題に先んじて考究すべきを主張したと

各國全權に議 目錄配布さる

【ロンドン二十四日發電】軍縮會議事務總長ハンキー氏の手許で草案中の議事目錄は二十四日午後各國全權に廻附された、右は各艦艇保有量、艦齡、艦齡その他一般問題を羅列したものであるが、戰鬪艦につき隻數制限の件を擧げたのは注目すべく、また日本の主張する代艦期間延長、商船の武裝制限は記載されてゐない、右草案につき二十七日午前一時から各國全權會議を開き決定するはずであるが、なほ幾多條項が各國より追加されるはず、なほ問題は評議の順序で相變らず懸案のまゝとなつてゐる、併し英、佛間に妥協案が出來かけてゐる艦限方式に關する討議を劈頭にするは適當なものと見られてゐる

人事

▲淺沼謙三氏(實業家) 廿六日出帆榊丸にて上海へ

▲新庄清一氏(大阪商船專務) 同上

▲里見弴氏(文士) 廿六日入港天潮丸にて來連

▲志賀直哉氏(同) 同上

天氣豫報

(二十七日) 西の風曇一時晴

各地の温度

	十一時	昨日最低
大連	零下二、二	零下五、三
旅順	同二、〇	同五、八
奉天	同五、五	同一六、〇
營口	同六、七	同一八、八
長春	同四、八	同一七、七

1930年のある一日（7）午後八時

夜の家庭は平和

羞含みやスケーターの夜間活躍 青年學徒たちは螢雪の道を辿る

光の街は今盛り

チンくく……「さあ龍子ちやんも輝夫さんも、もうお寢み、八時が鳴りましたよ」「ハイッ」湯上り後の五勺の晩酌にすつかり御機嫌の御父さんは夕刊の續物に一心である、夕飯の片附けをやつとすませた御母さんは其の傍で輝夫さんがスケートで作つた綻びに

愛のこもつた針を運んでゐる、それは靜かな平和な郊外住宅の或夜である。

◆ ◆

鏡ケ池、二百五十ワツト七個の電球に明るく照された鏡板の樣な氷の上を澤山の若者がスーツくと滑つて行く、三々伍々活潑な學生姿も交つて見える、晝の明さを恥かしがつて初心者は夜が多いとは肯づかれる話だ「さあ毎夜二百人位は滑りませうか」と番人の小父さんの話である。

◆ ◆

大連圖書館、受驗期が近づいたそして家で充分な温かさと靜かさと適當な參考書の求められない人々が熱心に咳拂一つするにも氣を配りながらノートにいそしみ、讀書に勵んでゐる、母の作者鶴見祐輔氏に言はすれば明るい日本、明るい青年はかうした所から生れて來ると言ふ事だらう。

◆ ◆

商店街、出盛り時の浪速町、包物を小わきに抱えた奥さんが貴金屬屋の飾り窓にチラツと眼をくれて足早に過ぎる、桃割姿の娘さんが映畫館の前の寫眞に見入つてゐる、お坊つちやんを中に挾んだ夫婦連れ、會社歸りの會食に元氣のついた仲間連れが通つて行く、斷髮洋裝の令孃が喫茶店のドアーを開けたと思ふ間もなく活潑に人ごみの中に消えて行く、支那人の臭ひがプツと鼻をつく、舊正月の近づいたためか支那人の姿が多いが殊に奧町近くの賑やかなこと「チヤンゲイ乘るか」客待の馬車と人力車が血眼である「ブーツ」自動車のヘツドライトに車ニーヤが驚いてそれる、足袋、靴、草履、赤い蹴出し、肉色のストツキングが舗道の上での交響樂。

◆ ◆

凍てついた氷の坂道の彼方から南無妙法蓮華經、ドドスコドンドンと景氣の好い寒修行の太鼓の音が響いてくる、暗い煉瓦の横道を白い布を頭から被つた善男善女の行列がカンくくと御念佛を唱へながら通つて行く

「古里を遙々こゝに、紀三井寺花のみやこも、近くなるらん」と唱へられて行く御詠歌が淡い郷愁の懷をもたらして來る、町の四ツ辻で救世軍の女士官が酒を飲むなと熱心にイエスキリストの道を說く。

◆ ◆

パチン！パチン！遠くの方で支那の小孩が打揚る爆竹の音が夜の空から響いてくる星はキラくと輝いてゐる。

◆ ◆

放送局……「〇時の時間を御知らせします」――チーン今晩の放送はこれで終りました皆樣お寢みなさい（寫眞は（上）放送局、（下）救世軍の集會）

バード大佐無事

捕鯨船救援に

【ワシントン二十五日發電】南氷洋のバード大佐は無事だとの報が達したが二十四日英國捕鯨船は南氷洋に急援に向ふ事を承諾したと

鸚鵡の輸入 米國が禁止

熱病傳染を怖れて

【ワシントン二十五日發電】南米から傳染して來た鸚鵡熱がアメリカに蔓延せんとして居るにつきフーヴアー大統領は二十四日鸚鵡の輸入及び各州間の輸送を禁止する命令に署名した、尙右熱病防疫の爲め防疫官一行飛行機二臺にて中米方面に向つた

空は快晴、銀盤上に 息づまる大接戰

五百米に木谷選手滿洲新記録

全滿氷上競技選手權大會

滿洲體育協會主催第七回全滿洲氷上競技選手權大會は廿六日午前九時五十分奉天醫科大學リンク（一周四百米突）で擧行されたが此の日快晴、結氷のコンデイションも亦絶好、觀衆も多くして最初より息づまる接戰を見せたが安東の石原選手の不參加は殘念であつたレースは男子五百米突競技より開始されたが先づ安東の木谷選手は五百米突に滿洲記録を破り、大連代表の池見選手は五千米突に、て二着五百米突に三着、大連彌生高女の元上孃は五百米突で二着となり奉天の河村は最後の四百米突で滑つて等外となつた

▲五百米（コース、ダブル、トラック、タイム、レース）一着木谷德雄（安東）四九秒四（滿洲新記録）、二着河村利夫（奉天）四九秒六、三着池見正信（大連）五〇秒二、四着大澤義一（奉天）五〇秒二、五着小池富二（奉天）五二秒

▲女子五百米（コース、ダブル、トラック、タイム、レース）一着井上浩子（奉天）一分二秒八、二着本山艶子（大連）一分四秒五、三着安永時子（遼陽）一分六秒四

▲五千米競爭 一着木谷德雄（安東）九分五五秒四、二着池見正信（大連）九分五六秒三、三着大澤義一（奉天）九分五六秒四

アイスホッケーの部（醫大リンク）

奉天醫大留守隊と育成學校のアイスホッケー戰は午前十時三十分、飯澤氏の審判にて開始されたが四對一にて醫大先づ勝ち閉戰十一時五十分

醫大 4―1 育成

（醫大）FW 間谷下 早増木 PB 堀田 久保 GK 東 百
（育成）FW 部倉尾田松 阿内西花植 PB 岩 GK 金

續いて奉天中學對安東チーム戰は午後零時三十分より齋藤氏の審判にて開始された、安東中學對工專のホッケー戰は午前十一時より滿鐵リンクに酒井氏審判にて開始されたが二對一の接戰にて安中の勝ちとなつた閉戰零時二十分經過及びメンバー左の如し

安中 二―一 工專
〇―〇
〇―〇

安中 FW 塚毛田田坂 吉鹿太山 PB GK 伊藤
工專 FW 川川井利江 瀬草藤毛中 PB GK 高野

續いて大連クラブ對撫順クラブのホッケー戰は午後一時より酒井氏審判にて開始されたが、第一ラウンドにて一對零第二ラウンドにて一對零と第二ラウンドまでは大連クラブが優勢を占めて居る（午後二時十五分）

東洋第一の明大の體育館

朝野の名士六千を招待し 來月九日華々しく開館式

【東京二十六日發電】スポーツ界の新進明治大學では昭和三年十月から大學敷地の西南隅に體育館を建築中であつたが、昨年十二月竣工し、來る二月九日朝野の名士、運動關係者六千餘名を招き華々しく開館披露式を行ふことになつてゐる、同體育館は總工費四十萬圓鐵筋七階總延坪千五百六十餘坪、體育館として獨立したものは我國最初のもので東洋一の體育館と云つても恥かしくない設備を有してゐる

◇…一階から三階までを五百名を收容し得る大講堂二室及五十名乃至二百名を入るゝ中、小講堂六室に當て、四階には籠球コート及移動式拳鬪道場、五階には一周七十六米突のランニングトラックを設け地下室には水泳部のために二十五メートルコースの室內プールを設け此のプールの用水は循環式裝置に依り完全に消毒殺菌され加熱機に依り常に一定の温度を保つやう設計された最新式のもの、又地下室には柔劍道々場及相撲の土俵もある

◇…各運動室にはそれぞれ浴室が附屬し地下室及中二階には扇形に各運動部のアパート式の選手室が設けられるなど煖房通風等至れり盡せりの體育館であり斯くの如き惠まれたる明大運動部の今後の飛躍が期待される

熱球飛び交ふ 女子卓球大會

けふ午前中の成績

滿洲卓球協會主催本社後援の大連女子卓球大會は廿六日午前九時より日本橋小學校講堂に於て擧行されたが同大會は女子卓球界の唯一の選手權大會のことなれば各女流選手は數十日間の猛練習の結果男子をも凌ぐすごさにて白熱化し黄い聲援團の聲は堂に滿ちこの寒さも何のそのと云ふ有樣觀衆をうならせた、午前中の勝者左の如くである

△一勝者 宅和、大野、津田、佐賀、矢野、新帶、綾部
△二勝者 津田、佐賀、宅和、印牧、新帶、大野（喜）宮地
〇敗者戰 日高、豐田、金子

不穩文書を配布し 鮮人學生の盟休を煽動

學生ヤチエーカの檢擧事件 廿五日豫審終決愈よ公判へ

【京城廿五日發電】昭和三年四月京城府堅志洞侍天敎黨內京城女子商業學校學生の同盟休校を皮切りに五月には開城の松都高等普通學校、六月には蓮池洞の儆新學校、蓬萊町の徽正高等普通學校學生が同盟休校し漸次各學校に波及せんとする形勢にあるので京城西大門署では裏面に存在する共產黨の搜索をなし九月三日に至つてこの盟休を煽動して居た學生ヤチエーカ會員を

檢擧し 九月二十二日治安維持法、治安法、出版法各違反で京城地方法院檢事局に送致した、更に之れに關聯した中等學生共產黨「黨の大檢擧をなし十二月五日治安維持法違反として同檢事局に送致されその後兩事件共五井豫審判事の手で審理をなし昭和五年一月廿五日豫審終結決定同法院の公判に附すこととなつた

被告

本籍全羅北道錦山郡北面外釜里現住所京城府益善洞九 高麗共產青年會員、朝鮮學生科學研究會常務執行員、普成專門學校法科一年生 李鉉相（二四）

本籍慶尙南道晉州郡大谷面雪梅里現住所京城府三淸洞一番地の三五 朝鮮學生科學研究會員 姜炳度（二三）

本籍全羅北道南原郡雲峰面三山里現住所右同 高麗共產黨青年會員 崔星煥（一九）

本籍全羅南道務安郡三鄕面柳橋里現住所京城府淸進洞一二三朝鮮之光社內 鍾路青年學館學生 吳在賢（二四）

本籍慶尙南道全海郡下界面鐵田里現住所京城府崇二洞二八 朝鮮青年同盟會員、朝鮮學生科學研究會員、徽文高等普通學校生 安三遠（二二）

學生の共產化 分擔を定め運動

各學校に讀書會を組織し 主義の宣傳に努む

【京城二十五日發電】吳在賢以下五名は高麗共產青年會の趣旨に共鳴して昭和三年四月頃加盟し、朝鮮共產黨の鮮指令にかゝる濟南日本出兵問題、京城府罷一青年同盟の創立、學生の盟休などの討議を重ね各學校の學生會を自治會とすること五名以內の讀書會を組織すること、主義宣傳の優秀なる者をヤチエーカ會員とすることなどヤチエーカの責任者吳在賢が出上またば崔星煥方に一同を集めて黨の指令に基いて協議をなしその受持を

崔星煥（儆新學校、貞信女學校京城女子商業學校）
李哲夏（中東學校、培材高普校）
吳在賢（中央基督青年學館、徽文高普校、苦學堂）
姜炳度（中央高普校、槿花女學校女子高普校）
李鉉相（普成專門學校、延禧專門學校、第一高普校）

と定め中央高普、培材高普、徽文高普、普成專門學校に讀書會を組織し更に全鮮的に組織の計畫を進め前記の如く同盟休校を煽動してゐたが六月十三日徽正高普校の盟休の際、彼等の存在を當局に探知されたので運動を中止したもので一方在東京朝鮮青年總同盟、在東京朝鮮留學生學友會の手で八種類の不穩檄文を印刷密送せしめ各受持學校の學生に配布して主義宣傳に努めてゐたものである

焚火中に突然爆發

學生十數名重輕傷

【靜岡廿五日發電】二十五日午前七時頃靜岡縣賀茂郡稻生澤村日本鑛業會社所有八木鑛山坑夫納屋より通學する生徒が一團となり附近の枯草を集めて焚火中突然一大音響と共に爆發し小川市助（一）外十數名重輕傷を負ふたが原因は枯枝の中に小量のダイナマイトが這入つて居たものらしいと

講談倶樂部

値下げで大發展の

新年號から五十錢になつた講談倶樂部、面白い上に安いので賣れることく、新年號二月號引續き重版大締刷の盛況とは驚くべし

ホテルのお客は 釣錢詐欺の犯人

市內各所を荒した二犯の曲者 寢込を襲はれ捕はる

數日前から市內信濃町遼東ホテルの一等室に納まり、大阪の大貿易商と稱してゐる不審の男があり大連署刑事が內偵すると最近頻々と市中を荒す釣錢詐欺犯人と判明二十五日寢込を襲ふて逮捕した、右は福岡縣生れ住所不定竊盜前科二犯青柳論（三）といひ、昨年十月旅順刑務所を出所して來連、市內信濃町八五番地堀川藤太郎方の店員に雇はれ中、昨年末集金百五十餘圓と商品千數百圓を横領逃走し、情婦に入れ揚、巧に警察の目を晦ませて、市內越後町濱名館に變名で投宿、去る十五日但馬町鈴木京染店へ御召羽織三十一圓を注文し百圓紙幣で支拂ふからと店員を同行濱名館に到り羽織と釣錢六十九圓を甘々と騙取逃走し、數日前遼東ホテルに投宿したものであるが同人はホテルを信用させる手段に市內各局から自分宛に電報や手紙を出し、盛んに商取引を行つてゐるかの如く裝ふてゐた、なほトランクに擬入らず多量を所持してをり、警察に捕へられた時は自殺する覺悟であつたと云つてゐる、共犯關係もあるらしく餘罪を取調中

氣に入つた北平

立候補の犬養健君の爲め一肌 里見、志賀兩氏語る

滿鐵鐵道部の招聘で舊臘來滿した文壇の雄里見弴、志賀直哉の兩氏は豫て北平天津視察中であつたが二十六日入港の天潮丸で歸連、輒を通じると兩氏は交々語る

すつかり北平が氣に入つてしまつて長逗留しましたよ、北平は好いところですね、十日間位扶桑館にとまつて色んな方面をグルくく見て來ました、知人はありませんが澤山紹介狀をもつて行つたのと案內して下さつた文化協會の林さんのお蔭で滿足しましたよ、何れ時事新報に發表するつもりですが議會解散で忙しい目を見なくてはなりますまい、この前には鶴見さんの立候補に引つぱられ、今度は文壇人犬養健氏の爲に一肌ぬがなくてはなるまいと思つてゐますよ、あちらでは支那側の人では宣統帝に會つて來ました

因みに廿七日出帆ばいかる丸で歸ると

長女貞枝儀豫て病氣療養中之處養生不相叶二十五日午後三時五十分遂に永眠致候條不取敢以紙上御通知申上候
追而葬儀は明廿七日午後二時西本願寺に於て執行可致候
昭和五年一月廿六日
大連市伊勢町百六番地
父 藤田半七
親戚一同
友人一同

艶色生膽祕譚(7)

伊藤松雄作　河原縁亀太郎畫

小佛峠(11)

電撃の一閃を眞向に浴びせかけられた右近、

「あッ」

二の腕に強いしびれを感じた。が、斜に崩れかゝつた構へを立直す暇もなく、燕返しの逆業、巧にきまれば、反つて左近の頬に血が筋をひく。

サツと身を退いて、再び背を立木にピタリとつけ呼吸を整へる左近、滴る血は首筋に、手首に、しつかと踏んだ大地のザラメ雪に……との頬はみる〳〵蒼ざめてゆく

「血だッ！血だッ！」

總身に異様な戰慄がツツウと走るっと、それも瞬間、冷たくとぎすまされた妖氣が、左近の心魂を遮二無二とそのかすのだつた。

「通り魔だッ！」

烈々たる心力、脈々たる闘志、正眼に構へたまゝヂリ〳〵と進んで、ピタリと双を合す。

「えいッ」

素疾く一歩踏込む。と、鍔ぜりあい——氣合討となつて、そのまゝグイ〳〵と右近を押してゆく。

邊りはトツプリと暮れて、星影までも剰さず包んだ雨雲が低い。ヒタ退りに後じさつてゆく右近の足が、

「あッ！」

ザラメ雪に滑つた。

「うぬッ！」

白双一閃！

「あッ！」

返り血がサツと左近の顔にとんだ。と、右近は、體をドツと泳がせたまゝ、叢を越へて眞暗な谷底へと、轉落していつた。

「ふうッ！」

左近はふかく息を吐いて、ぢいつと暗い谷間を覗きこんだ。

風はない、が、淙々たる響きはその底を流れる瀬の音でもあらう。ベツトリとした血の觸感に、左近は嘔氣を覺えて、ザラメ雪の上に腰を掘た。

せわしい呼吸が、漸く收また時である。

峠路を下つてくるらしい足音をきいた。

が、左近は起上る氣力に缺けてゐた。

「俺たちは双生見だつた。一つの胎内へ、同時に宿つた命なのだ、魂なのだ。それが爭ひあふ、その果は血を見た……右近は死んだかも知れぬ、いや確に落命したらう……右近！右近！許してくれ、俺は俺自身を殺したも同然な悪業を犯したのだ！」

左近はいざり乍ら、暗い谷間が覗きこめる叢の際へ寄つていつた

「左近！兄はな、この左近はな、明日から天日の光りを恐れなければならぬ身になつたのだ、が、これも自業自得だらうよ。血、血を見れば人間でなくなる我が慘忍性は、お前も知つてゐた筈だ、その獸心がいまこそよびさまされたのだ」

左近は、クド〳〵と、物狂ほしげに呟きつづける。

風は枯た小枝を鳴らし、ぶきみな夜の鳥が、何に驚いてか、羽ばたきをした。

この時峠路の並木越し、左近が一擧一動をば、見逃すまいと努めてゐる、異様の人影が二つあつた一人は怪しい僧形。一人は身輕な旅鳥。

左近はついいましがた、次第に追り來つた足音のことも忘れて、依然眞暗な谷間へと呟きつゞけてゐるのだつた。

夜の峠路に通り合さう旅人にあるまいと考へて……だが何ぞ知らん、二つの人影は、顔を見合せて低聲に囁き交し、またうなづきあひつゝ左近の様子をうかがつてゐるのである。

◇◇次男坊◇◇（全十卷）帝キネ映畫ユーモア小説の大家佐々木邦原作、曾根純三帝キネ入社第一回監督作品、主演杉狂見、助演小宮一晃ともに入社第一回の作品で、學生劇には獨特の腕を持つ二優が、全篇を通じて痛快極りない跳躍を演ずる（二十九日より演藝館に於て上映）

映畫と演藝　蝶々會好評

曾我廼家五蝶、津守房子を頭に、元帝キネ、スター津守玉枝の特別出演を加へて昨夜より開演したが何しろ大連には古い馴染を持つ蝶々會の事とて初日は滿員の盛況であつた

噂ばかりで淋しい　滿洲の演藝界

今年を賑はすものは何か

元帝キネのスターだつた津守玉枝が來連するといふので都さくらが籠者になつた時のやうに變態的な——キネマ女優出身といふだけで人氣を相當に煽つてゐるやうである。この座には姉の津守房子が古くから居て大連には隨分昔からのお馴染だそうである。

この蝶々會は全盛期頃は毎年來演したものだそうで當時この一座ほどよく入れた喜劇はなかつたと言はれてゐる。それで諸元もなかなか知やかましいと言つて興行師も手が出せなかつたものだそうで最後に來演したのは大正九年とか勿論私はその當時の事は知らない。

これが初春興行の喜樂會に次いで來演する芝居であるが、今年もどうやら去年同様に良い芝居は見られそうにない、まだ去年までは釜山と京城に劇場が再興すればといふ一縷の望みがあつたが、今年はそれも何の賴りにもならなくなつた、と言ふのは新春早々劇界を驚かした帝劇の松竹合併で東西を通じて松竹に縛られない役者が無くなつて終つたことである。

左團治が生れて始めて初日に壘の見える芝居をしたと大連の土産話を祇園のおさださんの家でしたのはもう一昔前の思出話になりかけてゐる。その後歡彌と宗十郎が來演したが共に帝劇の專屬俳優だつた。その帝劇がなくなつた今日、幸四郎招聘も何處かへケシ飛んだらうし、もう諦めるより仕方のない大連になつた。

それとも纏まつた何萬と言ふ金をひけて一ケ月なり松竹から買ひ切るだけの資力のある興行師も居ないし、滿鐵も社員の慰藉では手が出そうにない。

それだと言つて新劇運動が育つ滿洲でもなければそれだけの熱もない人があつても實行力が乏しい。所謂滿洲は芝居に縁がないものと諦めるより仕方がなさそうである。

野村芳亭の通俗味でひた押しの涙線だけを刺激する映畫「母」に殺到する大連人であればいゝのかと思ふと淋し過ぎる。藤原義江だけが興行價値があつて例へばジンバリストを招聘すれば滿鐵音樂會が缺損を先に見越すのである。

となつて今年の演藝界を賑はすものは何か？まだ判らないが、チラホラ噂に上るものは日本少女歌劇團がレヴユウ「東洋一周」を呼物に陽春の頃來滿するらしい。之は大連より沿線に人氣がある。それに羽田別莊の歌劇團が捲土重來の意氣込みでゐるらしいが、これは提灯を持つていゝレヴユウ團である。それに昨年から來たがつてゐるものに石井漠があるが、小浪と別れた今日、來滿實現は一層困難と見られてゐる。ドサ物はもう眞平御免蒙りたい。

女流浪界の人氣者　巴うの子近く來連

浪界に於て相當知られ又、ラヂオやレコードにてもなじみ深い巴うの子は數年來度々渡滿を傳へられて居たが、今日までその機を得なかつたが、目下滿洲巡演中の「酒井雲」や昨年來滿せし「大中軒雲月」等を派遣してゐる九州博多川丈浪曲宣傳部との間に種々折衝を重ねた結果、いよいよ來滿する事になり目下川丈の事務員來連して

映畫界東西

米國にも中々頑固な親爺がゐる、ジヨンキンシイマレイと云ふ老人は死去した時遺した遺言に二人の孫娘には紅をつけること寶石をつける事斷髪すること、短い着物を着ることを固く禁じたが特に映畫を見る時には遺産を分配せぬとあつたとは恐れ入つたものだ。

◇

嘗て連續映畫で鳴らしたベンウイルソンは今度は發聲の連續映畫「空の驚異」を撮る事になつたが他に六本のトーキーをアールシーエイ裝置で撮ると。

噂話

滿洲映畫界の立花高四郎を以て自から任ずる今井さんが、俄然今井さんでなくて關東廳警部消防署長今井民造氏となつたので▲大連市内各映畫常設館の從業員が集まつて其の昇進祝のセイダイなる宴を張るとの事▲大日活に噂されて居た解説者白藤愛光は來月一日頃來連「赤穂浪士」の解説をやるはず▲演藝館の事務所にはりつけられた、高花良介の「普く天下に宣す」と名づける御筆先を同館々主館員一同三拜九拜▲どう考へてもわけのわからぬのが「デパート娘大學」の入場料▲常盤座では時代劇をそへて金三十錢▲ヤマトホテルでは……勿論此處にはお金持がお出入なさるのでせうが……ダイマイ一圓五十錢

ラヂオ

大連（二十七日）自午前十一時相場（錢鈔、株式、各地相場）▲自午後零時三十分相場（錢鈔、各地相場）ニユース▲自午後三時三十分相場（株式、各地相場）ニユース▲自午後七時▲ニユース▲露語講座第二十七課大連語學校グロースマン▲映畫物語（母）解説松葉詩朗、伴奏帝國館管絃部▲尺八（本曲春風）本手道具點山、替手成田彰耀▲清元（神田祭）淨瑠璃松本一造三味線清元延園松▲支那唱（遺萃花）唱劉金闌、師付王振泉▲料理獻立▲天氣豫報

東京（二十七日）自午後六時二十五分▲講演（三番叟の起原と神樂催馬樂の研究）氏名電文不明▲常磐津（後の月酒宴の島臺）（角兵衞）淨瑠璃常磐津松柳、同文字理、同文字吉、三味線同文字理喜上調子同文字久▲ジヤズ（世界觀光船）チヤルスフイツシヤースオーケストラ、指揮フリツツワルプロン▲四長唄（秀鄕）唄杵屋勝左、同勝一和、三味線同勝蔦、同勝衞

第九回 滿日勝繼碁戰

賢問愚答 愚問賢答 的漫談 (三)

「永日漫錄」序編

井田澄三 筆記

「宿屋に草鞋を脱ぐか脱がぬに其處まで押しかけて來たヒーキ連が前景氣はダンゼン素晴らしいぞとか、連中も四五組は出來る筈になって居ますよとか、旦那の藝風は土地へピッタリと來て居ます、看客を呼べなくてどうしますとかと口に税がかゝらぬを幸ひに上顎と下顎のブツカリ放題の太平樂を並べたてると、人一倍カサツ氣と共に自惚氣の強い奴等のことぢや、大連中の見物を一人剩さずに呼び寄せて見せる位の氣持になって脂下って居るが、さていよ〳〵フタを開けて見るとコリヤどうぢやウワーッとびつくりする程の入場者ぢや」

「大入滿員札止めの盛況なんですね」

「馬鹿いわっしやい、劇場の中はカンコ鳥が鳴き相だ、虫眼鏡で捜して廻らにゃ見付からない程にアッチの隅に一かたまり、コッチの隅に一かたまり、數にして二ツタか三ゾクが關の山と來らあナ」

「どうしたってんです」

「そこへお節介が飛び込んで來て初日の澁いのはこの土地のならわしですから二日目からは始末におえない程ツッカケて來ますよと氣やすめを云って呉れる」

「それぢや二日目は本當に滿員ですか」

「生憎とその日が晴天だったので不相變入りが澁い」

「お天氣だから入りが澁いは理窟があはぬぢやありませんか」

「お天氣の日に屋内なんかにヂーッとして居らないのが大連人種の特徴ぢや、落付いて芝居なんか見に行くものか」

「ヤーレ〳〵」

「三日目も不入りぢや」

「矢張りお天氣がよかったんですかい」

「イーヤ雨降りぢや」

「ます〳〵理窟が合はぬ」

「だって考へて見ろ、大連に住むほどの人間で雨傘や雨下駄の準備のある家が幾軒あると思ふ、居はその性をうつすとか、だん〳〵支那式になって仕舞って、雨が降ったが最後、芝居と覺悟をきめて出て來ぬわい」

「オーヤ〳〵」

「その上にヤレ狂言の列べ方が氣に入らぬとか、木戸錢が高すぎるとか、役者の顏づけに不足があるとかと興行師の苦勞は勘定外にして勝手な熱を吹きたてる」

「………」

「その上出來る筈だった團體連中も煎じつめると懸け聲ばかりで實のないものに終って仕舞って、とゞのつまりが今日は晴天ぢや明日は雨降りぢやがケチの付き始めで千秋樂の日まで香しい話をきゝたくも聞かれない有樣ぢや」

「そうすると、要するにこの興行は大成功と云ふ譯には行かなかったのですか」

「大成功どころか、中成功も覺束ないのぢや」

「然し、あれほどまでに新聞社あたりへ運動をして宣傳も相當以上に行き亘って居る筈だから晴天で來ない客があっても、雨降りに恐氣付いて來て呉れない客があっても相當の成績が擧がるべきであるのになア」

「そこがそれ閻魔ぢや」

「どうして!」

「そも〳〵大連の人口はどれ位あると思ふ」

「まるで中學校の入學試驗って態です……ザッと廿萬もありませうかなア」

「そんなに澤山の日本人が居ったのか、そりや知らなかった……」

「皮肉を云って居ますぜ、日支合算での話でさア。日人七萬に支人十三萬って處が大體の見當でせうて、尤も詳細な點はツイこの先の交番でおたづねになったら……」

「馬鹿ッ、その十三萬の支人の幾割が日本の芝居を見に來て呉れるかな」

「冗談でせう……一人だって來るもんですか」

「すると頼りになるのは七萬の日人に限ることになるが……」

「ですけどこの七萬の中には昨日オギヤーと飛び出したベビーから今夜にも極樂行特急に座席を申込まうと云った御隱居さまゝでをひつくるめての話ですア」

「まあそれもよしとして、その七萬の幾割が芝居見物に來て下さるのぢや」

「一寸確答は出來兼ねますがザッと二割もありませうか」

「よめたッ、そんな考へだからこそ「なぜよい役者よい芝居が來ないんですか」などと喰ってかゝり度くなるんだ」

「チヤアどれ程に見當を立てればいゝんです」

「芝居とのみ限らず映畫の好きな人音曲の好きな人デロレン派等等一切を綜合して、先づ〳〵一割と見るべきぢやらうて。これとても餘程ヒーキ目に見積っての話ぢやが」

「するとその七千の中の幾分が芝居に來て呉れるんです」

「半分の三千と見てよからう」

「ホントですか」

「ホントとも!しかもこの三千の御見物がそれ〴〵に御註文があらうと云ったものだ。歌舞伎をもって來れば時代錯誤だ、そんな芝居が見られるかとモボ達にこき下さる新劇を伴れて來れば、アラヤーダ舞臺で演說してゐるわよ、なぜ舊劇をもって來ないんでせうと怨聲をきかされる、笑劇や喜劇では面子上觀に行かれぬとお叱りを受ける。かほどまで千萬の御註文に對してピッタリと來る芝居は絕無と云っても然るべきぢやらう。それを承知で開演ると觀に來て呉れないばかりぢやない、アンナ芝居を見に行く奴は馬鹿の骨頂ぢやと逆宣傳を始めるに至っては沙汰の限りぢや。大連ほど興行のやり惡い所は世界中の何處を捜しても外に類はあるまいと云っても過言ぢやない」

「ナール程」

「大連の人口廿萬全部が日本人であって呉れて始めて呼吸がつけ相になると思はれるが、そうでない限りはどんな芝居をもって來たって儲かりつこなしぢや」

「………」

「どうせ儲からぬと相場が極って仕舞ったら、仕込の金のウンと張る連中に手を出すほどの茶氣のある人間はセチ辛い當節に金の草鞋で捜したってあるものか、從って仕入れの安値の方へ走るは理の當然ぢや、しかも「安からう惡からう」は昔からの通り相場ぢやほどに、貴公のよい役者よい芝居が來やう筈がないぢやないか」

「ダッテ滿洲は大連に限った譯でもありません、まだ奉天もあれば長春、撫順、安東と夫々に有力なる町が存して居るぢやありませんか、これ等の土地でも相當の成績は擧がる筈ですがなア」

「ヒヤッ驚いたッ」

「なぜです?」

「あんまり物を知らぬにもほどがあるぞ」

「お前さんこそなんにも御存じないのです、大連人種こそ分に過ぎた贅を並べて居ますけど、沿線の御連中は娛樂機關の不備のためにどれほど不自由をして居られるか判りません、從ってこんなチヤンスを見逃しっこはありませんや必ずや雲霞の如くに押しかけて行くに相違ありません……」

「マア〳〵一寸待って呉れ、貴公は一體在滿邦人の總數を御存じなのか」

「それ位のことは知って居ますよ概略廿萬ぢやありませんか」

「そこぢや!その廿萬ほどの人間があのダヾッ廣い南滿一帶に散らばって居る有樣は大海へメダカを泳がせたにさも似たりぢや。一口に廿萬と云へば相當の數のやうに聞えるが東京市の一つの區の人口にも足らぬ程の人數が日本全土の幾層倍もある南滿一帶に散って居るってことは、大衆を相手にする仕事は企圖してはならないと云ふことを默示して居る次第ぢやと思ふがな」

「すると、これまで一回も成功したことがないんですか」

「特別の保護があれば兎に角、それ以外には絕對に成功の前例がないのぢや。それ處ぢやない、折角大連あたりで鼻糞ほどに儲けたものまで悉く吐き出してスッカラカンになるのが落ちぢや。然しスッカラカンになっても鴨綠江を渡れる組はまだ上々の組ぢや、中には渡り度くも渡り得ないで袖萩もどきにこの河一重が……などゝ長恨これを久しうするものもあるのぢや。こんな連中が生命から〴〵に逃げ歸って、滿洲って處は實にひでい處ですよと尾に鰭をつけて金棒をひっぱり廻すからたまらぬ、その次に來やうと思って居った連中の出足を鈍らせて仕舞ふ、それを無理にも引張れば仕込みが益々高値になる……これを要するにぢや、從來のやうなやり方では百年千年待ったとてよい役者、よい芝居は來っこなしぢや。」

「ぢやアどうすればいゝんです」

「それは乃公の方寸に在る、なんなら序に申述べ……オイ〳〵默って歸って行く奴があるか……何ッいづれ春永にだと、勝手にさらせ」

新版『千夜一夜』

豪花半記

「怪窟、舞踊場經營の事」

まづ、眼を驚かすのは壁の色です。私は今までこの壁の色の持つほどの深みを味はった事はありません。譬へて言へば、幾千尺もの深い海の底に張られた水のとばりの樣な、どこ迄も果て知れぬ奥深さです。これは色々となづけるには餘りに吾々の常識のそとのものなのです。壁は何かほんのりとした明るさ、若しもこの世の中に、「明るさ」と言ふ色があれば、全くその「明るさ」色の壁の前に、水晶の卓子がありまして、不思議な怪窟が、これは餘りに現實的なビールを干しております。一九三〇年型の美男子と言ふものは、多少アブノーマルなものなのです。この美男の怪窟と言ふのは、實は一九二八年に態々ヨーロッパで仕込んだテリアと、ブルドックとの雜種で、これを人間として見る爲には、多少の勇氣を要しますが、私は前回申しました樣に「千夜一夜」惡魔の爲に不思議な光景を見せられる事になってゐますので、大して妙には感じません。が、この怪窟に世にも稀な一人の美女が生命を迄、捧げてゐるのだと言ふ事を聞きますと、私は實は多少怪奇な感を抱くのであります。

その美女とは誰でありませう。この「明るさ」色の壁を持つ場所は何處で御座いませう。

………と、こゝ迄話しますと、それは宛かもほんとうの事の樣ですが、これは、その怪窟が常に見てゐる夢だったのです。

現實の世には、あまりにも空だのめのみ多く、怪窟が藝術家であればある程、次第に美女たちの意識のそこに押し出されて居ります。若しも彼が自分の才をたのんで、體實を先ってゐる事に氣がついてゐないとすれば、その才能も次第に失はれて參ります。

されば、この春こそは先づ、おそまきながら、何か素晴らしい仕事をして見ようと思ひ立ちました。何か素晴らしい仕事はないかな、美しい女を集める事が出來るなら金の事はどうでも好いが。と思ひました。仲々持って、そんなにあっさりとしてる筈はありません。出來れば金を儲ける事にしよう。と言って始めたのは、このダンス、ホールです。

一九三〇年型、テリアとブルドックとの混血兒、アブノーマルな美男子と、ダンスホールは、何と素晴らしいコンビネーションではありませんか。

「もう、これから、活動や暗にと手をつけて損をしなくても濟む言ふものだ」つく〴〵とさう述懐します。

ワン、ステップに、フォックストロットに、そしてワルツに、ジヤズを指揮した怪窟のタクトは昔日の樣な華やかなりし日の如く、躍るが如く狂するが如く………先づこの狀態は、私が想像する所では、ダンス、ホールの上りの金の多さに基因するものゝ如くです。

願はくは、この怪窟の上に永遠の幸福が臨します樣に。あゝ、神は公平です。(この項終り)

ラヂオ露語講座

大連放送局一月二十七日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

ДВАДЦАТЬ СЕЛЬМОЙ УРОК.

НАЕМ КОМНАТЫ И КВАРИРЫ.

Об'явление.

Сдается комната.
Сдается квартира.
Сдается комната с полным пансионом.
сдается комната со всеми удобствами.

А.—Скажите пожалуйста, есть ли у Вас свободныя комнаты.
Б.—Да, имеются.
А.—Вы их сдаете.
Б.—Да, стаем.
А.—Мне необходимо две больших светлых комнаты.
Б.—Пожалуйте сюда. Вот эти две комнаты я могу сдать.
А.—Вы сдаете с мебелью.
Б.—Если вам нужно, пожалуйста.
А.—Сколько будут стоить эти две меблированных комнаты.
Б.—Эти две комнаты будут стоить сто двадцать (120) иен в месяц.

Продолжение следует.

第二十七課

部屋及家屋賃貸廣告

部屋ヲ賃貸シスル。
家ヲ賃貸シスル。
三食付部屋ヲ賃貸シスル。
スベテニ便利ナ部屋ヲ賃貸シスル。

A.—何ウゾ言ッテ下サイ, 貴方ノ處ニ空イタ部屋ガ有リマスカ?
Б.—ハイ, 御座イマス。
A.—貴方ハソレヲ賃貸シナサイマスカ?
Б.—ハイ, 賃貸シ致シマス。
A.—私ハ大キイ明ルイ部屋ヲ二ツ(借ラ)ネバナリマセン。
Б.—何ウゾコチラヘ。ソレ此ノ二ツノ部屋ヲ私ハ貸スコトガ出來マス。
A.—貴方ハ家具ト共ニオ貸シニナリマスカ?
Б.—若シモ貴方ガ御入用デシタラ何ウゾ。
A.—コノ二間ノ家具付部屋ハイカ程デスカ?
Б.—此ノ二間ノ部屋ハ一箇月百二十圓デス。

(次ニ續ク)

思ひ出る馬 (三)

黑頭巾記

馬政局
主馬寮
馬券
單騎
馬方
馬一匹、槍一筋
旗下八萬騎
推敲、賈島故事
馬上、枕上、厠上
後藤貞行　馬刻彫の名家
巖谷小波　午の年生、馬玩具の蒐集者
駑馬
石馬
石馬嘶嶂杯上荒兩朝天子御魂
三里塚
香　星巖
小岩井牧場
牛馬王　南澤安任
玉置熊之進　大尉、私立乘馬學校創始者
陸軍騎兵實施學校
木戸の馬　玩具
白駒過隙
ひま行く駒の足はやみ　太平記
馬は斃れるすてゝもおけず　軍歌
吾劍既折吾馬斃秋風埋骨故鄉山　劍舞詩
牝馬
白馬　酒
軍馬
路草
河馬
海馬
馬珍　藥湊方
聖德太子の馬
畠山重忠　馬を負ふて鵯越を下る
一筆啓上火の用心おさん泣かすな馬肥やせ　本多作左
米を以て馬を洗ふ　千早籠城
馬を屠て食ふ　蔚山籠城
これはしたり世はさかさまになりにけり乘った人より馬がまる顏　成島柳北
馬の顏鼻はなけれど顏が鼻　劍花坊
乘馬似乘船　杜子美
伯樂
冀北の野を過ぎて馬群空し
博勞
駒引
馬子はのつて見よ人には添うて見よ
荒馬
悍馬
肥馬大刀尙未酬皇恩空浴幾春秋
巨勢金岡の畫ける馬
[illegible]の馬
[illegible]　熊谷直實馬の別
橘中佐の馬
繪馬堂
馬琴　曲亭
三馬　式亭
馬鶴　話家
胡馬大宛名、鋒稜瘦骨成、竹批双耳峻、風入四蹄輕、所向無空濶、眞堪托死生、驍騰有如此、萬里可橫行　杜甫
母馬が番してのます淸水かな　一茶
雀の子そこのけ〳〵お馬がとほる　一茶
一の谷　鹿も四足、馬も四足、
唱歌
明知左馬介　湖水渡り
早馬
人喰馬
馬角　燕丹
戻り馬
駒を留めて顧みる故鄉を雲や障つらん　太平記東下り
馬に鞍おけ、鞍馬山　謠曲
馬威し　[illegible]
馬市
うまんまら　鹿兒島の菓子
馬穴
芝居の馬
馬鹿　馬芝居
木馬
水馬
人觸斬人、馬觸斬馬　兵兒謠
還却珊瑚鞭、白馬驕不行、章臺折楊柳、春風路傍情　唐詩
路ばたの木槿は馬に喰はれけり
馬にねて殘夢月遠し茶の烟　同
鳥羽殿に五六騎いそぐ野分かな　蕪村
蕪村獨の馬に歸心南す杜鵑　碧梧桐
鉢の木　佐野の馬
あらびあ馬
馬上得天下、安んぞ馬上に天下を治む可けんや
七騎落
落武者の一粒えりは七騎落　川柳
馬喰町
駒込
淺草の馬道
獨鈷鎌鑾をおろした戻り馬　川柳
から傘をみんなおろすと馬になり　川柳
相馬燒
有馬湯
相馬大作
馬蹄塔、蒙古
對馬
天馬
馬車
馬賊
馬具
馬盜人
調馬師
厩燒けたり孔子人を問うて馬に及ばず
雲橫秦嶺家安在雪擁藍關馬不前　韓退子
舞馬の災
瘦馬鞭々嘶不行、天龍江上立秋晴　柳北
自注曰、瘦馬則瘦車夫也
吉原の馬
あと足で砂
馬盥
傳馬
驛馬
傳馬町　傳馬街
北馬南船
落馬
下馬
下馬將軍　酒井忠淸
下馬緩急と仰せらる　戲曲妹背山
駿馬

映畫雜觀 (上)

大内隆雄

暴露映畫

先日山村水太郎氏が次のやうな意味のことを話した。

「今年は映畫に於ける資本主義社會の暴露といふ事が中心的な問題になるでせう」

そしていま我々大連市民の前には「都會交響樂」(改版)が提供されてゐる。それは檢閲のために單に資本主義社會の暴露に止めさせられた映畫だと言はれてゐる。原版が現代社會の意識的な描寫に或る程度まで成功してゐたといふことは批評家がこれを言ってゐる原作の連作小說にくらべれば、ずっと進歩したものであった——とも。

だが、我々の前にある改版は、バクロに止まってゐるといふ。そしてそのバクロが今年の中心問題になるだらうといふ。私はそのことについてうなづく。それは第一に今日の社會に於ける藝術の自由の限界を顧慮してであり、第二には今日の社會が持ってゐる藝術の性格を考へてみてそう言ふのだ。能樂、歌舞伎、新劇——簡單にそれだけの變遷を考へてみてもいゝ。活動(文字通りに動きさへすればよかった)から、ニュース報道機關へ、または滑稽なるもの、悲しきものゝ種子として、そしていまバクロ映畫!ひとは、そこに瞬間の笑ひを求めて行くのではない。また悲しみの涙を求めて行くのでもない。——力を與へられに行く。——それ知識を與へられに行く。——それが今日に於いて映畫のもち得る社會的役割ではないだらうか。——かゝるものとして、私は今日のいはゆるバクロ映畫を取り上げる。

かゝる映畫に對するものは、現代讃美の映畫である。人々の意識を、信仰を現代につなぐための映畫である。あのアメリカ映畫が、何のために作られるか、そしてまた何をつくり出してゐるかを考へるがいゝ。日本の今までの多くのチヤンバラ物が、何を日本人に與へて來たかを考へるがいゝ。今日の社會を支へる支柱の大きなものは、新聞雜誌や、そしてまた映畫であるのだ。——バクロ映畫はまさにそれらと對立する。それは現代社會に於ける自己批判としての出發のひとつである。

シネ・ポエム

北川多彥氏は詩人である。彼はシネ・ポエムなるものを發明した。そはシナリオと詩との結婚である。

北川多彥氏のシネ・ポエム「秋」をよんだ。

蠢い人間は、これは妙にむづかしい言葉の並列だと思ふだらう。私はそこに、彼の「社會批判」をよんだのだ。そして、そこに彼の藝術の力强さを認めたのだ。

「秋」は、帝國主義の侵略がつくり出した滿洲の變化のシナリオ的描寫だ。

撫順炭礦と、鴨綠江との荒た自然が詩人に憤りを感じさせたらしい。ちつぽけな文化住宅の灯りが詩人の嘲笑を呼んだらしい。

前衛映畫

「前衛」——といふ言葉は、私達には特定の意味で響いて來る。だが「前衛映畫」の前衛は、單に尖端を行くといふ意味であるらしい。それは、傳へられるところに依れば(まだ見ないから)藝術的な、あまりに藝術的な映畫であるらしい。今日の、資本家的な企業組織の下につくり出される映畫に反抗して、そうした、藝術的な映畫がつくられやうとすることは私にもわかる。そして、私らもまたそうした映畫に大いに心惹かれるであらう。しかし、それは、思ふに、その藝術的な、雲のうへにたくみにつくり上げられた美しさの故にであらう。私らのなかにそうしたものを求める氣持がある以上、私らがそれに惹かれることは當然である。だが、私らは考ふべきである——美といふものも、時とゝもに、移り變り行くものであることを、長い歷史の流れの上に見るとき、私らは、永遠の正義とか、永遠の眞理とかゞ考へられないやうに、永遠に變りなき美などといふものも考へられないのだ。——やがて日本にも、そうした前衛映畫らしいものがつくられるであらう。——それが、サロン藝術的なるものとして、小ブルジョアの、有閑階級の、玩弄物に終らないならば幸ひである。

滿洲日報
改造
2月号
50sen
小説 砂糖の話 中野重治
小説 キャベツの倫理 十一谷義三郎
小説 鳥 横光利一
小説 慶子と祖父の死 網野菊
戯曲 ランプ 長谷川伸
文藝雜感 廣津和郎
赤い廣場を横ぎる 田口運藏
日本無産黨出直しの説（巻頭言）
共産村落 小野武夫
無産婦人と戀愛 平林たい子
科學的犯罪の鑑定 浅田一
現代日本文章論
カフェ・酒場・銀座 喜多壯一郎
如何にガンヂーは印度の獨立を叫ぶか スーボース
ホテル ホテル 北村兼子
總選擧展望 馬場恒吾
第二貧乏物語 河上肇
新川柳に現れた社會の顔 井上剣花坊
自動車の話 高橋正雄
政界の分野
法學者の書齋から 末弘嚴太郎
無産政黨と選擧協定 山川均
倫敦海軍會議と我政府 安富正造
音樂藝術の階級性 兼常清佐
大衆文學は何處へ行く 木村毅
ふらんすまでざれごと 辻潤
沒落資本主義の第三期 猪俣津南雄
總選擧を如何に戰ふか
銀の價値崩落と其の原因
大連商業銀行
印刷
眞鍮看板 ネームプレート 製 沖本ブリキ店
大増刷出来！
キング二月號
見よ！左の評判小説
心の日月 菊池寛
宙に浮く首 大下宇陀兒
燃ゆる花 菊池幽芳
血ろくろ傳奇 土師清二
春遠からず 加藤武雄
怪盜夜叉王 前田曙山
面白いこと無類！ ガラマサどん 佐々木邦
霧の中の曙 野村愛正
風雲天満双紙 佐々木味津三
三家三勇士 大島伯鶴
キング二月號には
定價五十錢
面白い 子供の科學 の為にある
少年技師 ハンドブック
躍進又躍進の二月號！
三千圓大懸賞附新年號
大附録自動自轉車組立圖
電車と電氣機關車の作り方
電氣機械の作り方
やさしいラヂオの作り方
器械と模型
電氣の作り方
發電機設計作取扱法
ラジオの製作と原理
GREENE TWEED & CO.
パルメツトパツキン
For Rods & For Valves
新入荷品
鳥羽洋行
常に新柄と新型
ユルヤカニシツクリト
大連 丁子屋洋服店
最新刊
滿書堂書籍部
大阪屋號書店
日下歯科醫院

社說

教育は常に目的なり　手段方便であってはならぬ

[illegible]……な問題が發生する。すなはち國家は絶對の組織であり、その構成する國民も絶對で、その國民教育もまた絶對的であらねばならぬ。他の如何なる目的からも手段方便として犠牲にされてはならぬ。國民教育、それ自體が直に目的でなくてはならぬと同時にまた個人も、絶對者であり目的であり、他の手段とさるべきものではないのである。そこに絶對者と絶對者との衝突がある。その絶對的の衝突を調和するところに教育哲學の存在が認められる。

◇

然るに物質文明の急速なる進歩は、いはゆる資本主義の經濟社會を出現し、一般民衆の生活難、引いては失業、就職難を將來するに至つた。こゝにおいて職業教育といふことが、すこぶる重大なる意義を有するに至つたのである。そして、人格（他の方便とならずそれ自體において絶對目的たる）の人格などいふとは眼中になくひたすら人間を機械し、職業の手段たらしめんとするの傾向を生ずるに至つた。背に腹は替へられぬ、俄かに崇高なる人格者といへどもパンなくしては生存することが出來ず、何物を擱いても職業的に走るといふのが無理からぬことに相違ない。併しながら、鹿を逐ふて山を見ざるが如きは危險千萬ではあるまいか。すべて國民教育と個人教育との調和といふやうなことは、ただ徒らに職業のためにする浅ましい人間社會となりはせぬか。

◇

人間は生產機械ではないが、人間は生まれながらにして、それ自體が目的でなければならぬ。絶對者であることは法的にも擬制されてゐる。たとひ子供であつても、この教育に方つては、上級學校の方便に使用されてはならぬのである。教育は常に、現在を以て絶對の目的とせねばならぬ。よしそれが職業學校であるにしても、人格を創造する點よりすれば、パンを與ふる前にまづ人格を與へるものでなくてはならぬ。そこに教育と職業との本末顛倒があつてはならぬのである。われ／＼は如何なる場合においても人間でなくてはならぬのである。國家の構成分子たる國民でなくてはならぬのである。官吏たり、會社員たり、または銀行員たる以前に、とにかく人間であらねばならぬ。他の何物の方便ともならぬところ絶對の人格者であることを要する。

◇

最近、經濟組織の變調より、ある場合には資本を投下するが如き打算的意思を以て職業教育を求めんとするの傾向を生じた。これ時代の要求にして、全く已むを得ざるところたるに相違ない。而してまた入學難、試驗地獄といふが如き現象を生ずるに至つた。教育の旺盛とも眺められるが、またその内容を檢討するとき、必ずしも盛事にあらざることを思はしめられる。かくて人間創造といふ神聖なるべき教育の領域が、何となく冒瀆せらるるやうな[illegible]ものである。不祥なる一例ではあるが、譬へば或る中學生が、上級學校の入學試驗の準備に勉強中、不幸にして死亡したとせんか、若しその中學生の教育が、ただ／＼準備教育にのみ沒頭し、人格創造の貴重なる陶冶を粗略にして居つたとせんか、つひに立派な人間に教育されずして暗より暗へと辿ることになるのである。かくの如き不合理は、決して有り得べきことではない。實際問題と理論との調和は至難ならんも、とにかく人格創造、國民陶冶の國民教育なるものは、如何なる等級の學校なりといへども、それが常に最高の目的として人格の完成を期すべきものではあるまいか。

總選擧の豫想は民政黨に頗る有利

與黨幹部、公認發表を急ぐと共に候補者の整理に努力

【東京二十六日發電】與黨民政黨の候補者濫立に早くも選擧地盤續々制限に陷るのではないかとの說を生じ、折角民政黨に集まる投票も四散してしまう結果を生じ安達内相の理想たる八十パーセント當選も怪しくなりはしないかと傳へられてゐる、この

心配は 安達内相を初め選擧委員の胸にも一ぱいとなつて居り、民政黨が公認候補を急ぎ發表したのも全く非公認候補者の群生を防止せんとするにある、しかして非公認候補の濫立により公認候補の當選に障害を與へんとする形勢あるは黨として最後の手段に出づるの外なしとし、これ等に對しては遠慮なく除名處分をなし公認候補の當選を確保すべしといつてゐる、黨選擧委員では斯くの如き非公認候補の群生濫立を心配してゐるが、併し一面これを總選擧界の人氣から見れば非公認候補者の群生濫立は即ち民政黨の

選擧界 に於ける好人氣を表徴するものであり、選擧界に民政黨の評判が良いため斯く多數の候補者が現はれるわけである、とにかく候補者の群生濫立は選擧委員を惱ますこと甚だしいが、これを大勢より見る時は總選擧にはキツとその黨の成績が良いことを示してゐる、選擧は多數人氣に支配されるものであるから候補者の出盛るやうな政黨の勝つた例はないといはれてゐる、これ等の經驗より見ても今度の總選擧に民政黨の候補者の群生濫立することは選擧地盤より見れば苦痛多いわけであるが、結局この民政黨候補者を群生濫立せしむる選擧界の

空氣は 今度の總選擧において民政黨に勝利を得せしめるものであらうと觀測されてゐる、從つて黨幹部にてはこの情勢に臨み先づ續いて公認發表を急ぐと共に候補者の整理に努め萬全の策を講ずることゝなつた

選擧取締の徹底を求む

安達内相よりの訓示

【東京二十五日發電】地方長官會議は二十五日午後二時二十分より内務省に開會、安達内相より戸別訪問、買收等の如き現行法の嚴禁するにかゝはらず今なほ隱密の間に行はれ之に依り選擧民の自由意思を妨げ選擧の公正を紊るもの尠しとせず、從つて今回の選擧に際しては警戒を嚴にし違反行爲を未然に防ぎ違反者は徹底的に檢察せんことを期す、殊に選擧犯罪中買收の元兇及選擧ブローカーの取締については特に格段の用意を以て檢察し積年の弊を絶根するに努められ度いと述べ、其他首相の訓示を敷衍したる後、指示事項として

一、選擧取締法の徹底
二、其勵行
三、言論文章の取締
四、選擧運動費制限規定の勵行
五、流言浮說取締

其他につき大塚、次田兩局長より說明ありて散會した

午後の會議

【東京二十五日發電】内務省に於ける地方長官會議は午後一時半より開會、安達内相より選擧取締其他に關する詳細な訓示ありて後指示事項の協議に入り午後四時頃散會した

選擧取締りの警察部長會議

きのふ内務省で開かる

【東京廿六日發電】選擧取締に關する道府縣警察部長會議は廿七日午前九時より内務省に開催された、安達内相、小山檢事總長以下各關係官並に道府縣警察部全部出席、安達内相及小山檢事總長の訓示あつてのち指示事項、協議事項の協議に入り、午後四時漸く散會

指示事項

一、選擧取締法規の周知徹底に關する件
二、選擧取締法規勵行に關する件
三、言論文章の取締りに關する件
四、選擧運動費制限規定勵行に關する件
五、選擧運動者にあらざるものゝ運動行爲取締に關する件
六、流言浮說の取締りに關する件
七、司法官憲との連絡協調に關する件
八、選擧取締り官憲の言動に關する件

協議事項

一、選擧運動者に對する準備、實力及報酬額協定の件

總選擧立候補者

二十五日判明の分

選擧區	候補者
長野縣第二區	鷲澤與四二（民新）
長野縣第二區	山邊常重（民前）
茨城縣第二區	山崎猛（政前）
茨城縣第三區	原脩次郎（民前）
埼玉縣第三區	野中徹也（民前）
千葉縣第三區	竹澤太一（政元）
栃木縣第一區	高橋元四郎（民前）
北海道第一區	中西六三郎（中前）
北海道第四區	菅舜英（社民新）
北海道第五區	野坂良吉（民新）
北海道第二區	坂東幸太郎（民前）
埼玉縣第一區	松永東（民新）
埼玉縣第二區	鏑木忠正（民新）
神奈川縣第一區	神道寛次（勞農新）
北海道第二區	林路一（政前）
北海道第三區	渡邊泰邦（民新）
神奈川縣第二區	小野重行（民前）
茨城縣第一區	長塚忠策（民新）
宮城縣第二區	大石倫治（政新）
靜岡縣第一區	平野光雄（民元）
三重縣第二區	角源泉（民新）
千葉縣第三區	安田正男（民新）
新潟縣第三區	細野三千雄（大衆新）
千葉縣第一區	本多貞次郎（政前）
三重縣第一區	木村秀興（民前）
三重縣第二區	尾崎行雄（中前）
宮崎縣第一區	長谷川陸郎（民新）
北海道第四區	牛代木隆吉（民元）
	神部爲藏（民前）
愛知縣第五區	鈴木正吾（中新）
茨城縣第三區	鈴木錠藏（政元）
大阪府第四區	小岩井淨（勞農新）
同	森脇源三郎（民政新）
同　第五區	喜多幸治（政新）
兵庫縣第三區	小林絹治（中新）
同　第四區	土井權大（政前）
同	原惣兵衞（政前）
同	鹿島守之助（民新）
鳥取縣	矢野晉也（政前）
德島縣第二區	眞鍋勝（中前）
和歌山縣第一區	松山常次郎（政元）
同　第二區	小山谷藏（民前）
京都府第一區	水谷長三郎（地方無產前）
同　第三區	村上國吉（民前）
奈良縣	服部敬一（民新）
群馬縣第一區	關口志行（民新）
同	飯塚春太郎（民前）
北海道第五區	吉野恒三郎（民新）
同　四區	拔谷順助（政前）
同　五區	東條貞（政新）
長野縣第三區	宮澤胤男（民新）
島根縣第一區	瀧川辰郎（民新）
岡山縣第一區	難波清人（政元）
廣島縣第一區	藤田若水（民前）
香川縣第一區	小西和（民前）
廣島縣第三區	土屋寛（民新）
岡山縣第一區	玉野和義（政新）
同　第二區	高草美代藏（政元）
廣島縣第三區	池田一二（民新）
長崎縣第一區	中川觀秀（民新）
沖繩縣第一區	當間嗣合

革新同盟の公認候補

【東京廿五日發電】大隈侯の率ゆる政界革新同盟では廿五日正午衆議院構内燕樂軒に會合大隈侯を初め小寺河野氏等其の他十數名出席協議の結果政府反對の宣言政綱を決議し左の諸氏を公認候補者に決し午後二時散會した

選擧區	候補者
東京府第四區	太田信治郎
茨城縣第一區	河野正義
兵庫縣第二區	小寺謙吉
同　第一區	中村直吉
長崎縣第二區	橋本喜造
大分縣第二區	羽田彥四郎
北海道第一區	高島晴雄
佐賀縣第二區	御厨則夫

刑事被告人の公認候補が問題

司法當局の强硬議論

【東京廿五日發電】東京市疑獄事件其の他の事件で刑事被告人となり目下保釋出所を許されて居る被疑者が、政黨から麗々しく公認候補として立ち殊に綱紀肅正を標榜する民政黨から公認され出馬せんとして居るものあるので、二十五日の司法官會議席上にても問題となり全國各地にも斯ふした醜い空氣があるので、司法當局は此の際刑事被告人の保釋を取消すのは何んでもないが、故意に選擧妨害とみらるゝのを避けて控へて居るのであるが、威信を保つ上から此の儘默過するは面白くないとの議論も相當あり、檢事局では相當之れ等に對し考慮をめぐらして居る

普選純化同盟

きのふ第一回發起人會

【東京二十六日發電】來るべき總選擧の國民淨化運動の先端となるべく尾崎行雄、新渡戸稻造、永田秀次郎、有馬賴寧の諸氏發起人となり普選純化同盟を組織し、二十七日午前十一時から丸之内東京會館にて第一回發起人會を開き協議のうへ具體的運動に入ることゝなつた

新庄大阪商船專務

大阪商船專務新庄淸一氏は各地支店における營業狀態視察のためかねて來連、天津支店視察を終了廿六日出帆榊丸にて上海に赴いた、上海より香港、臺灣各地を廻る豫定であると

少年刑務所御巡覽

高松宮殿下

【東京二十五日發電】高松宮殿下には二十五日午前八時より自動車にて神奈川縣小田原少年刑務所にならせられ、和田所長の御說明にて所内を隈なく御巡覽正午同所で晝餐をめされ御歸京あらせられた

噸數轉換に就て英佛妥協案成る

伊太利之に參加し居らざるため將來相當紛糾か

【ロンドン廿五日發電】噸數轉換についての英、佛妥協案は戰鬪艦、一等巡洋艦、航空母艦及潛水艦については轉換を許さぬことをイギリスより發案しフランス之に贊成した、即ち轉換を許されるものは三等巡洋艦及驅逐艦のみでフランスは特に今後軍縮協定に參加すべき五國以外の小國に限り潛水艦をも轉換し得ることを提議し、其方法を專門委員をして起草せしめることゝなつた

右はフランスがユーゴースラビヤ等の爲提案したものと見られるがイタリーは未だ此會商に參加して居ず對伊關係で相當紛糾が豫想されてゐる、又專門委員會でも一等巡洋艦と二等巡洋艦の區別、巡洋艦と驅逐艦の區別を如何にするか轉換の際各艦種間の比率如何を起草中で起草は早くて二十九日頃完成の模樣である

總選擧の費用　どうして作る

三四百萬圓はどちらにも必要

朝野二大政黨幹部の苦心　さて其金穴は？

【東京廿五日發電】東京と大阪の兩地こそ解散翌日の二十二日に早くも三十餘名と云ふ立候補供託金納附者があつたが、其の他の土地では一人か二人の供託者があるか無い位、都會の人とは事變り地方の人は火のつく樣な選擧にも如何にも

◇氣の長い處 がある

やうに思へる、然し夫は餘儀ない氣の長さで胸中にはもう選擧の火が燃えてゐる、歸り度くても運動費のない苦さ、第一納附しなければならぬ供託金二千圓と云ふのが未だ調達出來ぬ前代議士がどれだけあるか判らぬ、彼是早くも選擧區へ歸りたくても歸れぬのが大部分の代議士連の持つ惱みであると傳へられてゐる、民政黨は三百名の候補者を立てると云つてゐるか一人一萬圓とするの三百萬圓此の中には特別に二萬圓三萬圓を與へて遣らなければならぬ

◇…特別候補も あり、彼是計算してどうしても三百萬圓以上の金は用意してかゝらねばならぬ、政友會と雖も同じ事である、安達内相は與黨の總選擧總元締として朝から晩まで總選擧の事務に沒頭してゐるが、彼の選擧事務の半は選擧費の調達にある事は論を俟たぬ與黨では四百萬圓の金を工面する事と云つて居り目下頻りに其の金穴について財布の紐を解くべき事を說してゐると云ふが政府と云ふ背景を持つてこそ民政黨は四百萬圓を作り得るも政友會は到底之れ丈けの金は作り得まいと見込んでゐる、民政黨の金穴は

◇…勿論三菱で あるが加藤伯が他界した今日幾何の金を奉加帳に附けるであらうか、百萬圓と筆太々と初筆につける事は整理節約の今日としては到底求め得られざる處であらうと云はれて居る、處で此際奮發しなくてならぬのは井上藏相である、今度の内閣はまるで井上藏相の内閣見た樣なもので、あわよくば金解禁の功績に依り男爵がぶら下らうと云ふ評判、此に於て民政黨の幹事連中は井上の金庫を開かせて彼が日銀時代からうんと溜た金の茶釜を持ち出させて、すべくたくらんでゐる、井上も

◇…今度と云ふ 今度は五十萬七十萬の金では濟むまいと云はれてゐる、新に文相を贏ち得た田中隆三翁も尠からず絞られる事であらう、町田忠治翁もいくら巾着の紐を固く締めてゐても廿萬三十萬の金を出す事は免れまい、其の次は安達内相、江木鐵相、幣原外相等と指を折られてゐる三人とも自分の懷中には大した金はあるまいがそれ／＼傳手を辿つて相當額を奉加帳に附けねばなるまいと見込まれてゐる、仙石翁も解散はいやだ等と云つてゐたが愈々となれば矢張り奮發しなければなるまい、扨此處に

◇…一番辛いの は政府與黨として實業家から搾り取れぬ事である口が酸くなる程綱紀肅正を述べ立てた手前、殊に浮つかり金を出したが最後お手々が後に廻る懼れがある、實業家も多少は奉加帳に乘せさせて貰ふ事であらうが、先づ此の方は大した事はあるまい、次に政友會はと云へばどうしても犬養御大が自ら走り廻つてウンと工面をして來るより外に途があるまい、犬養總裁に次では何と云つても久原であらう、其の次が鈴木喜三郎翁だと云ふが腕の喜三郎も今度金を作るに就いては其の金穴が犬養翁の金穴と

◇…筋が同じで ある事が喜三郎翁に執つて非常の苦痛であると云はれてゐる、鈴木との對立上床次竹二郎氏も鈴木並みの心配をせねばなるまい、茲に鈴木と床次とを對立せしめて扨て今度の選擧に鈴木派の悲哀を感ずる事は彼腕の喜三郎の乾兒共が甚だ其の選擧地盤に於て弱勢なる事である彼を親分と仰いで毎日其の玄關に詰めかけて受附然としてゐる乾兒代議士共の某々々、凡て今度の總選擧に危ぶないものばかりとは腕の喜三郎翁も奮起して金を作る氣にもなれまい、山本前農相、政友會の

◇…金穴の中堅 であらう、其の次には秋田淸、森恪、内田信也等の若手處だと云はれてゐる、中橋德五郎翁は大分疲れてゐるから餘程會得が出來ぬ以上其の財布の紐は容易に解くまい、山本条太郎氏は政友會としては屈指の金穴として期待されてゐるのであるが、犬養總裁が小橋前文相を指摘した解散當日議場に於ける演說が自分を呪つたと同じだとあつて最近カン／＼に旋毛を曲げてゐると云ふ、解散日の當夜の事である山本氏を襲擊して差し當り供託金丈けでもせしめ樣とした前代議士連があつたが、氏は

◇…御機嫌甚だ 斜で財布の紐を解かうともしないので襲擊した連中極めて悲觀の態を以つて引き下つたと云ふ事である、一口に三百萬圓と云ひ四百萬圓と云ふけれど知々容易ならざる金である、況んや節約緊縮を巧に利用して選擧費搾取の手を擊退しつゝあるに於てをや、天下を取るのは容易な事ではない

中等學校の教職員にも身體檢査を施行す

愈よ關東廳が規程の草案に着手　新年度から開始豫定

關東廳には從來小學校乃至普通學堂、公學堂教職員の身體檢査規程はあるが、中學校、高等女學校等の教職員の保健衞生取締に關しては何等の規程がなく、しかも中等學校職員の疾病或は不健康がその生徒の健康は教授等に及ぼす

影響は 小學校職員に勝るとも劣らず、殊に呼吸器病の如きはその對象が發育盛りの青年處女なるだけに事實餘程の重大性があるが一面現在の中等學校職員の健康既に非常に宜しからぬ狀態にあるといふので、今般同廳學務課では右中等學校教職員の保健取締上身體檢査規程を設け小學校職員同樣毎年規程による檢査をなす由で目下規程草案中で

學務課 では新年度草々檢査開始の豫定であるといふ、尙これと同時に教職員の採用に關しても今後は健康に最も重きを置く筈であると

日英間直通の通信が完成

【東京廿五日發電】日英間の電信は何れも中繼によるため尠くとも三時間を要して居たが、日本無電會社では對歐無電局たる愛知縣碧海郡の送信所にアール、シーA式短波長送信設備を又三重縣四日市の受信所にマルコニー式ビーム受信裝置を施し、今年早々試驗中の處好成績を得たので廿六日より多年の宿望たる日英間直通々信を開始する事となつた、此のため從來三時間を要した日英通信は約三十分にて通ずる事となつた

張學良氏　秦皇島に向ふ

【奉天特電二十六日發】張學良氏は秦皇島東北海軍學校卒業式列席のため東北海防艦隊副司令沈鴻烈氏と同道、二十五日午後十一時發同地に赴いた、なほ氏は胡蘆島築港の下檢分をも爲す筈であると

奉天加茂小學校　四月から開校

奉天加茂尋常小學校は今春四月から滿鐵沿線在外指定學校として開校の筈であるが、同校は北四條通以北を通學區域とし完成の上は各學年三學級約千五百人を收容する豫定なるも、本年度は一學年百人二年、三年各五十人、四年五年各四十人、計六學級二百八十人を入學せしむると

五名の委員に銓衡を一任

候補者の目星つく　◇…後任の大連市長

大連市會協議會は二十五日午後二時殆ど全市議出席の上開かれ、石本市長は夕刊所報の如き辭職聲明書を公にした、そこで協議會に入り議論百出したが結局各派より一名宛の委員を擧ぐることゝなり、牛島（滿鐵）大内（革新）若月（之の擁護）立石（中立）岡（支那）の五氏を以て後任市長銓衡委員會が組織され之に一任することゝなつた依つて五氏は同夜某所に會して協議したが後任の氏名は話頭に上らず、たゞ詮衡方法は名譽市長と局限せず、汎く人材を求む（有給市長を指す）ことに意見が纏まつた模樣である、次で滿鐵、革新中立の三派委員は更に某所にて鳩首協議したが、その席上意中にある有力な後任が持出されたもの如くである、それで恐らく急速に銓衡を終るに至るべく、若しそれが長引けば相當の迂餘曲折を經るやも知れずと觀測されてゐる、なほ革新派議員も亦某所にて協議するところがあつた、因に第一回委員會は二十六日午後一時より市會議長室にて開かれることになつた

東亞勸業補助金

廢止は當分實現すまい

【東京特電二十六日發】東亞勸業公司に對する關東廳の補助金十五萬圓を五年度限り廢し、もしくは輕減すべしとの說あることは既報の通りであるが、元來右補助金は東拓を中心とする國策的見地から行はれる同公司の事業を保護する意味に於て朝鮮總督府より下附されて居たもので、同公司が東拓より

滿鐵の手 に移るや該補助金も亦關東廳より下附することに變更されたもので、相當の歷史もあり根據もあるものであるから假令滿鐵の手に移つた今日に於ても國策的方針が變改されぬ限り俄に廢止すべきものでないと云ふので其廢止は當分實現しない模樣である。然し關東廳としては滿鐵中心の事業に對して東亞勸業のみ獨り特別の補助をなすは他との均衡上面白からず、殊に貧弱なる

關東廳の 財政上のことも考慮し相當の減額をなすことになつて居り五年度の勸業補助費豫算中、同補助費は三分の一の五萬圓程度に止め、五萬圓は緊縮、殘りの五萬圓は補助費に振り向けられることゝになるであらうと

安鼎子

各派政黨の本部には五月蠅く印刷業者や封筒書の註文取りが來るが、その中に職業婦人が進出し妙な目つきで泳ぎ廻つてゐる▲これを候補者連が「秘書として働いて呉れ給へ」とドシ／＼連れて歸る、不思議なことには御面相の良い奴ばかり賣れて不器量なのは字がうまくても一向に賣れぬ▲これもまた今度の總選擧に初めて現はれたモガ進出の一場面▲話は少し古いやうだが先程山本、松岡前正副總裁と別々に會つたときの話……仙石總裁に「一體どんな話がありました？」と訊くと▲總裁例の調子でニヤリと笑ひ「君がたが餘り新聞に書くものだから、若い者は兎角氣にしてね、いろ／＼なことを聞きに來たンだよ」▲松岡氏は兎に角として、山本氏まで若い者扱ひはいかにも仙石老らしい▲それもその筈、一國の大宰相たる濱口氏ですら仙石氏にあつては「小孩」にしか見えないンだから堪らない【東京特電二十六日發】

本社のトロフィは四種目優勝の木谷選手に

快晴に惠まれ非常に盛大だつた

全滿氷上競技選手權大會

【奉天特電二十六日發】滿洲體育協會主催の全滿氷上選手權大會は既報の如く廿六日午前九時五十分より奉天醫大リンクで擧行されたが、朝來の好天氣とトラックの好コンデイションに惠まれ觀衆頗る多く、非常な盛會であつた、記錄は五百米に滿洲記錄が生れた丈けで、あまり振はなかつたが、何といつても一萬米突は當日第一の呼物であつた、安東の木谷選手は依然たる强味をもつて五百、千五百、五千、一萬に優勝した、大會終つて、體育協會長小日山滿鐵理事閉會の辭をのべそれぞれ入賞者に賞品を授與し、本社寄贈の優勝カツプは佐藤本社編輯局長より一萬米の入賞者木谷選手へ授けられ目出度く午後五時半閉會した

千五百米（コース、ダブル、トラック、タイムレース）
一着 木谷德雄（安東） タイム二分四十九秒九
二着 小池富二（奉天） タイム二分五十秒五
三着 河村利夫（奉天） タイム二分五十一秒四
四着 池見正信（大連） タイム二分五十一秒八
五着 大澤義一（安東） タイム二分五十四秒五

女子千五百米（コース、ダブル、トラック、タイム、レース）
一着 井上浩子（奉天） タイム三分三十九秒七
二着 本山艷子（大連） タイム三分五十九秒四

一萬米（タイムレース）
一着 木谷德雄（安東） タイム二十一分二十九秒
二着 池見正信（大連） タイム廿一分二十九秒四
三着 小池富二（奉天） タイム二十一分三十秒
四着 河村利夫（奉天）
五着 大澤義一（安東）
一着から五着までは終始一團となつて滑走し、大いに接戰を演じたが、木谷遂に一着を占む

背進五百米
一着 相澤辰巳（撫順） タイム五十九秒六
二着 池見正信（大連）

千五百米リレー
一着 撫順（出原、水上、相澤、森高） タイム二分五十六秒一
二着 奉天（岩本、村瀨、小池、河村） タイム同上

アイスホッケー（醫大リンク）
奉天中學對安東倶樂部のホッケー戰は午後零時三十分より開始されたが一對一の同點となり三十分の補回ゲームを續けたが尚勝敗決せず抽籤の結果安東倶樂部の勝となつた

安東 0―1 奉中
1―0
0―1

（中奉）FW 岡、津、藤、浦、島　PB 松梅、近森　GK 中

（大醫）FW 間谷、下田、東、早、増木　PB 堀、久保　GK 百

（安東）FW 本西、内川、村谷　山大山小下濱

滿鐵リンクの部
大連倶樂部對撫順倶樂部のホッケー戰は午後一時より酒井氏審判にて開始されたが四對一にて大連倶樂部の勝となつた、閉戰二時二十分

大連 1―0 撫順
2―0
1―1

（撫順）西保田、原藤野　FW 寺久、梅堀　PB 相内　GK 隅

（大連）FW 井寺岡、櫻小花　PB 野木間　GK 河黑福

準優勝戰
安東中學對大連倶樂部の準優勝戰は午後三時より酒井氏の審判にて開始されたが六對二にて安中の大勝となつた、閉戰四時二十分

安中 2―2 大連
2―0
2―0

準優勝戰
醫大留守軍對安東倶樂部ホッケー戰は午後三時二十分齋藤氏のレフエリーにて開始されたが大接戰の後一對零にて安東の勝となつた、閉戰は四時五十分

安東 1―0 醫大
0―0

（中奉）FW 岡津藤浦島、松梅近森　PB 松　GK 中
（安東）FW 山酒大山小下濱、本井西内川村谷　PB　GK

尚安東中學對安東倶樂部の優勝戰は當日擧行の筈であつたが日沒の爲め延期され此の決勝戰は何れ日を期して安東に於いて擧行される筈である

聯絡機の保溫裝置

成績が良い

日滿聯絡用の飛行機は外國製なるため滿洲如き酷寒地にては發動機の要部たる氣化器が結氷し易く、屢々苦い經驗を嘗めたので昨多來種々研究實驗を重ねた結果保溫裝置法を案出したことは既報の通りであるが、其の後成績は極めて良好にして飛行界に貢献するところ甚大であると云はれてゐる、なほ同機の座席をも改造し窓硝子の間にフエルトを挾むと同時に座席後方より暖風を送る裝置を施してゐるので毫も冷氣を覺えない、因に輸送會社出張所では二十五日午後關係者を招いて耐寒飛行の試乘を試みた

時散會した、尚來るべき役員會に於いて改めて討議せらるゝ筈

得意の强球で佐賀孃美事優勝

宅和孃は二位に落つ

大連女子卓球大會

夕刊既報の如く滿洲卓球協會主催本社後援の大連女子卓球大會は廿六日午後も引續き擧行されたが男子の觀衆も多く男子何者その意氣込みで洗練されたプレー振りにフアンも熱狂したが前年度選手權保持の宅和孃は優勝戰に於て後進の佐賀孃に慘敗した、佐賀孃のプレー振りは一際目立つたもので他の追從を許さず一人天下の槪があつた、午後の戰跡左の如くである

▲第三回戰
（一）宅和三―二津田（二）佐賀三―〇新（三）印牧三―二宮地
大野喜不戰勝者
〇敗退者戰勝者
矢野手島立花綾部二木三村

▲準決勝戰
宅和（神明倶）三―二印牧（神明倶）
宅和のサーヴスで開始易々一ゲームを得たが印牧奮戰して二ゲームをとりリードしその後接戰したが印牧失多くして止む
佐賀（神明倶）三―〇大野（神明倶）

▲第四回敗退戰
新帶三―〇三村、津田三―〇、立花、宮地三―一手島、三木三―二綾部、矢野不戰勝者

▲第五回敗退戰
新帶三―〇宮地、津田三―一矢野、大野三―〇三木、印牧不戰

▲第六回敗退戰
大野三―〇印牧、津田三―〇新帶

▲第七回敗退戰
津田澤子三―〇大野喜代子

▲優勝戰
佐賀そとの三―一宅和みつえ、佐賀一〇―三、一〇―四、六―一〇、一〇―五宅和前年度選手權保持者宅和のサーヴスで開始佐賀の强球にさしもの宅和も手出ず易々と二ゲームを取られ宅和奮起して一ゲームを挽回したがものにならずあつけなく終り遂に選手權を佐賀に讓る
右試合終了後役員協議の上左の如く順位決定し卓球協會、滿日社及び山本運動具店寄贈の賞品は東瀨戸卓球幹事の手より拍手裡に勝者に授與され午後三時終了した
一位佐賀、二位宅和、三位津田四位大野、印牧、五位新帶

馬賊に組付き格闘中山根巡査射殺さる

結局賊四名を逮捕し一名を射殺

きのふ郭家店で

【公主嶺特電二十六日發】昨年十二月十二日市内東本町三盛糧棧に闖入、店主及び店員二名を射殺して逃走した十三名の馬賊が郭家店南一條街の家に潜伏してゐるとの急報に接した公主嶺警察署は二十六日午前十一時廿分發二十二列車にて平林司法主任指揮のもとに山根巡査外五名は之が逮捕に向ひ該家屋を包圍して四名を逮捕取調中、一名の賊は支那婦人を同行、戻りたるを見た山根巡査は勇敢にも彼に組付き格闘中賊はピストルを發射して同巡査を射殺逃走したので、平林同法主任指揮のもとに之を追擊し射殺し一賊を逮捕したのであるが此の交戰にて蔡巡捕は右腕に貫通銃創を、宋密偵は左腕に貫通銃創を受けた、山根巡査は午後一時絕命した

消費組合問題で商議の意見交換

具體方法は纏らず

大連商工會議所商業部委員は二十五日午後三時より消費組合問題に就いて協議する爲め委員會を開いたが、竹内委員長は缺席し委員八名集り夫々對策運動に就いて論議した、其結果撤廢、品種制限、組織を變更して組合を仕入機關にする等種々意見が出たが、結局具體的な事に就いては意見區々で纏まらず、只消費組合の存在は現下在滿商人の生活を脅かすが故何等かの意味に於いて對策運動を起すべきであると抽象的意見に決着し五

大連女子卓球大會

醫學基礎の合理的な體育研究所を新設

小學校及公學堂長會議の提案で

滿鐵が本年度に

滿洲における兒童、中等學校兒童生徒の體育運動の硏究、指導、調査機關としては從來州内に關東廳の體育硏究所があるのみで、沿線附屬地における上記兒童生徒を對象とした統一的機關は存在せず永い冬季結氷期間における發育盛りの學齡兒童に對する體育方針、滿洲の特殊の

氣候風土に

適應した運動の硏究や健康兒童と虛弱兒童の各個別的適切なる指導、選手制に對する態度等々に關して遺憾な點が多かつたが、去る二十二日より三日間滿鐵本社に於いて開かれた滿鐵の小學校長並公學堂長會議に於て「體育調査機關設置要望の件」「兒童の體育運動に關し適切なる施設につき考慮せられたし」等の提案が附議され、滿鐵學務當局も之が必要を認めて特別委員會を開き本問題を審議した結果、昭和五年度に於ては愈々上記の如き時代の要求を充たすべく醫學を基礎として合理的な體育硏究所が

新設される

ことに決定した、右に就き平野滿鐵學務課長は語る

まだ具體的には小學校のみを對象としたものとするか中等學校をも含めるか定つてゐませんが來年度には必ず實現したい心算です、設置個所も本社に置くか或は奉天とするか判りませんが出來る限り敎育家、醫師專門運動家等の權威者を廣く網羅して立派な體育硏究調査機關としたいものです

なほ中等學校を除き右の體育調査硏究機關新設の前提として沿線小學校の專任體操敎師の充實が先づ實現する模樣である

鮮人學生の共產黨事件

十三名有罪と決定

二十五記事解禁

【京城廿五日發電】京城西大門署では昭和三年秋御大典を前にして朝鮮人中等學生が何事か不穩の計畫をなしつゝあるを探知し、黑沼高等主任指揮の下に大搜査を開始し十月末から十一月初めにかけて左記の學生を檢擧し證據物件を押收して嚴重なる取調を行ひ、十二月五日治安維持法違反として京城地方法院檢事局に送致した、檢事局より豫審に廻り五井豫審判事の手で取調中の處一月二十五日

豫審終結し

十八名中李敏湜、具鍇會、李庚培、金炯元、鄭雲永の五名は豫審免訴となり他の十三名は有罪と決定し同法院の公判に附せられることゝなり、事件は檢擧と同時に記事掲載禁止中の處本日解禁された

忠淸南道公州郡州内面新基里 中東學校生 李哲夏（二〇）
全羅北道南源郡雲峯面三山里 同 崔星煥（一九）
慶尚南道金海郡下里面穢田里 徽文高普生 安三遠（二一）
（以上三名は朝鮮學生科學硏究會事件で收容中）
平安北道寧邊郡寧邊面城北里 培材高普生 韓炳宣（二三）
全羅北道全州郡全州面清水町一八六京城語學院生宋炳案（二一）
京畿道龍仁郡南西面鳳鳴鍾路青年學館生 南相璜（二三）
全羅北道全州郡三禮面於田里 培材高普生 金炯元（二一）
江原道三渉郡未老面古川里 普成高普生 梁珣模（二五）
全羅北道金堤郡聖德面沙羅里 中央高普生 朴判同（二一）
忠淸南道天安郡聖居面三谷里 中等學校生 李敏湜（二一）
全羅北道井邑郡笠岩面圓谷里 中央高普生 柳秉根（二一）
慶尚北道聞慶郡籠岩面三松里 公立第一高普生 閔康昌（二一）
京畿道廣州郡西部面廿一里 普成高普生 具鍇會（二四）
京畿道驪州郡欽東面檜洋里 中央高普生 權五敬（二一）
京畿道高陽郡崇仁面新設里 苦學生 丁寬鎭（一八）
全羅北道扶津國七良面峴坪里 徽文高普生 金雲善（二二）
黃海道延白郡湖東面南塘里 養正高普生 李庚培（二三）
京城府大平通二丁目六三 勞働者 鄭雲永（六三）

丁黨を組織す

マルクス主義運動へ

排日的思想を持つ崔星煥、李哲夏、宋炳案、韓炳宣、安三遠等中等學生は更に家庭上の不滿、書籍、交際人物の感化を受けて現代の社會國家を呪ひ、その變革を圖るため鞏固なる學生の共產主義團體を組織すべく昭和三年二月二十一日夜崔星煥の下宿京城府昭格洞六〇曹秉昌方に十一名集合し司會者崔星煥より朝鮮の學生運動は思想運動と同一軌道を進み從來の局部的運動より統一的マルクス主義的運動に轉換すべき時期に直面してゐる、全鮮統一のマルクス主義的政治的闘爭への學生運動は必要であると意見を述べ、一同之れに贊成し直ちに團體を組織する事となり、黨名を丁黨とするに決定直ちに中央幹部の選任をなし

中央執行委員長　宋炳案
責任祕書　李哲夏
中央執行委員
中東學校　崔星煥
中央高普校　朴判同
培校高普校　韓炳宣
養正高普校　李庚培
青年學館　南相璜
普成高普校　具鍇會

と決定結黨式を行ひ、次で黨の事業として三月一日の所謂三一記念日に不穩ビラの撒布各學校示威行列萬歳高唱等協議したが、具體的意見纏まらず午前一時散會した（以下夕刊に續く）

祕かに開かれた中央執行委員會

細胞組織其他を協議

鮮人學生共產黨事件

（今朝刊續き）二月二十三日夕刻宋炳案方に崔星煥、李哲夏の三名會合し中央執行委員會の期日、協議事項につき豫備會議を開き期日は二月二十七日と決定した、二十七日午後八時京城府樓下洞二四六宋炳案の下宿金濟亭方に崔星煥、李哲夏、李敏湜、韓炳宣、第一高等普通學校生閔忠鉉、第二高等普通學校生文殷鐘、第一高普通學校の朴判同、柳秉根青年學館より南相璜、徽文高普校生金雲善安三遠の十二名集合し第一回中央執行委員會を開き

會費の件、細胞組織に關する件綱領作成の件、三一記念日運動に關する件、友誼團體に對し交涉委員派遣の件、暗號制定身分調査規約

等を議し會費は三十錢とし左の如く組織をなした

責任祕書　宋炳案
祕書　李哲夏
組織部責任者　崔星煥
部員　安三遠
部員　閔忠鉉
宣傳部責任者　金雲善
部員　朴判同
檢察部責任者　韓炳宣
部員　崔星煥
部員　文殷鐘

地方細胞組織は試驗休暇及び夏季休暇に歸省期間を利用し社會科學に興味を持ち戰闘的分子として認識を得たる者に當該地校内に秘密に細胞を組織させ一學校單位に漸次一道に作り上げ優秀細胞を選定して正式黨員として入黨せしめる事とし綱領三項を制定、三一記念運動の他團體との連絡交涉員として崔星煥、李哲夏、宋炳案、安三遠、文殷鐘を指名した

探偵小說『女妖』いよいよ明朝刊より

第六面に連載致します

わが探偵小說界の覇王江戸川亂歩氏並に横溝正史氏の合作になる探偵小說「女妖」は既に豫告致しました通り、いよいよ二十八日から朝刊第六面に連載することになりましたお承知の如く挿繪は斯界に名聲嘖々たる伊藤幾久造氏の手になつたもので、必ずや讀者諸彥の御期待に添ひ得るものと確く信じます、折角御愛讀を乞ふ

培材高普校内に丁黨の細胞組織

活躍中遂に逮捕さる

丁黨第二回中央執行委員會は三月十日京城樓下洞二四六宋炳案方に於て午後九時より開會、權五敬を中央幹部とする事を決議した後三一記念運動は他の團體との連絡交涉不成功なりし爲め何事も爲し得なかつたことを報告し

一、細胞組織に就て
一、黨の存在に對する論爭に就て
一、綱領の發表に就て

協議した後、朴判同は中央高普校内に學生細胞を組織すべく努力してゐる事を報告し十二時頃散會した、次で四月九日夜同じく宋炳案方に第三回中央執行委員會を開き全南光州、忠南公州の各高等普通學校内に細胞を組織する方針を決定した、韓炳宣は六月七日培材高普校の

裏庭に

三年生甲、乙組、二年生甲組、四年生中の同志の主なるものを集めて丁黨の結社に就いて說き校内に細胞を組織するは緊切であるとて贊同を得、次で六月九日京城茶屋町一六四下宿屋に四年生朴勝濟、金炳鎬、吳命中金福經、李虎碩、孫栗基、姜躍東金正秀集合し朝鮮の活役者である學生も丁黨と提携し全校を統一して政治的闘爭に進出すべきであるとの意見一致し培材高普校内に完全なる丁黨細胞を組織した朴判同は中央高普校五年生姜昌興を說き三月上旬入黨せしめた、斯く朝鮮最初の學生共產團體として生れた丁黨は細胞組織其他の指導その他に活躍中檢擧されたものである

能登呂飛機爆發半燒

着水の際顚覆

【札幌二十六日發電】厚岸灣に碇泊中の航空母艦能登呂搭載の第七號機は二十六日午前八時半飛行を開始し三千メートルの高度にて根室地方の試驗飛行を終り午前十時廿分厚岸に歸還し厚岸灣内辨天島附近にて氷の割れ目を目がけて着水の際保護鳥たる白鳥の群を發見之を避けんとした刹那顚覆しガソリンタンク爆發火を發し機體を半燒した、幸ひにして搭乘者山本二等兵曹が右耳に輕傷を負ひたるのみで肥後、井出兩二等兵曹は無事であつた

范家屯に三人組强盜

鐵工業襲はる

【長春特電二十六日發】二十六日朝三時半頃長春警察署管内范家屯北大通一四號鐵工業支那人舍仲闘方へ三名の馬賊押入り一名は拳銃にて二名は棍棒にて家人を脅迫し現金哈大洋五百元、邊業銀行券四百五十元、衣類三十點合計邦貨換算七百七十八圓を强奪し逃走した長春警察署にては折柄舊年末特別警戒中なので時を移さず田畑司法主任現地に急行、犯人嚴探中である

小蒸汽待ぼけ

不便な定期船

定期船入港に關し沖行小蒸汽船の今日迄の不便不利に對しては既報の如くであるが、廿五日入港ばいかる丸においても同樣の不便をなめさせられた、同船は午前八時半港外着の豫定であつたので例により滿鐵小蒸汽は三十分前八時埠頭を離れ沖に向つたが、その後ばいかる丸より三十分遲着の旨無電で通達あつたが既に小蒸汽に通知する方法なく、已むなく小蒸汽は沖で三十五分間餘り待ち空しく公用を帶べるものに幾多の支障を來さしめた、右に關し滿鐵並に商船においても從前通り入港旗の揭げられると共に小蒸汽を出す方法をとり、最大限度三十分待つと云ふ事に一決を見た

●づつうにノーシン●

滿日地方版

奉天

海關布告に對する 建議案提出
奉天商議々員會から 廿四日、政府要路へ

奉天商工會議所では廿四日午後二時より同所會議室において龐谷會頭、富村副會頭、野添書記長はか十議員その他滿鐵から光井氏等出席の下に議員會を開催、海關の布告につき協議の結果左の如き

決議を なし建議案を外相上海駐在商務官、林奉天總領事、關東長官の各當局に提出した

支那海關の布告改善方建議の件

從來支那の海關行政は比較的公正なるものとされたるに昨年二月一日の關税改正以來態度一變し即日實施の布告を發することも一再に止まらず通商上多大の不利を招來し居れり、試みに直接通商上に重大な關係を及ぼしたるものゝみを列擧するに

一、民國十八年二月十八日附海關三八五號布告空氣銃及び玩具の拳銃輸入禁止

二、同年八月二十九日附海關四〇三號布告輸入暫行章程變更（評價方法の改正）

三、同年九月十三日附海關四〇四號布告米、麥粉の輸出禁止

四、同年十一月廿一日附海關四一一號布告紫銅、靑銅、黃銅、銅塊の輸出禁止

以上の如くにして然も當所の如きは安東海關より布告の移牒を受け始めてその事實を知るため更にこの間數日を經るの狀態にあり、從つて邦商の周知する頃には多くの日數を經過する結果輸入禁止に係るもの若くは輸出禁止に係るものを未知のために取引し多大の損失を被り居れり、依つて將來は即日實施の如き亂暴なる布告を發することなく實施まで相當の時日を置く樣海關當局に交涉されたし、尙前記の四一一號布告の如きはその但書に於て國內產出銅及び製錢擴濱しの嫌疑なきものはこの限りにあらずとありて一般にその限界を那邊に於て求むるかに苦しみ居れり、かゝる布告は通商上に至大の支障を及ぼすものなるにより將來はかゝる事なき樣併せて改善方折衝を望む

右當所議員會の決議により建議す

また囑託顧問に關しては小倉會長川合署長の兩氏に依囑することになり、新入會者賦課等級査定は原案通り

可決し 午後四時散會した、關東長官に對し提出せる請願文は左の如し

支那海關の布告改善に關し本日別紙の如く建議致し候に就ては將來大連海關よりこの種布告の諒解を貴官に申し出づるが如き事有之場合は、貿易業者の利害御考慮相成り一應當業者に御諮問の上之が可否を御決定被成下樣御取計相成度し

右當所議員會の別紙に對する附帶決議として及請願候也

支那側旺んに 暴行

去る廿四日奉天西塔居住朝鮮人金美敬（二〇）外三名が瀋陽縣政府の管理區域において野良犬を撲殺したといふので、支那側當局は不法にも右四名を拘禁し食物も與へず小便を飲まし且つあらゆる私刑を加へ四名全部に全身負傷せしめ廿四日漸く釋放したが、最近支那側のかゝる暴行事件は枚擧に遑ない有樣であると

奉天署では既に之が取締に着手し實行しつゝある折柄左の警告により更に一層取締が嚴重に行はれる筈で、從つて從來の不正業者はどしどし檢擧し掃滅される譯である

人事

▲香月旅團長　廿五日過奉遼陽へ同日來奉

▲小日山滿鐵理事　廿五日長春より來奉

▲立川同營業課長　同上

▲長山遼陽署長　廿五日奉天往復

▲奉中スケート選手一行　廿六日安東に於て擧行される滿鐵中等學校氷滑大會に出場のため廿五日安奉線急行にて安東へ廿七日朝歸奉の筈

▲森蓮升氏　東北政務委員となつた同氏は廿五日朝着任した

大接戰を演ず
全滿獨立守備隊の 劍術競技大會盛況を極む

全滿獨立守備隊劍術競技大會は廿五日午前九時から奉天春日小學校大講堂に於て擧行、來賓として日本側は軍司令部から畑軍司令官、高橋參謀、大岩副官その他森島領事、小倉奉天地方事務所長、鈴木奉天鐵道事務所長等、また支那側から張學良氏、榮臻氏、張煥相氏、陶尙銘氏その他十三名の多數參列あり、それに主催者側寺內守備隊司令官を初め公主嶺、奉天、大石橋、連山關、四平街、安東各大隊長將校出場選手將校以下百五十四名に達しさしも大講堂も立錐の餘地なく、從つて試合も近年にない

緊張味 を加へ大接戰を演じたが、結局左の通りの成績を擧げ午後四時半頃閉會した、なほ六時からヤマトホテルに於て慰勞宴が催された

銃劍術 ▲兵卒　一等寺田上等兵（連山關）土屋上等兵（同上）二等淸水上等兵（同上）石井上等兵（大石橋）三等小川上等兵（同上）▲下士　一等大石軍曹（公主嶺）二等高島軍曹（連山關）天野軍曹（同上）三等堀軍曹（公主嶺）▲將校　一等上野少尉（大石橋）二等久保、鶴島兩中尉

軍刀術 ▲下士　一等田中曹長（公主嶺）二等宇戶曹長▲將校　一等兒玉中尉（大石橋）二等日高中尉（開原）

斤量を誤魔化す 不正商を取締れ
奉天警察署へもお達示

今回關東總監警務局長から奉天署長に對し

石炭斤量不足については滿鐵側並に各關係者に對しそれぞれ警告を加へ、不正度量衡器に對しても修覆破毀を命ずる等相當取締られ居る事と思料するも尙遺憾の點あるにつき今後は絕えず石炭は勿論その他日用必需品に對し檢斤を行ひ、又は度量衡器の檢査を實施し不正業者に對しては相當處分を加へる等之が取締りの徹底を期せられたしとの意味の通牒が發して來たので、

大石橋 スケート大會

滿鐵運動會支部主催のスケート大會は二十五日午前九時より守備隊裏の池で擧行された、天候に惠まれた絕好のスケート日和で小學校生徒、幼稚園兒も參加し觀客も多く極めて盛會裡に一般人、學校職員聯合のリレーを最後とし午前十一時半閉會した

勤儉宣傳寫眞 廿七日無料開演

滿洲公私經濟緊縮委員會の催しに係る勤儉宣傳の活動寫眞は來る一月廿七日午後六時より公會堂に於て開催するが入場料は無料

映畫　現代劇東亞キネマ甲陽作品（輝く生涯）現代劇社會教育映畫研究所作品（太陽は休まず笑ふ）外漫畫

開原

開豐汽車公司の 旅客賃銀値上げ
二月二日より一割

開豐汽車公司にては從來旅客に對する賃銀を規定運賃の二割引に行ひ來りたるが今次の銀價暴落により其營業收入は到底支出を償ふに足らざる狀態に立ち至りたる爲め最日重役會議を開催し貨物運賃は從來通りの定額を適用するも旅客運賃は來る二月二日より一割引（一割値上げ）とする事に改正されたと

小學校の氷滑會

開原小學校のスケート大會は二十五日午後〇時半同校スケート場に於て擧行された、定刻永野校長の開會の辭に次で各學年の短距離滑走リレー、職員リレー、來賓の徒步競走等プログラム通り進行し、同三時三十分永野校長の閉會の辭あり、盛會裡に終了した

小日山理事來開

小日山滿鐵理事は市川鐵道部次長山內奉天鐵道事務所次長帶同、二十五日十一時五十四分特急列車にて來開し、開原驛に於て現業員の慰問をなし驛構內を視察の上十四時五十二分發列車にて南行した

安東

記者協會新年宴

當地新記者協會では二十五日午後開五時半より二葉に於て新年宴會を催した

滿鐵住宅組合 愈よ認可さる

多年懸案となつて居た滿鐵の住宅組合は今般愈々認可された、第一回着手地は大連、奉天、長春、安東、東京の五ケ所にして昭和五年度安東の建築は

特　一戶
甲　一戶
乙　十戶
丙丁　十戶

の二十二戶にして適當の時機に建築されると

安東氷滑選手 全鮮大會出場

二十六日漢江氷上に於て擧行される全鮮氷上選手權大會に平北代表

協會では新義州に於て平北豫選大會を開催し左の七名を平北選手として京城に出發さす事となり選手は二十五日午後六時三十七分にて京城に向つた、一行には過日靑森縣に於て擧行された全日本選手權大會に數種の日本記錄を作つた石原選手も加つてをる事とて京城に於ての平北選手の活躍は定めし見物であらう、因に一行選手名左の通り

石原省三、福元未春、大塚直治、安房總、文英烈、宍戶貞夫、李聖德

虛僞の訴へ

義州郡古津面倉洞農高柱武（三〇）は二十三日朝同地駐在所に至り、昨夜七時ごろ

王家楨氏過安 東上す

張學良氏秘書王家楨氏は二十三日午前七時着安の列車にて通過東上せるが、驛頭には高山參事の送迎あり、氏は舊正月の休暇を利用して多年居住した日本の狀況を視察に行くのみで別に張學良氏の命でなく單に私的旅行に過ぎないと語つてゐた

高勇吉氏の 音樂會盛況

安東時事新報主催にかゝるチエリスト高勇吉氏の音樂會は二十三日午後六時より公會堂ホールに於て開催されたが、聽衆續々押掛け定刻前既に立錐の餘地なき有樣にて「前賣切符御所持の御方以外は遺憾ながら御斷りする」との掲示が出された程の盛況振り、定刻吉永時事主幹の挨拶があり、高氏の第一ソナタ、ロカテイ作より始まり高氏夫人の舞踊四種等に聽衆を恍惚とせしめ大喝采裡に午後十時終了したが、井上地事所長宇佐美領事富永夫人等よりの花束が贈られてあつた

舊年末の警戒

安東警察署では舊年末が迫つて來たので警戒を嚴にし近來は各主任以下署員總出動午後五時より八時までと同八時より同十二時までを各二十五名宛全市にわたつて巡行せしめ、十二時後は署の刑事全員を以て全力を盡しての活動をなしてゐるが、この寒空に職務の爲めとは水も漏らさぬ警戒振りをなしてを官へこの活躍に市民は感謝して居る

撫順

今度は辻强盜 山東會長襲はる
身體檢査をなして 五十圓を强奪逃走

殉職警官の棕事ありたる翌二十四日の暮るゝには早い午後五時四十分又も撫順に於て辻强盜事件が突發した、被害者は本籍山東省萊州府現千金寨支那町榮棧街、山東會々長張信齋（四〇）が現大洋二百圓、金五十圓を所持奉天よりの歸途撫順驛に午後五時三十五分着にて下車撫入五號の洋車に乘りてオイルセール工場附近の十字路に差掛りたる際年齡二十二身長五尺四寸位の露國式防寒帽鼠色支那衣をまとへる一怪漢が停車を命じ懷中電燈にて被害者の顏を覗きつゝ警官風を吹かし身體檢査をなし金五十圓入りの財布を强奪大官屯部落に悠々と去つた因に二百圓の現大洋は籠に入れ車の賊込に置いてあつたので辛くも難をのがれた、急報に接した撫順署では連日不眠不休の活動を續けてゐる倉田司法主任以下急行したが既に犯人を見失つた、撫順は何分にも警備が薄いのと一步踏み出せば强盜の安全地帶であるので當局の骨折も一通りでないらしい

撫順道場の 寒稽古
廿七八日の兩日

撫順道場餘寒稽古は二十七、八兩日永安千金の兩道場にて行はれる、午前五時より七時迄の者進級審査は午後四時る、尙翌二十九日午後柔道部主催にて安道場に於て柔劍道部與會を開く事と、因に前記鐵道部進大にオール撫順型稽古を開催、郵田、宮澤、守谷、岩崎部、島津氏等の各教士

公私經濟宣傳 映畫會 來月一日開催

滿洲公私經濟緊縮運動宣傳會は二月一日午後六時より新公…

就學兒童は 申出づべし

本年就學すべき兒童は本月末日迄に戶籍謄本及トラホームの有無を記し地方事務所に屆出づべしと

機關車の惡戲 飛んだ人騷がせ

二十四日午後八時頃俄然非常汽笛の吹奏せらるゝやソレ火事馬賊と氣早の連中飛出したるにそんな事件もない樣だが汽笛は益々山野に響くのであつたが實は機關車に故障ありて自然に鳴つたのと判明、一時は却々の騷ぎであつた

寸閑隨筆

機關車の故障でもれ出る汽笛の音響はすばらしい實に天地を震撼せしむるの概があつた▲小學校では二十五日時志兒童の進級スケート競技を行つた目ざましい發達只頭部震盪せざる樣注意が肝要▲警察では二十四日時節柄假裝匪賊搜査の夜間演習を行つた制服私服の警官右左に飛ぶので行人頗の馬賊と騷ぐ▲近頃の警察は何となく生氣があつて勇ましい署長夜間不時巡視の如き員に士氣を緊張せしむるものであらうが之と共に吾等は一層感謝の念を深くする

鞍山

非常召集 不審者多數檢擧さる

松木署長は二十五日午前五時突如舊年末に際し不逞の徒が各方面に徘徊するの情報あり、只今より三時間八時まで全力を擧げて擧動不審者、行商人其他等不審者を總檢擧すべしと命令した、全員は直ちに各班に別れ活動し各派出所員は通行人を臨檢し擧動不審者多數を本署に送り一時全市は非常な緊張振を見せた

果樹組合理事 四名を任命
普蘭店

關東州果樹組合にては理事の任期滿了と共に廿四日改選する事となり池田支部長は宗規に依り選任する事となつたが新支部長は大に其手腕を發揮し從來の老朽無能を排斥して新進氣英の若手を選任した今後大に見るべきものがあらうと因に理事は劉雨田鷹野鷲雄野田斧吉鈴木甕雄の四氏である

二人組の鮮人强盜が侵入し、棍棒をもつて家人を毆打し現金十二圓を强奪されたと申述べ人相迄くわしくいふので、駐在所では全員出動し檢證を行ひ嚴重搜査を行つたが高の申立に不審の點があり、同人を取調べたるに全く虛僞の申告をなしたものと判明目下引續き取調中

左記映畫を無料にて公開する現代劇輝く生涯六卷、同太陽は休まず笑ふ五卷、外漫畫數卷

瓦房店

芦家屯驛に於ける 馬賊逮捕功勞者
八木驛長以下八名に 二十四日賞狀を授與

昨年十一月二十一日芦家屯驛に於て海路上陸し來れる馬賊の一隊を發見し八木驛長始め驛員及山下、久山兩巡査等の機敏なる行動に依り兇器と共に數名を逮捕したるは當時所報の通りなるが今回關東廳より賞狀及賞品を授與せられ之が授與式を二十四日午前十時警察署に於て施行した來賓として西村所長、尾崎局長、四元區長、金野助役、山川驛長等出席、佐藤署長より之を授與し記念の撮影をしたが受賞者は金側時計一個、八木驛長金一封宛、藤野、谷口兩驛員及支那人二名金三十圓及特別昇級三圓山下巡査金四十圓、久山巡査、美濃部巡捕等であつた

慰安琵琶大會 鞍山橘會

では二十六日午後六時より獨立守備隊を訪問し慰安琵琶大會を催したが、其のプログラムは次の通りであつた

廣瀨中佐鎌田榮紅、常陸丸中村榮龍、白虎隊加賀美榮照、飛行機東川榮光、南中尉三町榮泉、橘中佐高島旭蜂、沈勇大惠旭嶋、大德寺川崎旭賜、五條橋百合野榮師

鞍山中學の 消火大演習
消防隊も參加

鞍山中學校寄宿舍日新寮では二月八日消火大演習を行ふ筈であるが、鞍山消防隊も出動して之を援助する豫定で、室內消火栓の使用方法、消防員の各持場勤務一般舍員の避難演習等を行ひ萬一の場合の處置方を實習させると

鮮人臨時總會 鞍山在住

朝鮮人會では二十四日午後七時より鐵道西朝鮮人小學校に於て臨時總會を開催したが、出席者三十餘名の多數に達し定刻會長の開會の挨拶あり會長辭任の爲め選擧の結果金元奎氏が當選した、之れまで會費十錢の處を二十錢に增額し會員中不幸なる場合は香典として贈る事に決定した、猶來鞍鮮人は勸誘して會員を募る事に決定し盛況裡に午後十時閉會した

遼陽

遼陽工場移轉 善後策を協議

遼陽工場移轉善後策の實行委員會は廿四日午後七時から公會堂に於て開催、前回特別委員に附託された工場內部實地參觀の結果、大竹滿紡工場技師長と倉永機械職場主任と打合せ廿六日ごろ結果を發表すること第三案に屬する撫順方面調査の結果は早瀨委員より詳細なる報告があつた、次で第三案の基本調査を速かならしむる爲め平松委員の動議で分科委員を擧げて實行することに決し、最後に靑年實業團から同團總會の決議を希望として提出した問題につき委員側と實靑幹部と意見の交換をなし午後十二時散會した

外人に不動產 賣却禁止

遼寧省政府から廿四日縣長へ達した訓令によれば、管內支那人が外人と密約せる土地、家屋、礦區、林區、河川、山野、荒地等の不動產賣買契約は一切無効とす、若し違反者あれば嚴罰に處する旨布告せよと

スケート小會 遼陽小學

校では廿五日午前十時から同校庭に於てスケート小會を催した

戀と地獄 (24)
三上於菟吉作　鶴田吾郎畫

惡夢（七）

「それほどの決心もないんだけど……」

「自叙傳と言ふのなら田舍の子供時代のことも書いてあるでせう！私と遊んだ時分の樂しい思ひ出も書いてあつて？拜見な」

綾子は白い手を差し伸べて稿本を求めた。

藤田はいくらかためらひながら原稿のはじめの方を手渡した。

綾子は表題に目を走らせた——

「——（痴者の成立）——まあ、面白い題だことね」

と、彼女は言つた。そして、黑い瞳を膝の上に落して、熱心に何枚かを通讀した。

「まア、あなたのお生れになつた藁葺のお家のことも、なんでもみんな書いてあるのね——（……そして、靑い麥畑を越して黑い大きな防風林と、その林間から白壁の土藏の高い瓦屋根が、村で眺められるのが、第一番の物持I家の邸宅であつた……）

これは乾度、生家のことね！ほんたうに面白さうだわ」

そして、綾子は頁から藤田へと目を移して、

「諟さん、この原稿をわたしに貸して下さらないこと？わたし、自家でゆつくり拜見したいわ」

「まだ、みんな書き上げてないのだから駄目です——いづれ後で見て貰います」

藤田は相手の手から稿本を奪らうとした。

事實、若しそれを注意深く讀まれたなら、現在の自分の思想の傾向も、もう隱すことは出來ない——客觀的な態度で過去を描寫したに止つてゐても、なほ且つ、改革的な熱情を隱し終せることは出來ないので、讀者は隨所に革命家としての作者の面影を見出し得るであらう——

しかし、綾子は渡さなかつた。

「いけないことよ——どうしてもお借りして行くわ。わたし、あなたのために熱心で忠實な讀者になつてあげるわ。この作の性質から言つても、わたし第一番の讀者になる資格があると思ひますもの——」

そして、綾子は娘らしい感情的な調子になつて、

「棲んでゐればあんな單調で憂鬱な野や小川も、かうして離れてみるとどんなに平和で美しいものに思はれるでせう。たしかにミユセの詩に——。

野の思ひ出の樂しさよ！

サン・プラジアスやスエツカの

といふ句ではじまる詩があつたわね！あれは戀歌だけど——」

で、不思議なことには、さうした綾子の言葉は一種熱烈な、情緒的な戀らしい想念を藤田の心に湧き上らせずには置かないのであつた。

彼は、これまでこの戀を娯樂として認識しても、決して振分髮の初戀人と言つたやうな感情から眺めたことはなかつたのに、どういふわけか此の瞬間、ある艶つぽい懷しさが急に自分を綾子の方へと突き寄せるのを覺えた。

藤田は艶やかな髮や、若々しい紅らんだ頬や、むつちりとした紅い唇から目を反らした。そして、じめじめと小雨の降りつゞけてゐる窓外に瞳をやつた。彼は言はなかつた。

滿日文藝
滿日俳壇　島田靑峰選

○新春雜詠　酒臺　天江　雨江

餅花や古き時計の十時打つ

餅花の影さゞめける襖かな

餅花のおつかぶされる時計かな

餅花や灯しうつろふ煤柱

餅花や豆電燈の御燈明

餅花の柳の枝の瀞みどり

輪飾を掛けて柱の貯金函

元朝の驛に立ちゐる稅關吏

門松を立てゝ萬國赤十字

長城にうすくかゝれり初霞

氷江に泊れる船の飾りかな

打つれて禮者くゞれる御門かな

灯をつけし初荷の馬車のつきにけり

餅花のもつれし枝の小判かな

傾けるまゝの祠の飾かな

○　大連　永井　傘月

掛鯛や住みて久しき浦の宿

乘初の船おとづるゝ千鳥かな

初凪や渚の鐵のところどころ

注連張りし渚の岩や初日影

とりどりに初刷赤き表紙かな

新らしき鉄うれしく縫ひそめぬ

綴鍋に神の灯ゆらぐ厨かな

井開や雪踏みしめて星明り

萬歲に犬の吠えつく小村かな

猿曳の唄を忘れてめでたけれ

よべの雪降り收りて初雀

○　大連　阿部　天嗣

元旦の風に國旗を樹てにけり

元日の官民集ふホテルかな

大雪の暮るゝ中なる禮者かな

銅鑼打つて初荷の馬車の續きけり

○　大連　高木　春醪

ただれ入る年賀の客や皆醉へる

波濤染めて海の涯より初日かな

嚴めしく閉づ織扉のや大飾

○　撫順　松尾　天燊

元旦や島々に晴れし今朝の海

元旦の船にかゝげし國旗かな

元朝の波靜かなる港かな

○　大連　足立白汀城

和やかに師弟堂に滿つ四方拜

門松や初日を浴びて綠濃し

○　大連　寬　鳴鹿

渤海を一と目の窓や初日の出

松立てゝつなげる船の埠頭かな

○　大連　吉元　汀雨

大初日いま山の端を出でんとす

千々岩や浪にひろがる初日影

○　大連　丘　ひかる

訪ふ人もなき山寺の千代の春

水仙の莖すくすくと日向かな

○　旅順　高尾　雄峰

海を越え賑やかに著く初荷かな

滿日俳壇募集規定

次回課題「鶯」「多寶」「多の梅」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切一月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町八二島田靑峰宛

新刊紹介

▲東洋貿易研究（一月號）我國產業合理化運動の新生面、金解禁後の銀價と對支貿易、對支貿易の二大障碍其他（定價三十五錢大阪市役所產業部調査課發行）

▲滿洲に於ける邦人倉庫業（滿鐵調査課編）從來滿洲に於ける倉庫業に關する資料は極めて乏しい、本書は同方面の研究資料として貴重な文獻である第一章言に於て滿洲に於ける邦人倉庫業の大觀を述べ、第二章滿鐵の倉庫營業、第三章國際運輸會社の倉庫營業、第四章其他の邦人倉庫業、更に附錄に於て各倉庫營業の規則を附記してある（定價一圓六十錢、滿鐵調査課發行）

▲婦人倶樂部（二月號）「遺兒を抱きて忍苦二十五年」（加能作次郞）は哀切感動の文字、特輯「い物を安く買ふ秘訣一座談會」創作は鶴見祐輔、菊池寬、加藤武雄、佐々木茂索、津三等（定價五十錢、東京本鄕區駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行）